

「生活者としての外国人」に対する
日本語教育の標準的なカリキュラム

教材例集 宇都宮版
指導ノート

宇都宮市国際交流協会

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム 教材例集 宇都宮版 指導ノート

宇都宮市国際交流協会

1. はじめに

1.1 地域における日本語教育で大切なこと

日本では平成2年に施行された「出入国管理及び難民認定法」の改正以来、地域で暮らす外国人が増加しました。この2年、外国人の数は減少傾向にありますが、それでも依然 200 万人を超えています。特に最近は外国人の定住化傾向が進んでいることから、「生活者としての外国人」の側面に焦点を当てた日本語教育を実施することが求められています。そこで日本語教育小委員会において、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的・目標を以下のように整理しました。

【目的】

言語・文化の相互尊重を前提としながら、「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り生活できるようになること。

【目標】

- 日本語を使って、健康かつ安全に生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、自立した生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができるようにすること
- 日本語を使って、文化的な生活を送ることができるようにすること

上記の目的、目標を達成するための日本語の教育内容の検討と学習機会提供のための仕組みを整備することが求められています。地域で暮らす外国人は日本語学習に対するレディネス(すでに日本語学習をどの程度行っているか等)、学習適性、学習環境、在留資格、生活課題などの面において多様性があり、多様な日本語学習のニーズが存在します。そのため、日本語教育を実施する際にも、上記の目的・目標を踏まえた上で、学習者の状況やニーズを把握し、それに沿った形で日本語教育を行うこと、さらに地域住民とのつながりや社会参加を目指すようなプログラム設計や体制作りを行い、実施することが大切です。

1.2 教材例集の趣旨・期待される活用方法

1.2.1 教材例集の趣旨について

教材例集は「生活者としての外国人」のための日本語教育の標準的なカリキュラム案について(以下、「カリキュラム案」という。)を基に作成しています。

カリキュラム案とは、各地域で実施する日本語教育の具体的な内容やプログラムを検討・作成する際の基となるものであり、外国人が来日して、生活の基盤を形成する上で必要不可欠であると考えられる生活上の行為の事例、そこで必要となる日本語学習の項目・要素、関連する社会・文化的な情報などから構成されてい

ます。カリキュラム案は、各都道府県、市町村における日本語教育担当者、各地域において日本語教育のコーディネーター的役割を果たす人に活用されることを想定しています。また、コーディネーターがカリキュラム案を活用する際の参考として「「生活者としての外国人」のための日本語教育の標準的なカリキュラム案 活用のためのガイドブック」(以下、「ガイドブック」という。)を作成し、今回、さらに教室活動を行う際の教材について検討する際の参考として本教材例集を作成しました。

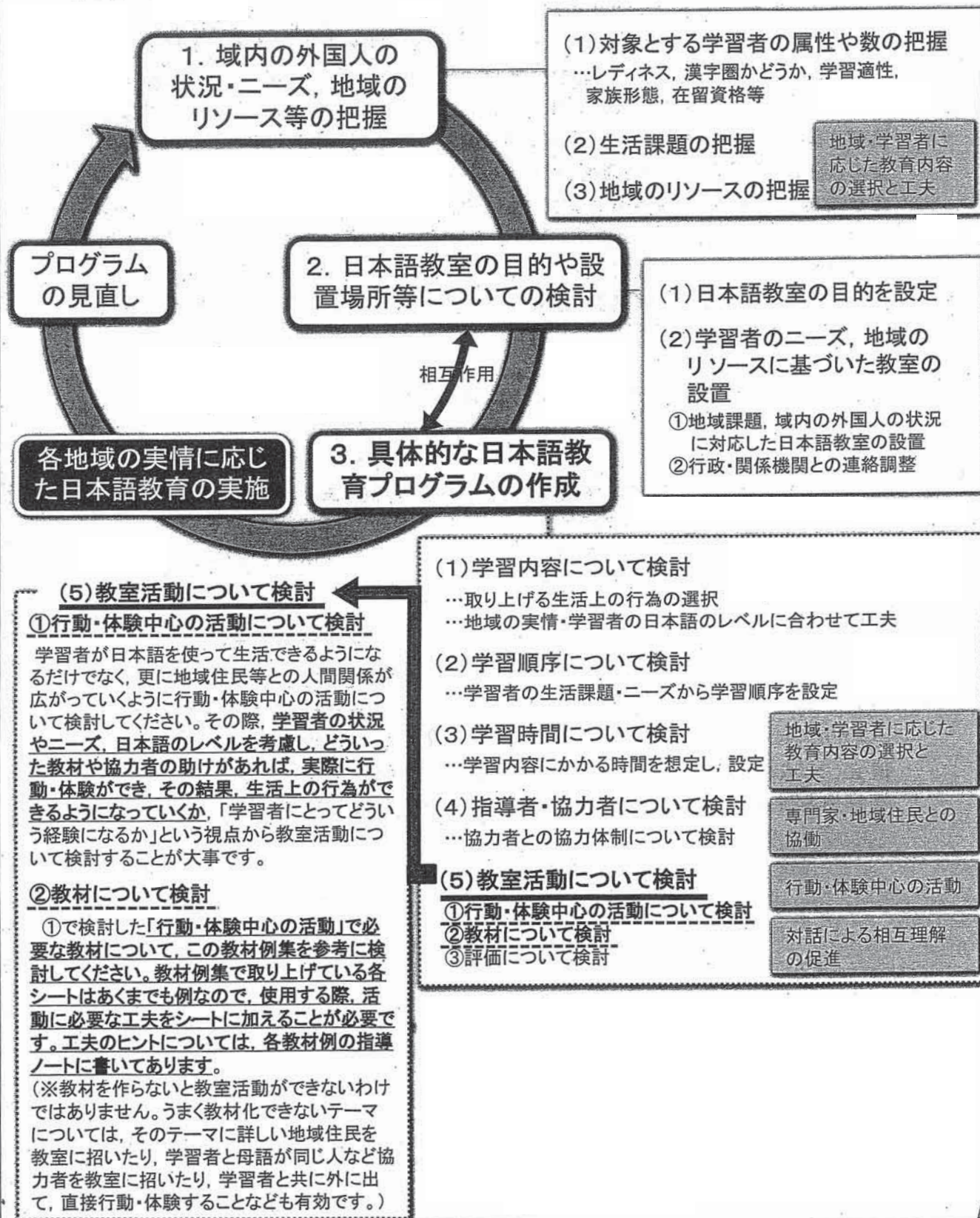
「生活者としての外国人」に対する日本語教育は地域の実情・学習者の状況が様々であるため、的確に状況を把握し、地域・学習者のニーズに合わせた形で実施することが必要となります。その手順については、本教材例集の3ページで示しています(※詳細はガイドブック参照)。

教材を中心に教室活動を考えるのではなく、あくまでも地域の実情・学習者の状況に合わせた日本語教育を行うため、地域の実情・学習者の状況に合わせて本教材例集に工夫を行い、日本語教育に取り組んでください。この教材例集は「生活者としての外国人」に対する日本語教育について、その在り方を具体的な教材例の形で示したものであり、他の教材の使用を否定するものではありません。地域の実情や学習者の日本語のレディネスに合わせて、より有効な教室活動が展開されるよう他の教材や資料などを組み合わせながら教室活動を行うことを期待しています。また、地域や外国人の状況によっては「生活上の行為が日本語でできるようになる」ための活動よりも、「地域交流や居場所作り、人と人とのつながり作り」を進めることが必要な場合もあります。地域や外国人の状況、必要とされる日本語教育の形に合わせて、教材例集を活用し、地域住民とのつながりや外国人の社会参加に役立ててください。

また、この教材例集は、日本語の文法や知識に関する学習を中心に据えたものではなく、生活上の行為ができるようになることを目的として作成しています。そのため、「初級、中級、上級」といった日本語のレベルに着目し、文法や日本語の構造に関する知識を積み上げていく形を取っていません。何らかの助けがあれば、日本語を使って生活上の行為は行えるということ、レベルに応じてできる形で生活上の行為ができるようになればよいということを前提としているためです。また、現実的に、日本語が上手になるまでの間も地域で生活をする存在であるという「生活者としての外国人」を考えているためです。来日間もない外国人が、日本語が上手であるかどうかにかかわらず、地域社会の中で生活するということを考え、生活上の行為ができるようになること及び自分の基本的な情報を伝え、基本的な人間関係を築く基礎を作れるようになることを目指しています。

日本語教育プログラムの作成手順における教材の位置付けについて

(※ガイドブック 7ページより。赤線は教材に関する部分。)



1.2.2 期待される活用方法について

個々の「教材例」は、そのままの状態ですべての地域ですべての学習者を対象に効果的に活用できるものではありません。地域の実情、学習者の日本語のレベルに合わせて教材例の内容に手を加えたり、多言語情報を活用したり母語話者の協力を得たりする等、工夫を行うことが必要となります。学習者のニーズや地域ならではの情報を調べ、それに対応させた内容に加工していくことが重要です。また、教材例集の(01)から順番に使う必要もありません。学習者の状況、ニーズ等を見ながら、必要な部分を選択して使用することが大切です。

また、その際、ガイドブックの4ページにあるように、「地域・学習者に応じた教育内容の選択と工夫」、「専門家・地域住民との協働」、「行動・体験中心の活動」、「対話による相互理解の促進」を意識したプログラムを作成し、それに合わせた教材を作成してください¹。

また、この教材例集では「指導者」、「協力者」という言葉を次のように使っています。

指導者…日本語教室で学習者に日本語を教える、あるいは教室活動を中心的に行う人のこと。

協力者…地域住民や学習者の母語が分かる人や外国人のことを指し、教室活動に協力してくれる人のこと。

指導者だけでなく、多様な人が教室活動に参加し、教室活動を通じて人間関係を広げていくことが学習者の地域社会への参加の助けとなると同時に、地域住民が外国人の置かれている状況や外国人とのコミュニケーションについて学ぶよい機会となります。協力者として教室活動に参加してくれる人は地域により異なりますが、適宜、地域の状況に合わせて日本語教育プログラムを企画してください。なお、本教材例集は文化庁ホームページからダウンロードすることが可能です。

¹ 本教材例集に掲載しているイラスト・写真は、日本語教育用の教材を作成する場合に限り、出典を明記の上、利用することが可能です。出典は本教材例ではなく、本教材例で個々のイラスト・写真について示しているURLとなります。イラスト・写真の使用に当たり、使用料は発生しません。

ただし、本教材例集に転載した写真・イラストを再利用して、営利目的で教材を作成する場合は、それぞれのイラスト・写真の著作権所有者に連絡を行い、使用条件や使用料等について確認を行う必要がありますので御注意ください。(転載元のURLが示されていないイラスト・写真の著作権は文化庁が有します。)また、著作権所有者の同意なく、イラスト・写真に修正・加工を加えたものを使用することはできません。

1.3 教材例集の構成

1.3.1 教材例集の内容

教材例集はカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例(12～13 ページ)から、分野が偏らないように選択し、教材の例を作成したものです。教材例集で取り上げていることを学べば、生活上の基盤が形成されるというわけではありません。

また、「Ⅴ 子育て・教育を行う」と「Ⅵ 働く」は、全ての「生活者としての外国人」に必要なではないので、カリキュラム案や教材例集からは除いています。必要に応じて取り扱ってください。カリキュラム案で取り上げていない生活上の行為の事例を含め、本教材例集を参考に各地域で教材が作成されることを期待しています。

1.3.2 各シート内容及び使い方について

各教材例は、それぞれ1ページ目で取り上げる生活上の行為の事例、目標・ねらいなど、各教材例の概要を示しています。なお、生活上の行為の事例に付けている数字は、標準的なカリキュラム案と同じものです。その後、具体的に教室活動で使用するシートとして「写真・イラストシート」「活動シート」「ことば・表現シート」「別表、参考資料等」「指導ノート」を付けています。

○写真・イラストシート

写真・イラストシートは、その教材例で取り上げる生活上の行為の事例をイメージできるような写真・イラストを取り上げています。

○活動シート

活動シートは、その教材例で取り上げている生活上の行為の事例ができるようになるための活動例を取り上げています。

○ことば・表現シート

ことば・表現シートは、その教材例で取り上げている生活上の行為の事例に関連することば・表現を取り上げています。全てを覚えられないといけないわけではありません。学習者や地域の状況に応じて必要なものを必要なときに取り上げてください。

○別表、参考資料等

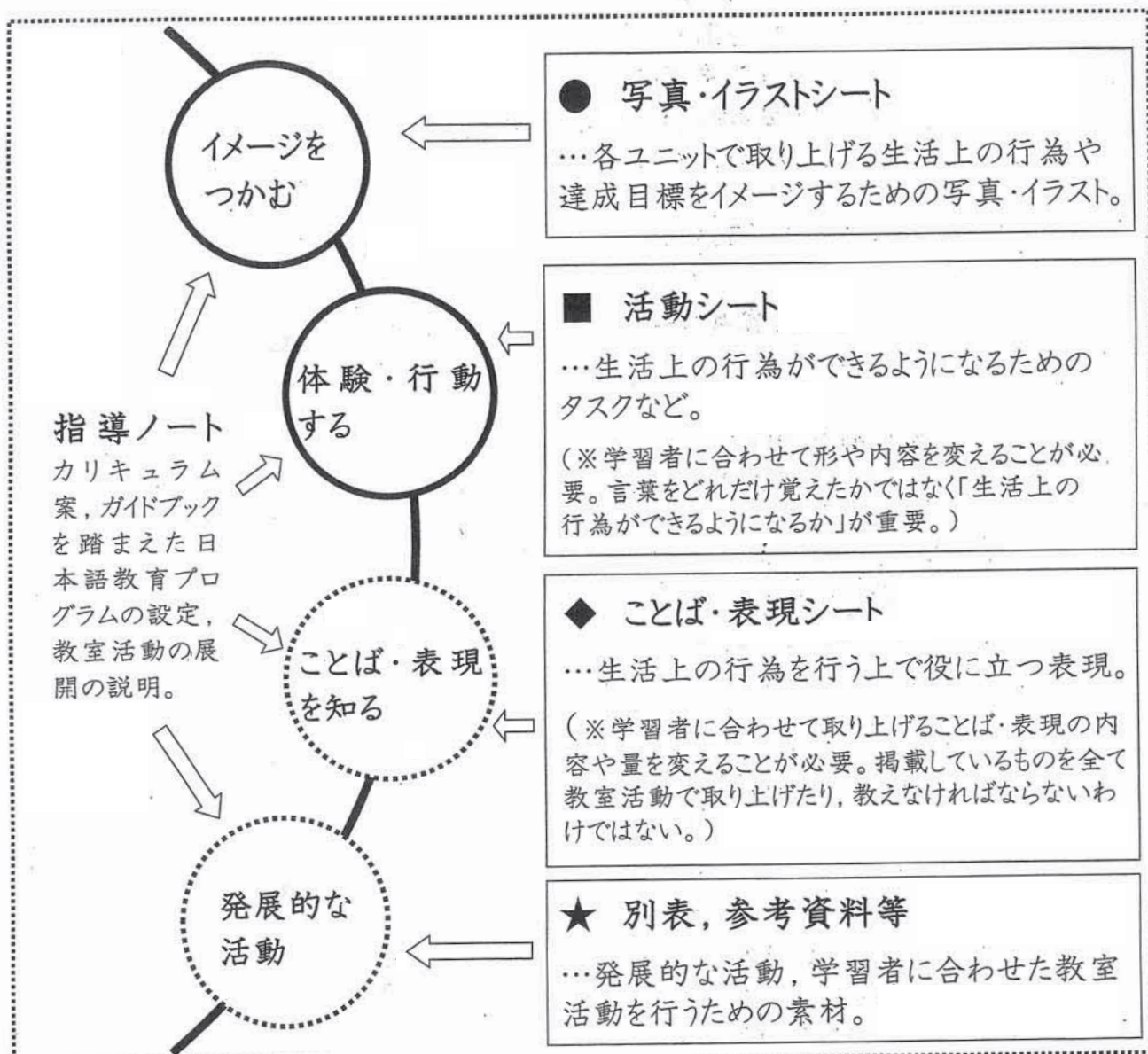
別表、参考資料等は、発展的な活動を行うときに、参考になるシートです。

○指導ノート

指導ノートは、その教材例の活用の仕方、修正の仕方など地域の状況や学習者の状況に合わせた教室活動を行う際のヒントをまとめています。

なお、各シートで取り上げる内容と全体の構成は次のページの図のようになります。

各教材例の構成の図



※●, ■, ◆, ★について, 各教材例の対応するシートにも同じ印を付けています。

※「ことば・表現を知る」, 「発展的な活動」の点線は教材例によっては, 対応するシートがないことを意味します。

2. 生活上の行為の事例の一覧

ここではカリキュラム案で取り扱っている生活上の行為を取り上げます。カリキュラム案では、「生活者としての外国人」が日本で生活する上で、日本語で行うことができるようになることが期待される基本的な行為を取り上げています。以下のリストの数字は 22 ページ以下のリストと呼応します。

カリキュラム案で扱う生活上の行為

- I 健康・安全に暮らす
 - 01 健康を保つ
 - 02 安全を守る
- II 住居を確保する・維持する
 - 03 住環境を確保する
 - 04 住環境を整える
- III 消費活動を行う
 - 05 物品購入・サービスを利用する
 - 06 お金を管理する
- IV 目的地に移動する
 - 07 公共交通機関を利用する
 - 08 自力で移動する
- VII 人とかかわる
 - 14 他者との関係を円滑にする
- VIII 社会の一員となる
 - 15 地域・社会のルール・マナーを守る
 - 16 地域社会に参加する
- IX 自身を豊かにする
 - 20 余暇を楽しむ
- X 情報を収集・発信する
 - 21 通信する
 - 22 マスメディアを利用する

生活上の基盤を形成するために必要であるもの及び安全にかかわり緊急性があるもので、日本語でのやり取りが複雑でないと考えられるもの」を106事例、「基本的な生活基盤を形成するため、又は、安全にかかわり緊急性があるため、情報として知っておく必要があると考えられるもの」を15事例、合わせて121事例¹取り上げています。次ページに「カリキュラム案で取り上げる生活上の行為の事例」²の一覧を掲載しています。

次ページの「カリキュラム案で取り上げる生活上の行為の事例」は、学習者が日本で生活する上で具体的にどういったことができるようになる必要があるか、その全体を把握する際の参考になります。また、具体的に何を学ぶか考え、学習計画を立てる際の参考になります。

また、指導者にとっても「生活者としての外国人」に対する日本語教育の内容の全体をつかむ参考になります。

生活上の行為の事例の一覧の活用

① 学習者にとって

- ・ 日本語でできるようになることが期待されることの全体を把握することができ、大まかな学習目標を立てることができる。

② 指導者にとって

- ・ 日本語でできるようになることが期待されることの全体を把握することができ、日本語教育プログラムの大まかな計画を立てることができる。

③ 学習者・指導者にとって

- ・ 日本語でできるようになりたいことを確認する共通の基盤となる。

⋮

¹ 「生活上の行為の事例」の検討に当たっては、独立行政法人国立国語研究所（2009）「日本語教育における学習項目一覧と段階的目標規準の開発—中間報告書—」及び社団法人国際日本語普及協会（2001）「リソース型生活日本語」を参考とした。

【日本語】カリキュラム案で扱う生活上の行為の事例

I 健康・安全に暮らす

01 健康を保つ

(01) 医療機関で治療を受ける

- 01 隣人に容態を伝えて助言を求める
- 02 初診受付で手続をする
- 03 医者診察を受ける
- 04 病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する

(02) 薬を利用する

- 01 医療機関で処方せんをもらい、内容を確認する
- 02 症状を説明し、薬を求める
- 03 薬剤師等の「効能、用法、注意」の説明を理解する

(03) 健康に気を付ける

- 01 流行性の病気についての情報を理解し適切に対処する
- 02 食品や飲料水の安全情報を理解する

02 安全を守る

(04) 事故に備え、対応する

- 01 各種の標識・注意書き等を理解する（高電圧危険、感電注意、立入禁止等）
- 02 有効な施設・仕方の仕方について理解する
- 03 警察（110番）に電話する
- 04 近くの人に知らせる（事件等）
- 05 救急車を要請する
- 06 近くの人に知らせる（事故等）

(05) 災害に備え、対応する

- 01 自治体広報、掲示、看板等を理解し、現地を確認する
- 02 避難場所・方法を理解する・人に聞く
- 03 ☆地震について理解する
- 04 身を守る（地震発生時）
- 05 ☆台風について理解する
- 06 天気予報・台風情報に留意し理解する
- 07 消防・救急（119番）や警察（110番）に電話する（火災等）

II 住居を確保・維持する

03 住居を確保する

(06) 住居を確保する

- 01 不動産業者に相談する
- 02 居住する地域を選択する
- 03 賃貸契約をする
- 04 引っ越し業者に依頼する
- 05 必要な手続を行う

04 住環境を整える

(07) 住居を管理する

- 01 ☆開始手続について理解する
- 02 申込みをする（電気、ガス、水道等）

III 消費活動を行う

05 物品購入・サービスを利用する

(08) 物品購入・サービスを利用する

- 01 必要な品物を扱う店等を探す
- 02 ☆目的によって店舗の種類を使い分けることを知る
- 03 販売しているところを探す
- 04 デパート、スーパーマーケット、コンビニ、電器店、書店等で買い物をする
- 05 店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す
- 06 売り場を尋ねる
- 07 店員に商品について尋ねる
- 08 値段を知る
- 09 商品の機能や値段を尋ねる
- 10 商品の表示を読む
- 11 値段・税率を計算する
- 12 試着を申し出る
- 13 色違いのものを頼む
- 14 サイズの変更を申し出る
- 15 ポイントカードや割引券を利用する
- 16 クレジットカードを利用する
- 17 必要なものを選んで購入する
- 18 支払いをする（対面販売）
- 19 返品・交換をする
- 20 注文する
- 21 店ごとに受けられるサービスと代価を理解する（飲食店等の利用）
- 22 希望の食べ物を扱う店を探す
- 23 電話で予約する
- 24 店員と話す
- 25 店で人数や禁煙・喫煙などの希望を伝える
- 26 メニューを読む
- 27 メニューを選んで注文する
- 28 食券を買う
- 29 追加の注文をする
- 30 支払いをする（飲食店）
- 31 ☆店ごとに受けられるサービスと代価を理解する（各種サービスの利用）
- 32 店舗を探す
- 33 利用方法を知る
- 34 コンビニエンスストアのサービス（ATM、ファックス、公共料金の支払い等）を利用する
- 35 クリーニング店、レンタルビデオ店、美容院、理容店を利用する
- 36 商品に添えられた情報を的確に理解する
- 37 新聞広告・折り込み広告を理解する
- 38 レシートを確認する
- 39 レシートを理解する

- 40 代金を支払う
- 41 カードの利用の可・不可を確認する
- 06 お金を管理する
 - (09) 金融機関を利用する
 - 01 申込みをする（口座開設）
 - 02 預金の引出しをする

IV 目的地に移動する

- 07 公共交通機関を利用する
 - (10) 電車、バス、飛行機、船等を利用する
 - 01 発車する時刻や掛かる時間を探る
 - 02 目的地への行き方を探る
 - 03 券売機を利用する
 - (11) タクシーを利用する
 - 01 タクシー乗り場を探す
 - 02 道路でタクシーを止める
 - 03 行き先を告げる
 - 04 運賃を聞き取り、支払う
- 08 自力で移動する
 - (12) 徒歩で移動する
 - 01 住所表示、交差点名、街の案内地図などを読む
 - 02 地図上で目的地を確認する
 - 03 地図を書いてもらう
 - 04 目的地の方向や距離を確認する
 - 05 目的地までの道を探る

VII 人とかわる

- 14 他者との関係を円滑にする
 - (31) 人と付き合う
 - 01 ☆あいさつの種類と目的を理解する
 - 02 ☆TPOに合った適切なあいさつ形式を理解する
 - 03 時宜に合ったあいさつを学んで実行する
 - 04 ☆あいさつの文化的相違を理解する
 - 05 相手に合わせたあいさつをする
 - 06 日常のあいさつをする
 - 07 人間関係のきっかけを作るあいさつをする
 - 08 ☆自己紹介の仕方を理解する
 - 09 ☆相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する
 - 10 仕事上の公的な自己紹介をする
 - 11 私的な場面で自己紹介をする
 - 12 分からないとき、疑問に思ったとき信頼できる相手に質問する（日本の一般的なマナー等について）

VIII 社会の一員となる

- 15 地域・社会のルール・マナーを守る
 - (33) 住民としての手続をする
 - 01 ☆各種手続の種類や内容について理解する
 - 02 役所の受付で外国人登録窓口の場所を探る
 - 03 支払方法を確認する（各種税金）
 - 04 必要性を確認する（確定申告、還付申告）

- (34) 住民としてのマナーを守る
 - 01 居住地域のゴミ出しについて地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する
 - 02 居住地域のゴミ出しの方法について隣人に質問する
 - 03 マナーについて人に相談する

16 地域社会に参加する

- (35) 地域社会に参加する
 - 01 居住地の自治会について隣人に尋ねる
 - 02 自治会の会員になる
 - 03 行事に参加する

IX 自身を豊かにする

20 余暇を楽しむ

- (44) 余暇を楽しむ
 - 01 ☆余暇を過ごす場所や利用方法を知る
 - 02 適当な人からアドバイスをもらう
 - 03 同僚や周囲の人からの口コミ情報を得る
 - 04 ☆施設の種類や制度について知る（地域の公共施設）
 - 05 利用方法を探る（地域の公共施設）

X 情報を収集・発信する

21 通信する

- (45) 郵便・宅配便を利用する
 - 01 ☆郵便局のシステムを理解する
 - 02 手紙や葉書を書いて送る
 - 03 不在配達通知に対応する
 - 04 宅配便を受け取る

(46) インターネットを利用する

- 01 ☆インターネットのサービス内容・利用方法を理解する
- 02 インターネット検索の方法を人に尋ねて理解する
- 03 電子メールを書く

(47) 電話・ファクシミリを利用する

- 01 電話を掛ける
- 02 応答する

22 マスメディアを利用する

- (48) マスメディア等を利用する
 - 01 テレビ番組を見る

※「I」～「X」は生活上の行為の大分類、「01」～「22」は中分類、「(01)」～「(48)」は小分類に対応している。なお、「カリキュラム案」120ページ「生活上の行為の分類一覧」から「Ⅳ 子育て・教育を行う」及び「Ⅵ 働く」を省いてある。

※「〔数字〕」は基本的な生活基盤の形成に不可欠である、又は、安全に関わり緊急性があるために必要不可欠な生活上の行為の事例を示す。「☆」は基本的な生活基盤の形成、又は安全に関わり緊急性があるため、情報として知っておく必要があると考えられるものを示す。

※巻末に多言語（中国語、韓国・朝鮮語、英語、ポルトガル語、スペイン語）のものを掲載している。

【中文：中国語】标准教程案中有关生活行为的事例

I 健康安全地生活

01 保持健康

(01) 在医疗机构接受治疗

- 01 告诉邻居病情，请求给予指点
- 02 在初诊挂号处办理手续
- 03 接受医生的诊察
- 04 询问疾病的应对法和在生活上的注意事项等并理解其答复

(02) 服药

- 01 在医疗机构得到处方、确认内容
- 02 说明病情、要求开药
- 03 理解药剂师等有关「功效、服用方法、注意事项」的说明

(03) 注意健康

- 01 理解关于流行病的信息并做出正确的应对
- 02 理解食品及饮用水的安全信息

02 确保安全

(04) 预防并应对事故

- 01 理解各种标识和注释等（高压电危险、注意触电、禁止入内等）
- 02 理解有效的上锁方法
- 03 给警察（拨打110）打电话
- 04 通知附近的人（事件等）
- 05 要求派救护车
- 06 通知附近的人（事故等）

(05) 预防并应对灾害

- 01 理解自治体的宣传、布告、牌子等，确认现场
- 02 理解并向人询问疏散场所和方法
- 03 ☆理解地震
- 04 保护人身安全（发生地震时）
- 05 ☆理解台风
- 06 留意并理解天气预报和台风信息
- 07 给消防・救急（拨打119）及警察（拨打110）打电话（火灾等）

II 确保并维持住宅

03 确保住宅

(06) 确保住宅

- 01 与房地产公司协商
- 02 选择居住地区
- 03 签订租赁合同
- 04 委托搬家公司
- 05 办理必要的手续

04 完善居住环境

(07) 管理住宅

- 01 ☆理解开始手续
- 02 申请（电、煤气、自来水等）

III 进行消费

05 购物・利用服务

(08) 购物・利用服务

- 01 寻找经销所需要的商品的商店等
- 02 ☆知道根据目的灵活地利用各类商店
- 03 寻找经销的商店
- 04 在百货商店、超市、方便商店、电器商店、书店等购物
- 05 看店内的标识或者询问店员，寻找自己想买商品的地方
- 06 询问货架柜台
- 07 向店员询问商品
- 08 了解价格
- 09 询问商品的功能及价格
- 10 阅读商品的标识
- 11 计算价格和税率
- 12 提出要求试穿
- 13 拜托拿不同颜色的商品
- 14 提出尺寸变更
- 15 利用积分卡及优惠券
- 16 利用信用卡
- 17 选择并购买所需要的商品
- 18 付款（面对面销售）
- 19 退货・更换
- 20 订购
- 21 理解在每家店内可以享受的服务和价钱（饮食店等的利用）
- 22 寻找有自己想吃食物的餐饮店
- 23 通过电话预订
- 24 与店员说话
- 25 告诉店员人数以及禁烟・吸烟等的要求
- 26 看菜单
- 27 点菜
- 28 购买餐券
- 29 加菜
- 30 付款（餐饮店）
- 31 ☆理解在每家店内可以享受的服务和价钱（各种服务的利用）
- 32 寻找店铺
- 33 了解利用方法
- 34 利用方便商店的服务（A T M、传真、公共事业费的缴纳等）
- 35 利用洗衣店、音像出租店、美发厅、理发店
- 36 正确地理解附在商品上的信息
- 37 理解报纸广告和夹在报刊内的广告
- 38 确认收据
- 39 理解收据

40 付款

41 确认是否可以信用卡

06 理财

(09) 利用金融机构

01 申请 (开设账户)

02 提取存款

IV 移动到目的地

07 利用公共交通工具

(10) 利用电车、公共汽车、飞机、轮船等

01 询问发车时间以及路程所需时间

02 询问去目的地的方法

03 利用售票机

(11) 利用出租车

01 寻找出租汽车站

02 在路上打出租

03 告诉目的地

04 询问并支付车费

08 靠自己的力量移动

(12) 徒步移动

01 阅读住址标识、十字路口名称、街道指南地图等

02 在地图上确认目的地

03 请别人画地图

04 确认目的地的方向和距离

05 询问去目的地的路

VII 与人交往

14 与他人保持良好的关系

(31) 与人交往

01 ☆理解打招呼的种类和目的

02 ☆理解符合 TPO 的合适的打招呼形式

03 学习并符合时宜地打招呼

04 ☆理解打招呼的文化性差别

05 适应对方地打招呼

06 日常性地打招呼

07 打招呼以建立起人际关系

08 ☆理解做自我介绍的方法

09 ☆理解根据对方及情况做自我介绍的方法

10 在工作中正式的场合下做自我介绍

11 在非正式的场合下做自我介绍

12 在不懂、遇到疑问时向可以信任的人请教 (有关日本一般性的礼节等)

VIII 成为社会的一员

15 遵守地区和社会的规则和礼仪

(33) 办理居民手续

01 ☆理解各种手续的种类和内容

02 在政府机关接待处询问办理外国人登录的窗口位置

03 确认缴纳方法 (各种税金)

04 确认必要性 (纳税申报、归还申报)

(34) 遵守作为居民的规则

01 确认并理解所居住地区公共机构发行的关于倒垃圾的生活信息宣传册等

02 向邻居请教所居住地区倒垃圾的方法

03 向他人请教规则

16 参与地区社会

(35) 参与地区社会

01 向邻居请教所居住地区自治会的情况

02 成为自治会的会员

03 参加仪式活动

IX 丰富自己的生活

20 享受余暇

(44) 享受余暇

01 ☆了解渡过余暇的场所及利用方法

02 得到适当的人的建议

03 得到同事和周围的人的口头互传的信息

04 ☆了解设施的种类及制度 (地区的公共设施)

05 询问利用方法 (地区的公共设施)

X 收集并发放信息

21 进行通信

(45) 利用邮政和快递服务

01 ☆理解邮局的体系

02 写发书信及明信片

03 处理不在家的投递通知

04 领取快递

(46) 利用互联网

01 ☆理解互联网的服务内容和利用方法

02 向他人请教并理解互联网的检索方法

03 写发电子邮件

(47) 利用电话和传真

01 打电话

02 接收

22 利用大众传媒

(48) 利用大众传媒等

01 观看电视节目

※“I”~“X”对应生活行为的大分类,“01”~“22”对应中分类,“ (01) ”~“ (48) ”对应小分类。另外,省略了在“标准教程案”第 120 页中从“生活行为分类一览表”到“V 养育孩子和教育”和“VI 工作”的部分。

※“ (数字) ”表示在形成基本生活基础中、或者由于与安全相关具有紧急性所不可缺少的生活行为的事例。“☆”表示在形成基本生活基础中、或者由于与安全相关具有紧急性,作为信息应该知道的部分。

【English: 英語】 Examples of Actions in Daily Life to be Included in the Standard Draft Curriculum

I. Living a Healthy and Safe Life

01 Maintaining Health

(01) Being treated at a medical institution

- 01 Explaining your condition and asking a neighbor for advice
- 02 Following the procedure for first-time patients at the reception desk
- 03 Being examined by a doctor
- 04 Asking questions about ways to treat your symptoms, asking questions about measures to take in your daily life and understanding the doctor's answers

(02) Using medicines

- 01 Receiving a prescription at a medical institution and checking the contents of the prescription
- 02 Explaining your symptoms and purchasing medicines
- 03 Understanding "what the medicine is for, directions for use and points to note"

(03) Taking health precautions

- 01 Understanding information about epidemic diseases and taking appropriate measures
- 02 Understanding safety information about food and drinking water

02 Maintaining Safety

(04) Preparing for and handling accidents

- 01 Understanding various signs and notices (high voltage warning, electrification warning, "Do not enter," etc.)
- 02 Understanding how to lock doors and windows properly
- 03 Phoning the police (dial 110)
- 04 Informing a nearby person (in the case of an incident, etc.)
- 05 Asking for an ambulance
- 06 Informing a nearby person (in the case of an accident, etc.)

(05) Preparing for and handling disaster situations

- 01 Understanding local government information, notices and signs and checking relevant sites
- 02 Finding out where the evacuation site is and how to evacuate, asking someone where the evacuation site is and how to evacuate
- 03☆ Learning about earthquakes
- 04 Protecting yourself (when an earthquake occurs)
- 05☆ Learning about typhoons
- 06 Paying attention to and understanding the weather forecast and typhoon information
- 07 Phoning the fire service and the emergency services (dial 119) and phoning the police (dial 110) (when a fire breaks out, etc.)

II. Securing and Maintaining a Residence

03 Securing a Residence

(06) Securing a residence

- 01 Consulting with a real-estate agent
- 02 Selecting an area to live
- 03 Signing a rental contract
- 04 Hiring a moving company
- 05 Following the necessary procedures

04 Preparing to Use the Residence

(07) Managing the residence

- 01☆ Understanding the procedures needed before starting to use the residence
- 02 Applying for services (electricity, gas, water, etc.)

III. Life as a Consumer

05 Purchasing Goods, Utilizing Services

(08) Purchasing goods, utilizing services

- 01 Finding shops, etc. which sell the necessary goods
- 02☆ Learning that you can use different types of shops depending on their purpose
- 03 Finding shops which sell specific goods
- 04 Shopping at a department store, a supermarket, a convenience store, an electric appliance store, a book shop, etc.
- 05 Finding the goods you want to buy by looking at the information in the store and asking a clerk
- 06 Asking a clerk which section sells the goods that you want to buy
- 07 Asking a clerk about a product
- 08 Checking the price
- 09 Asking about the product's functions and price
- 10 Reading information about a product
- 11 Calculating the price and the tax
- 12 Asking if you can try a product on
- 13 Asking for the same product in a different color
- 14 Asking for the same product in a different size
- 15 Using point cards and discount vouchers
- 16 Using a credit card
- 17 Choosing and purchasing what you need
- 18 Making a payment (at the counter)
- 19 Returning or exchanging a product
- 20 Placing an order
- 21 Understanding the services available at each type of shop and their prices (utilization of restaurants, etc.)
- 22 Finding a restaurant which offers what you want to eat
- 23 Making a reservation by phone
- 24 Talking to restaurant staff
- 25 Making requests to restaurant staff, for example, the number of seats you require, smoking/non-smoking seats, etc. at a restaurant
- 26 Reading a menu
- 27 Choosing and ordering a dish
- 28 Purchasing a meal ticket
- 29 Placing an additional order
- 30 Making a payment (at a restaurant)
- 31☆ Understanding the services available at each type of shop and their prices (utilization of various services)
- 32 Finding a shop
- 33 Learning how to use services
- 34 Using the services available at convenience stores (an ATM, a fax machine, payment of utility bills, etc.)
- 35 Using a dry cleaning shop, a video rental shop, hairdressers and barbers shops
- 36 Correctly understanding information attached to a product
- 37 Understanding newspaper advertisements and flyers
- 38 Checking receipts
- 39 Understanding receipts

40 Making a payment

41 Checking whether a card can be used or not

06 Managing Your Money

(09) Using financial institutions

01 Applying for a service (opening an account)

02 Withdrawing your money

IV. Traveling to a Destination

07 Using Public Transportation Systems

(10) Using a train, a bus, a plane, a vessel, etc.

01 Asking about the departure time and how long it takes to get to the destination

02 Asking how to get to a destination

03 Using a ticket machine

(11) Using a taxi

01 Finding a taxi stand

02 Stopping a taxi in the street

03 Telling the driver the destination

04 Understanding and paying the fare

08 Traveling on Foot

(12) Traveling on foot

01 Reading an address and the name of an intersection, understanding a map of a town, etc.

02 Checking the destination on a map

03 Asking someone to draw a map

04 Checking the direction and the distance to a destination

05 Asking how to get to a destination

VII. Interacting with People

14 Building Good Relationships with People

(31) Interacting with people

01☆ Understanding the different types of greetings and their purposes

02☆ Understanding the appropriate forms of greeting in accordance with the situation

03 Learning the appropriate greeting for each occasion and using the greetings

04☆ Understanding the differences in greetings between different cultures

05 Using the greeting which is appropriate for the person you are talking to

06 Greeting people in your daily life

07 Greeting people as a way to start relationships with them

08☆ Understanding how to introduce yourself

09☆ Understanding suitable ways to introduce yourself in accordance with the situation and the person you are talking to

10 Introducing yourself officially in a business situation

11 Introducing yourself in your personal life

12 Asking questions to someone you trust when there is something you do not understand or something you are not sure about (such as general manners in Japan)

VIII. Being a Member of Society

15 Following the Rules and Manners of the Local Area and Society

(33) Following the procedures required of a resident

01☆ Understanding the type and content of various procedures

02 Inquiring at the reception desk of a government office about the location of the counter for "alien registration"

03 Checking how to make payments (various taxes)

04 Checking procedures which apply to you (the final income tax return, making an application for a tax refund)

(34) Following rules for residents

01 Checking and understanding the rules for putting the garbage out in your area by looking at living information pamphlets, etc. issued by local public agencies.

02 Asking a neighbor how to put the garbage out in your area

03 Consulting with someone about the rules

16 Taking Part in the Local Community

(35) Taking part in the local community

01 Asking a neighbor about the residents' association in your area

02 Becoming a member of the residents' association

03 Participating in events

IX. Living a Fulfilling Life

20 Enjoying Your Leisure Time

(44) Enjoying your leisure time

01☆ Finding out about places to spend the leisure time and how to use the places

02 Receiving advice from appropriate people

03 Obtaining word-of-mouth information from your colleagues and other people around you

04☆ Learning about the different types of local public facilities and their services

05 Asking staff how to use local public facilities

X. Collecting and Sending Information

21 Using Communications

(45) Using the postal service and home delivery services

01☆ Understanding post office services

02 Writing and sending letters and postcards

03 Responding to a notice of non-delivery

04 Receiving a home-delivered parcel

(46) Using the internet

01☆ Understanding internet services and how to use them

02 Asking someone how to do an internet search and understanding how to do it

03 Writing an e-mail

(47) Using a telephone and a fax

01 Making a phone call

02 Receiving a phone call

22 Using Mass Media

(48) Using mass media, etc.

01 Watching TV programs

Note: "I-X," "01-22" and "(01)-(48)" respectively correspond to the "main topics," the "sub topics" and the "small topics" regarding actions in daily life. This document does not include "V. Raising and Educating Children" and "VI. Working" contained in the "List of Topics Regarding Actions in Daily Life" on page 120 of the "Standard Draft Curriculum."

Note: Actions with the underlined numbers ("XX") are essential actions because they are indispensable for basic daily living or because they are related to safety and therefore need to be understood urgently. Items with the star mark ("☆") are needed because they are indispensable for basic daily living or because they are related to safety and therefore need to be understood urgently.

I 건강하고 안전하게 지낸다

01 건강을 유지한다

(01) 의료기관에서 치료를 받는다

- 01 옆 사람에게 용태를 설명하고 조언을 구한다
- 02 초진 접수부에서 수속을 한다
- 03 의사의 진찰을 받는다
- 04 질병에 대한 대처법·생활상의 주의사항 등을 질문하고 답변을 이해한다

(02) 약을 이용한다

- 01 의료기관에서 처방전을 받고 내용을 확인한다
- 02 증상을 설명하고 약을 요구한다
- 03 약제사 등의 '효능, 용법, 주의사항' 설명을 이해한다

(03) 건강에 주의를 기울인다

- 01 유행성 질병에 대한 정보를 이해하고 적절히 대처한다
- 02 식품이나 음료수의 안전정보를 이해한다

02 안전을 지킨다

(04) 사고에 대비하고 대응한다

- 01 각종 표지판·주의 등을 이해한다(고전압 위험, 감전 주의, 출입 금지 등)
- 02 유효한 자물쇠 채우는 방법에 대해 이해한다
- 03 경찰(110 번)에 전화한다
- 04 이웃 사람에게 알린다(사건 등)
- 05 구급차를 요청한다
- 06 이웃 사람에게 알린다(사고 등)

(05) 재해에 대비하고 대응한다

- 01 자치단체 홍보, 게시, 간판 등을 이해하고, 현지를 확인한다
- 02 대피 장소·방법을 이해한다·다른 사람에게 묻는다
- 03 ☆지진에 대해 이해한다
- 04 몸을 보호한다(지진 발생 시)
- 05 ☆태풍에 대해 이해한다
- 06 일기예보·태풍 정보에 유의하고 이해한다
- 07 소방·구급(119 번)이나 경찰(110 번)에 전화한다(화재 등)

II 주거를 확보·유지한다

03 주거를 확보한다

(06) 주거를 확보한다

- 01 부동산업자와 상담한다
- 02 거주할 지역을 선택한다
- 03 임대계약을 한다
- 04 이사업자에게 의뢰한다
- 05 필요한 수속을 한다

04 주거환경을 정비한다

(07) 주거를 관리한다

- 01 ☆개시 수속에 대해 이해한다
- 02 신청을 한다(전기, 가스, 수도 등)

III 소비생활을 한다

05 물품구입·서비스를 이용한다

(08) 물품구입서비스를 이용한다

- 01 필요한 물품을 취급하는 점포 등을 찾는다
- 02 ☆목적에 따라 점포의 종류를 구분할 줄 안다
- 03 판매하고 있는 곳을 찾는다
- 04 백화점, 슈퍼마켓, 편의점, 전기제품점, 서점 등에서 쇼핑을 한다
- 05 점포 내의 표시를 보거나 점원에게 물어 필요한 것이 있는 장소를 찾는다
- 06 매장을 묻는다
- 07 점원에게 상품에 대해 묻는다
- 08 가격을 안다
- 09 상품의 기능이나 가격을 묻는다
- 10 상품의 표시를 읽는다
- 11 가격·세율을 계산한다
- 12 입어보겠다고 말한다
- 13 다른 색 제품을 부탁한다
- 14 사이즈를 바꾸어 달라고 한다
- 15 포인트 카드나 할인권을 이용한다
- 16 신용카드를 이용한다
- 17 필요한 것을 골라 구입한다
- 18 지불을 한다(대면 판매)
- 19 반품·교환을 한다
- 20 주문한다
- 21 점포별로 받을 수 있는 서비스와 대가를 이해한다(음식점 등의 이용)
- 22 먹고 싶은 음식을 취급하는 점포를 찾는다
- 23 전화로 예약한다
- 24 점원과 대화한다
- 25 점포에서 인원수나 금연·흡연 등의 희망을 말한다
- 26 메뉴를 읽는다
- 27 메뉴를 골라 주문한다
- 28 식권을 산다
- 29 추가 주문을 한다
- 30 지불을 한다(음식점)
- 31 ☆점포별로 받을 수 있는 서비스와 대가를 이해한다(각종 서비스의 이용)
- 32 점포를 찾는다
- 33 이용방법을 안다
- 34 편의점의 서비스(ATM, 팩스, 공공요금 납부 등)를 이용한다
- 35 세탁소, 비디오 대여점, 미용실, 이발소를 이용한다
- 36 상품에 첨부된 정보를 정확하게 이해한다
- 37 신문·광고·전단지 광고를 이해한다
- 38 영수증을 확인한다
- 39 영수증을 이해한다

- 40 대금을 지불한다
- 41 카드를 이용할 수 있는지 확인한다

06 돈을 관리한다

- (09) 금융기관을 이용한다
 - 01 신청을 한다(계좌 개설)
 - 02 예금을 인출한다

IV 목적지로 이동한다

07 대중교통수단을 이용한다

- (10) 전차, 버스, 비행기, 선박 등을 이용한다
 - 01 발차 시각이나 소요 시간을 묻는다
 - 02 목적지까지 가는 방법을 묻는다
 - 03 매표기를 이용한다
- (11) 택시를 이용한다
 - 01 택시 승차장을 찾는다
 - 02 도로에서 택시를 잡는다
 - 03 행선지를 말한다
 - 04 운임을 알아듣고 지불한다

08 자력으로 이동한다

- (12) 도보로 이동한다
 - 01 주소 표시, 교차로명, 거리안내 지도 등을 읽는다
 - 02 지도상에서 목적지를 확인한다
 - 03 지도를 그려 달라고 한다
 - 04 목적지의 방향과 거리를 확인한다
 - 05 목적지까지 가는 길을 묻는다

VII 사람들과 교류한다

14 다른 사람과의 관계를 원만히 한다

- (31) 사람들과 어울린다
 - 01 ☆인사의 종류와 목적을 이해한다
 - 02 ☆TPO에 맞는 적절한 인사 형식을 이해한다
 - 03 시의 적절한 인사를 배우고 실행한다
 - 04 ☆인사의 문화적 차이를 이해한다
 - 05 상대방에게 맞는 인사를 한다
 - 06 일상적인 인사를 한다
 - 07 인간관계의 계기를 만드는 인사를 한다
 - 08 ☆자기소개 방법을 이해한다
 - 09 ☆상대방과 상황에 맞는 자기소개 방법을 이해한다
 - 10 업무상 공적인 자기소개를 한다
 - 11 사적인 상황에서 자기소개를 한다
 - 12 궁금하거나 의문스러울 때 신뢰할 수 있는 상대에게 질문한다(일본의 일반적인 매너 등에 대해)

VIII 사회의 일원이 된다

15 지역사회의 틀과 매너를 지킨다

- (33) 주민으로서의수속을 한다
 - 01 ☆각종 수속의 종류와 내용에 대해 이해한다
 - 02 관공서 접수부에서 외국인등록 창구의 위치를 묻는다
 - 03 납부방법을 확인한다(각종 세금)
 - 04 필요성을 확인한다(확정신고, 환급신고)

(34) 주민으로서의매너를 지킨다

- 01 거주지역의 쓰레기 배출에 대해 지역의 공공기관에서 발행하는 생활정보 팸플릿 등으로 확인하고 이해한다
- 02 거주지역의 쓰레기 배출방법에 대해 이웃에게 질문한다
- 03 매너에 대해 다른 사람과 상담한다

16 지역사회에 참가한다

(35) 지역사회에참가한다

- 01 거주지의 자치회에 대해 이웃에게 묻는다
- 02 자치회의 회원이 된다
- 03 행사에 참가한다

IX 자신을 풍요롭게 한다

20 여가를 즐긴다

(44) 여가를 즐긴다

- 01 ☆여가를 즐기는 장소나 이용방법을 안다
- 02 적당한 사람의 조언을 받는다
- 03 동료나 주위 사람들로 부터 입소문 정보를 얻는다
- 04 ☆시설의 종류나 제도에 대해 안다(지역의 공공시설)
- 05 이용방법을 묻는다(지역의 공공시설)

X 정보를 수집·발신한다

21 통신한다

(45) 우편택배를 이용한다

- 01 ☆우체국의 시스템을 이해한다
- 02 편지나 엽서를 써서 보낸다
- 03 부재중 배달통지에 대응한다
- 04 택배를 받는다

(46) 인터넷을 이용한다

- 01 ☆인터넷 서비스의 내용·이용방법을 이해한다
- 02 인터넷 검색방법을 다른 사람에게 묻고 이해한다
- 03 이메일을 쓴다

(47) 전화팩스를 이용한다

- 01 전화를 건다
- 02 응답을 한다

22 매스미디어를 이용한다

(48) 매스미디어등을 이용한다

- 01 텔레비전 프로그램을 본다

※ 'I'~'X'는 생활상 행위의 대분류, '01'~'22'는 중분류, '01'~'(48)'은 소분류로 대응하고 있다. '표준적인 커리큘럼 안' 120 페이지 '생활상 행위의 분류 일람'에서 'V 육아·교육을 한다' 및 'VI 일한다'는 생략하였다.

※ '☆자'는 기본적인 생활기반 형성에 반드시 필요하거나 안전에 관련하여 긴급성이 있기 때문에 필요 불가결한 생활상 행위의 사례를 열거한다. '☆'는 기본적인 생활기반의 형성, 또는 안전에 관련하여 긴급성이 있기 때문에 정보로서 알아둘 필요가 있다고 생각되는 것을 열거한다.

【Português: ポルトガル語】 Exemplos de situações do cotidiano tratadas na sugestão de currículo padrão

I Viver com saúde e segurança

01 Manter a saúde

(01) Receber tratamento em instituição médica

- 01 Informar o sintoma ao vizinho e lhe pedir conselho
- 02 Fazer os trâmites na primeira consulta
- 03 Ser atendido pelo médico
- 04 Perguntar ao médico sobre os métodos de tratamento e os cuidados no dia-a-dia, e compreender a sua resposta

(02) Tomar o remédio

- 01 Receber a receita médica na instituição médica, e confirmar o seu conteúdo
- 02 Explicar o sintoma, e solicitar remédio
- 03 Compreender a explicação do farmacêutico sobre a eficácia, modo de uso e os cuidados do remédio

(03) Cuidados com a saúde

- 01 Compreender a informação sobre as doenças epidêmicas, e tomar medidas adequadas
- 02 Compreender a informação sobre a segurança alimentar e de água potável

02 Garantir a segurança

(04) Preparar-se para acidentes, e tomar medidas

- 01 Compreender os diversos tipos de sinalização e avisos (Cuidado com Alta Tensão, Cuidado com Choque Elétrico, Proibida a Entrada, etc.)
- 02 Compreender o modo eficaz de trancar a porta
- 03 Telefonar para a polícia (110)
- 04 Avisar a pessoa próxima (em caso de crime, etc.)
- 05 Chamar a ambulância
- 06 Avisar a pessoa próxima (em caso de acidente, etc.)

(05) Preparar-se para catástrofes, e tomar medidas

- 01 Compreender o informativo, aviso ou placa da prefeitura, e confirmar a situação do local
- 02 Compreender o local do refúgio, o modo de fuga, ou perguntar a alguém
- 03☆ Compreender sobre terremoto
- 04 Proteger a si próprio (no momento do terremoto)
- 05☆ Compreender sobre tufão
- 06 Estar atento à previsão de tempo e à informação sobre tufão, e compreender o seu conteúdo
- 07 Telefonar para o corpo de bombeiros e ambulância (119) ou polícia (110) (no caso de incêndio, etc.)

II Garantir e manter a moradia

03 Garantir a moradia

(06) Garantir a moradia

- 01 Consultar a imobiliária
- 02 Escolher a região onde quer morar
- 03 Assinar o contrato de locação residencial
- 04 Solicitar o serviço de transportadora de mudanças
- 05 Realizar os trâmites necessários

04 Organizar o ambiente residencial

(07) Administrar o ambiente residencial

- 01☆ Compreender sobre os trâmites de inscrição
- 02 Fazer a inscrição (serviço de luz, gás, água, etc.)

III Fazer compras e utilizar serviços

05 Fazer compras e utilizar serviços

(08) Fazer compras e utilizar serviços

- 01 Procurar lojas que vendam objetos necessários
- 02☆ Saber utilizar os vários tipos de lojas, conforme o objetivo
- 03 Procurar a loja que venda objeto determinado
- 04 Fazer compras em loja de departamento, supermercado, loja de conveniência, loja de eletrônicos, livraria, etc.
- 05 Ver as indicações do interior da loja ou perguntar ao atendente, e procurar onde se vende o produto almejado
- 06 Perguntar no balcão da loja
- 07 Perguntar ao atendente sobre o produto
- 08 Descobrir o preço
- 09 Perguntar as funções e o preço do produto
- 10 Ler a indicação do produto
- 11 Calcular o preço e a taxa do imposto
- 12 Pedir para experimentar a roupa
- 13 Pedir a mesma peça em cor diferente
- 14 Pedir para trocar o tamanho
- 15 Utilizar o cartão de pontos ou cupom de descontos
- 16 Utilizar o cartão de crédito
- 17 Escolher o produto necessário e comprar
- 18 Efetuar o pagamento (venda no balcão)
- 19 Devolver ou trocar o produto adquirido
- 20 Fazer o pedido
- 21 Compreender os serviços e os preços de cada estabelecimento (no caso de restaurante)
- 22 Procurar um restaurante que serve o prato desejado
- 23 Fazer a reserva pelo telefone
- 24 Falar com o funcionário do restaurante
- 25 Informar o número de pessoas e se prefere a seção de fumantes ou não fumantes
- 26 Ver o cardápio
- 27 Fazer o pedido após escolher o prato no cardápio
- 28 Comprar o vale-refeição
- 29 Fazer pedido adicional
- 30 Efetuar o pagamento (no restaurante)
- 31☆ Compreender os serviços e os preços de cada loja (utilização de diferentes tipos de serviço)
- 32 Procurar a loja
- 33 Conhecer o modo de utilização
- 34 Utilizar os serviços da loja de conveniência (ATM (caixa eletrônico), fax, pagamento de taxas de serviços públicos, etc.)
- 35 Utilizar a lavanderia, locadora de vídeo, salão de beleza, barbeiro, etc.
- 36 Compreender corretamente as informações anexas ao produto
- 37 Compreender os anúncios e encartes dos jornais
- 38 Confirmar o recibo
- 39 Compreender o recibo

40 Efetuar o pagamento

41 Confirmar se é possível utilizar o cartão de crédito

06 Controlar o dinheiro

(09) Utilizar a instituição financeira

01 Fazer a inscrição (abertura de conta)

02 Fazer o saque

IV Deslocar-se para o destino desejado

07 Utilizar o transporte público

(10) Utilizar o trem, ônibus, avião, navio, etc.

01 Perguntar o horário de partida e a duração da viagem

02 Perguntar como chegar ao destino

03 Utilizar a máquina automática de venda

(11) Utilizar o taxi

01 Procurar o ponto de taxi

02 Parar o taxi na rua

03 Informar o destino

04 Perguntar o preço, e pagar

08 Deslocar-se com a própria força

(12) Deslocar-se a pé

01 Ver a indicação de endereço, o nome do cruzamento, o mapa de indicação da cidade, etc.

02 Confirmar o destino no mapa

03 Pedir para desenhar o mapa

04 Confirmar a direção e a distância até o destino

05 Perguntar o caminho até o destino

VII Relacionar-se com as pessoas

14 Manter uma relação harmoniosa com as pessoas

(31) Relacionar-se com as pessoas

01☆ Compreender os tipos e o objetivo do cumprimento

02☆ Compreender o cumprimento adequado para cada momento, local e ocasião.

03 Aprender e praticar o cumprimento adequado para cada momento

04☆ Compreender a diferença cultural do cumprimento

05 Praticar o cumprimento adequado para cada pessoa

06 Praticar o cumprimento do cotidiano

07 Praticar o cumprimento para criar oportunidade de iniciar uma relação pessoal

08☆ Compreender o modo de se fazer a auto-apresentação

09☆ Compreender o modo de se fazer a auto-apresentação conforme a pessoa e a situação

10 Fazer a auto-apresentação oficial, em ambiente de trabalho

11 Fazer a auto-apresentação em ocasião particular

12 Perguntar à pessoa de confiança quando tiver dúvidas (sobre a etiqueta básica do Japão e outras)

VIII Tornar-se membro da sociedade

15 Respeitar as regras e boas maneiras da região e da sociedade

(33) Realizar os trâmites de cidadão

01☆ Compreender os tipos e o conteúdo dos vários trâmites

02 Perguntar na recepção da prefeitura onde fica a seção de registro de estrangeiro

03 Confirmar o modo de pagamento (dos vários impostos)

04 Verificar se há necessidade (de se realizar a declaração de imposto de renda, a declaração de

restituição)

(34) Respeitar as regras de cidadão

01 Verificar e compreender as regras de despejo de lixo da região onde mora, através de panfletos e outros materiais sobre a vida cotidiana divulgados pelo órgão público local

02 Perguntar ao vizinho as regras de despejo de lixo da região onde mora

03 Consultar às pessoas sobre as regras e boas maneiras

16 Participar da sociedade local

(35) Participar da sociedade local

01 Perguntar ao vizinho sobre a associação autônoma dos moradores da região onde vive

02 Tornar-se membro da associação autônoma dos moradores

03 Participar das atividades

IX Desfrutar e enriquecer a vida

20 Divertir-se nos momentos livres

(44) Divertir-se nos momentos livres

01☆ Conhecer o local para passar os momentos livres e o seu modo de utilização

02 Receber conselhos de pessoas apropriadas

03 Obter informação boca-a-boca dos colegas de trabalho e pessoas ao redor

04☆ Conhecer os tipos de instituições e o seu sistema (instituições públicas da região)

05 Perguntar o modo de utilização (instituições públicas da região)

X Coletar e divulgar informações

21 Comunicar-se

(45) Utilizar o correio e o serviço de entrega

01☆ Compreender o sistema de correio

02 Escrever carta ou cartão postal, e enviá-los

03 O que fazer ao receber a notificação de entrega

04 Receber o pacote do serviço de entrega

(46) Utilizar a internet

01☆ Compreender o conteúdo do serviço de internet e o seu modo de uso

02 Perguntar para alguém e compreender o modo de fazer a busca pela internet

03 Escrever email

(47) Utilizar o telefone e o fax

01 Telefonar

02 Atender uma ligação

22 Utilizar a mídia

(48) Utilizar a mídia

01 Assistir aos programas de televisão

* Os números "I" a "X" são divisões maiores, "01" a "22", divisões intermediárias, e "(01)" a "(48)", divisões menores. Os capítulos "V Criar e educar filhos" e "VI Trabalhar" da "Sugestão de currículo padrão", pág. 120, não foram incluídos na "Lista das classificações das situações do cotidiano".

* Os números sublinhados indicam casos imprescindíveis para a criação da base do cotidiano, ou casos relacionados à segurança, portanto são considerados emergenciais e imprescindíveis para a vida cotidiana. Os casos indicados com "☆" são relacionados à segurança ou à criação da base de uma vida cotidiana básica, portanto são emergenciais e o seu conhecimento é considerado necessário.

【Español : スペイン語】 Ejemplos de acción en la vida tratados en el plan de currículo estándar

I Vivir de forma saludable y segura

01 Mantener una buena salud

(01) Recibir asistencia médica en una institución médica

- 01 Comentarle el estado de salud a un vecino y pedirle consejo
- 02 Hacer trámites en la recepción de primera consulta de una institución médica
- 03 Consultar a un médico
- 04 Preguntar al médico sobre las medidas que se deben tomar para hacer frente a la enfermedad y las advertencias en la vida, etc. y entender la respuesta del médico

(02) Utilizar medicamentos

- 01 Recibir la receta en la institución médica y confirmar su contenido
- 02 Explicar al médico los síntomas presentados y pedirle que le recete medicamentos
- 03 Entender la explicación del farmacéutico, etc. sobre los "efectos, el método de uso y las advertencias" de los medicamentos recetados

(03) Tener cuidado con la salud

- 01 Entender informaciones sobre enfermedades epidémicas y tomar las medidas necesarias adecuadamente
- 02 Entender informaciones sobre la seguridad de los alimentos y del agua potable

02 Tomar precauciones para protegerse

(04) Prepararse contra accidentes y tomar las medidas necesarias

- 01 Entender las señales y advertencias de diversa índole (peligro alto voltaje, advertencia de descarga eléctrica, prohibición de entrada, etc.)
- 02 Entender métodos efectivos para cerrar con cerradura
- 03 Hacer una llamada de emergencia a la policía (número 110)
- 04 Avisar a alguien que está cerca (sucesos, etc.)
- 05 Pedir una ambulancia
- 06 Avisar a alguien que está cerca (accidentes, etc.)

(05) Prepararse contra desastres y tomar las medidas necesarias

- 01 Entender informaciones públicas de las autoridades locales, carteles, letreros, etc. y confirmar el lugar
- 02 Entender o preguntar sobre el lugar y el método de refugio
- 03 ☆ Tener los conocimientos necesarios sobre terremotos
- 04 Protegerse (En caso de terremotos)
- 05 ☆ Tener los conocimientos necesarios sobre tifones
- 06 Prestar atención a la información meteorológica y de tifones y entenderla
- 07 Hacer llamadas de emergencia a los bomberos/ambulancias (número 119) y/o a la policía (número 110) (en caso de incendios, etc.)

II Alquilar una vivienda y mantenerla

03 Alquilar una vivienda

(06) Alquilar una vivienda

- 01 Consultar con una agencia inmobiliaria
- 02 Elegir dónde vivir
- 03 Firmar un contrato de alquiler de vivienda
- 04 Contratar una compañía de mudanza
- 05 Hacer los trámites necesarios

04 Ordenar el ambiente de la vivienda

(07) Administrar la vivienda

- 01 ☆ Entender los trámites iniciales
- 02 Solicitar los servicios públicos (electricidad, gas, agua, etc.)

III Hacer actividad del consumo

05 Comprar artículos y utilizar servicios

(08) Comprar artículos y utilizar servicios

- 01 Buscar tiendas, etc. que vendan los artículos necesarios
- 02 ☆ Aprender a utilizar diferentes tipos de establecimientos según los objetivos
- 03 Buscar lugares donde se vendan los artículos necesarios
- 04 Hacer compras en grandes almacenes, supermercados, tiendas de 24 horas, tiendas de electrodomésticos, librerías, etc.
- 05 Buscar la sección donde se venden los artículos que se quiere comprar, mirando las indicaciones dentro del establecimiento o preguntando a los dependientes
- 06 Preguntar sobre la sección de venta
- 07 Preguntar a un dependiente sobre artículos
- 08 Conocer el precio
- 09 Preguntar sobre las funciones y el precio de un artículo
- 10 Leer el etiquetado del artículo
- 11 Calcular el precio y el impuesto
- 12 Preguntar si puede probarse la ropa
- 13 Pedir un modelo de otro color
- 14 Solicitar el cambio de tamaño
- 15 Aprovechar la tarjeta de puntos o el cupón de descuento
- 16 Utilizar la tarjeta de crédito
- 17 Escoger y comprar los artículos necesarios
- 18 Pagar (venta personalizada)
- 19 Devolver o cambiar el artículo comprado
- 20 Hacer un pedido
- 21 Entender los servicios y los precios de cada establecimiento (utilización de restaurantes, etc.)
- 22 Buscar un restaurante que ofrezca comidas que se quiera comer
- 23 Hacer una reserva por teléfono
- 24 Hablar con el dependiente
- 25 Decir al dependiente en el restaurante el número de personas y/o si prefieren un asiento para fumadores/no fumadores
- 26 Leer el menú
- 27 Escoger platos y pedirlos
- 28 Comprar un vale de comida
- 29 Hacer un pedido suplementario
- 30 Pagar (restaurantes)
- 31 ☆ Entender los servicios y los precios de cada restaurante (utilización de diferentes servicios)
- 32 Buscar tiendas
- 33 Conocer métodos de aprovechamiento
- 34 Aprovechar los servicios de las tiendas de 24 horas (cajero automático, fax, pago de las tarifas de los servicios públicos, etc.)
- 35 Aprovechar tintorerías, tiendas de alquiler de videos, salones de belleza y peluquerías
- 36 Entender correctamente la información que acompaña al artículo
- 37 Entender la publicidad de periódicos y encartes
- 38 Confirmar recibos
- 39 Entender recibos

40 Pagar el importe

41 Confirmar si se puede pagar con la tarjeta de crédito o no

06 Administrar el dinero

(09) Aprovechar instalaciones financieras

01 Solicitar (apertura de una cuenta)

02 Sacar dinero depositado de la cuenta

IV Desplazarse al destino

07 Utilizar medios de transporte públicos

(10) Tomar el tren, el autobús, el avión, el barco, etc.

01 Preguntar sobre la hora de partida y el tiempo que se tarda

02 Preguntar sobre cómo ir al destino

03 Usar la máquina expendedora de boletos

(11) Tomar el taxi

01 Buscar la parada de taxi

02 Parar un taxi en la calle

03 Decir al chofer el destino

04 Escuchar la tarifa y pagarla

08 Moverse por sí mismo

(12) Moverse caminando

01 Leer la indicación de la dirección, el nombre del cruce, el plano informativo de la comunidad, etc.

02 Confirmar el destino sobre el plano informativo

03 Pedir a alguien que dibuje un mapa

04 Confirmar la dirección y la distancia hasta el destino

05 Preguntar sobre cómo ir al destino

VII Relacionarse con la gente

14 Relacionarse con otros sin problemas

(31) Relacionarse con la gente

01 ☆ Entender los tipos de saludos y sus objetivos

02 ☆ Entender las formas de saludo adecuadas al tiempo, al lugar y a la ocasión

03 Aprender los saludos oportunos y practicarlos

04 ☆ Entender la diferencia cultural de los saludos

05 Saludar de acuerdo con el interlocutor

06 Hacer saludos cotidianos

07 Saludar a otros para establecer relaciones humanas

08 ☆ Entender cómo presentarse

09 ☆ Entender las formas de autopresentación adecuadas según los interlocutores y las situaciones

10 Hacer una autopresentación oficial en el trabajo

11 Presentarse en escenarios privados

12 Preguntar a alguien de confianza cuando no entienda o tenga dudas (Sobre los modales generales de Japón)

VIII Hacerse miembro de la sociedad

15 Respetar las reglas y los modales de la comunidad y la sociedad

(33) Hacer los trámites necesarios como residente

01 ☆ Entender los tipos de trámites y sus contenidos

02 Preguntar sobre dónde se encuentra la ventanilla de registro de extranjería en el ayuntamiento

03 Confirmar el método de pago (impuestos de diversa índole)

04 Confirmar la necesidad (declaración de la renta, solicitud de devolución)

(34) Respetar los modales como residente

01 Confirmar y entender cómo tirar la basura en la comunidad donde vive mediante el folleto sobre la información de la vida publicado por las organizaciones públicas locales

02 Preguntar a un vecino sobre la manera de tirar la basura

de la comunidad donde vive

03 Consultar con la gente sobre modales

16 Participar en la comunidad local

(35) Participar en la comunidad local

01 Preguntar a un vecino sobre la asociación de vecinos del lugar donde vive

02 Hacerse miembro de la asociación de vecinos

03 Participar en eventos

IX Enriquecerse

20 Disfrutar del tiempo libre

(44) Disfrutar del tiempo libre

01 ☆ Conocer lugares donde se puede pasar el tiempo libre y cómo utilizarlos

02 Consultar con la persona adecuada

03 Conseguir informaciones de forma oral de compañeros de trabajo y personas que se encuentran en los alrededores

04 ☆ Conocer los tipos y sistemas de instalaciones de entretenimiento (instalaciones públicas locales)

05 Preguntar sobre cómo utilizar las instalaciones (instalaciones públicas locales)

X Recolectar y emitir informaciones

21 Comunicar

(45) Utilizar el servicio de correo y mensajería

01 ☆ Entender el sistema de correos

02 Escribir cartas y tarjetas postales y enviarlas

03 Responder al aviso de la distribución durante un periodo de ausencia (*Fuzai Haitatsu Tsuchi*)

04 Recibir un objeto enviado por mensajería

(46) Utilizar Internet

01 ☆ Entender el contenido del servicio de Internet y cómo utilizarlo

02 Preguntar a alguien sobre cómo utilizar la función de búsqueda de Internet

03 Escribir mensajes electrónicos

(47) Utilizar el teléfono/fax

01 Hacer llamadas telefónicas

02 Contestar llamadas telefónicas

22 Aprovechar medios de comunicación de masa

(48) Aprovechar medios de comunicación de masa, etc.

01 Ver programas de televisión

* Los apartados de "I" a "X" corresponden a la categoría mayor de las acciones en la vida, los de "01" a "22" corresponden a la categoría intermedia y los de "(01)" a "(48)" corresponden a la categoría menor. Están omitidos los apartados "V. Criar y educar a hijos" y "VI. Trabajar" de la "Lista de categorías de las acciones en la vida" que se encuentra en la página 120 del "Plan de currículo estándar".

* Las acciones citadas con "(número)" son las acciones indispensables para formar la base fundamental de la vida o las acciones en la vida necesarias por su emergencia y relación con la seguridad. Las acciones marcadas con "☆" son las acciones que se considera necesario saber como informaciones, puesto que están relacionadas con la formación de la base fundamental de la vida o con la seguridad por su emergencia.

3. 生活上の行為の事例と能力記述

ここではカリキュラム案で取り扱っている生活上の行為の事例と、それに対する能力記述のリストを掲載しています。なお、ここで取り上げている能力記述はカリキュラム案で取り上げたものよりも詳細なものになっています。

「能力記述¹」とは、できるようになることが期待される具体的な行動達成目標のことであり、それぞれの「生活上の行為」に複数の能力記述を記載しています。

学習者にとっては、能力記述の一覧により、自分ができること・できないことを具体的に把握することができ、自分の日本語学習の状況を確認し、具体的に目標を立てる目安として活用することができます。

また、指導者にとっては、「日本語で何ができれば生活上の行為ができるようになるのか」について知ることができ、具体的に教室活動の組立について考えることが可能になります。

ここでは、「生活上の行為を行う上で必要な知識や情報に関する理解」や、うまく日本語を使って生活上の行為を行うことができない場合に行うコミュニケーションの工夫も能力記述のリストに入れています。いずれも実際に日本で生活を行う上では欠かすことができないものです。

これら能力記述のリストを基に、学習者と指導者が能力記述を参考に共に学習の記録を付けることが行動・体験中心の評価につながります。また、共通のツールを基に指導者・学習者が共に学習の軌跡を振り返り、今後のプランについてコミュニケーションを行うことが、学習者のニーズや状況・地域の状況に合った日本語教育を各地で作り出していく上で大切です。

能力記述のリストの活用

①学習者にとって

- ・自分ができること・できないことを具体的に確認することができる。
- ・自分の現在の状況に合わせて具体的な目標を立てることができる。

②指導者にとって

- ・日本語で何ができれば生活上の行為ができるようになるのか確認できる。
- ・教室活動の組立について考えることができる。

③学習者・指導者にとって

- ・能力記述を活用した記録・評価を参考に、学習の軌跡を振り返ったり、今後のプランについて検討したりすることができる。

⋮

¹ 「能力記述」という用語は「キャンドゥーステートメント(Can-do-statements)」の訳として用いています。

※「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案で取り上げた能力記述に追記を行っている。

大分類		
中分類		
小分類		
事例 1 (上位項目)		能力記述
事例 2 (下位項目)		
I 健康・安全に暮らす		
O 1 健康を保つ		
(O 1) ● 医療機関で治療を受ける		
0101 適切な医療機関の選択をする		
0101060 ★ 隣人に容態を伝えて助言を求める	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体の名称が分かる ・ 症状の名称が分かる ・ 隣人に症状を伝えることができる ・ 内科、歯科など診療科の名称が分かる ・ 隣人に適切な診療科、医療機関の助言を求めることができる ・ 隣人に適切な医療機関の所在を聞くことができる 	
0102 問診票に記入する		
0102010 ★ 初診受付で手続をする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初診であることを伝えることができる ・ 自身の保険証の内容が理解できる ・ 保険証についての質問が理解できる ・ 問診票の記載事項が理解できる ・ 問診票などに住所、氏名、症状などを記入することができる ・ 「受付→待合室→診察室→待合室→会計」といった受診の行動の流れが理解できる 	
0103 医者の説明・指示を理解し、応答する		
0103010 ★ 医者の診察を受ける	<ul style="list-style-type: none"> ・ 症状を伝えることができる ・ 症状が始まった時期を伝えることができる ・ 症状の程度を伝えることができる ・ 医者の診察、指示が理解できる ・ 注射、レントゲンなどの医療機器の名称が分かる 	
0103120 ★ 病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病気への対処法・生活上の注意を尋ねる ・ 病気への対処法・生活上の注意を理解できる ・ 医療機関の診療曜日、診療時間が分かる ・ 次回の予約の方法が分かる 	
(O 2) ● 薬を利用する		
0201 処方せんを持って薬局へ行く		
0201020 ★ 医療機関で処方せんをもらい、内容を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処方せんが何であるかを理解できる ・ 処方せんを受け取り、指示を理解できる ・ 薬局の場所を尋ねることができる 	
0202 薬局・薬店を利用する		
0202050 ★ 症状を説明し、薬を求める	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんな症状があるかを説明することができる ・ 症状がいつからあるかを説明することができる ・ 薬剤師等の質問に答えることができる ・ どんな薬が欲しいか伝えることができる ・ 薬のラベルなどを確認することができる ・ 症状が始まった時期を伝えることができる ・ 症状の程度を伝えることができる ・ 「おくすり手帳」が分かる ・ 自身の「おくすり手帳」を持参して提示することができる 	

		・ 自身のアレルギーについて伝えることができる
0203	薬の説明を理解し、適切に利用する	
	0203070 ★ 薬剤師等の「効能、用法、注意」の説明を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効能や用法についての説明を理解できる ・ 不明な点について質問することができる ・ 薬の表示などが確認ができる ・ 効能についての説明を理解できる ・ 副作用についての説明を理解できる ・ 服用時の注意事項を確認できる ・ 服用後の注意事項を確認できる
(03) ● 健康に気を付ける		
0301	病気を予防する	
	0301090 ★ 流行性の病気についての情報を理解し適切に対処する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本における季節ごとの流行性の病気について分かる ・ 流行性の病気の予防方法を聞くことができる ・ 回覧板や掲示を読んで理解できる ・ 学校からのお便りを読んで理解できる ・ ニュースを聞いて情報を理解できる ・ 流行性の病気についてインターネットを使って調べることができる ・ 日本において特に流行する病気について、基礎的な予防方法が分かる ・ 流行性の病気の予防方法が、母国と日本では異なる可能性があることが分かる ・ 手洗いうがい等、日本で習慣化されている予防法について分かる
0302	衛生管理をする	
	0302010 ★ 食品や飲料水の安全情報を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食品や飲料水の安全について聞くことができる ・ 表示やラベルなどが確認できる ・ 表示やラベルの重要な部分が分かる ・ 生鮮食品の表示やラベルなどが確認できる ・ 加工食品の内容表示を読んで理解できる ・ アレルギーに関する表示を読んで理解できる
02 安全を守る		
(04) ● 事故に備え、対応する		
0401	事故を回避する（各種の標識・注意書き等を理解する（高電圧危険、感電注意、立入禁止等））	
	0401030 ★ 各種の標識・注意書き等を理解する（高電圧危険、感電注意、立入禁止等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標識や注意書きを読み取り、理解できる ・ 意味を理解し、それに応じた適切な行動が取れる ・ 危険であるということをなんとかして周囲の人に伝えることができる
0402	防犯対策（施錠等）を行う	
	0402030 ★ 有効な施錠の仕方について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 購入した鍵の説明書が理解できる ・ 友人や知人に、疑問点を質問したり確認したりすることができる ・ 防犯の目的にあった鍵について分かる ・ 防犯のために鍵を購入するのに適切な店舗が分かる ・ 通常家を空けるときは施錠することが必要があることが分かる ・ ピッキングなど頻発する犯罪について分かる
0403	防犯に対処する	
	0403020 ★ 警察（110番）に電話する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況を明確に伝えることができる ・ 警察官の質問や指示を理解し、適切な受け答えができる ・ 住所や電話番号などを伝えることができる ・ 起こったことを順序立てて説明ができる

		<ul style="list-style-type: none"> ・警察官の指示に従って当面の対応を行うことができる ・警察が110番だということが分かる ・場所が分かりにくいときにどのようなものを目印にすればよいか分かる ・目印になりやすいものについて分かりやすく説明ができる ・110番の通報に携帯電話を使わない方がよい場合が分かる ・携帯電話から110番をする際はGPSを有効にしていた方がいいということが分かる
0403040	★ 近くの人に知らせる	<ul style="list-style-type: none"> ・隣人や近くの人に、状況説明ができる ・起こったことを順序立てて説明ができる ・詳細な内容でなくても、緊急事態が起きているということをなんとか伝えることができる ・どうして欲しいかを伝えることができる
0404 交通事故に対処する		
0404020	★ 救急車を要請する	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の発生場所と状況を伝えることができる ・自分の名前と電話番号を伝えることができる ・救急車を呼ぶ方法が分かる ・交通事故の際の基本的な初期対応が分かる ・救急が119番だということが分かる ・場所が分かりにくいときにどのようなものを目印にすればよいか分かる ・目印になりやすいものについて分かりやすく説明ができる ・119番の通報には携帯電話を使わない方がよい場合があることが分かる ・携帯電話から110番をする際はGPSを有効にしていた方がいいことが分かる
0404070	★ 近くの人に知らせる	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故に遭ったとき、通行人に状況を説明できる ・通行人に支援を要請できる ・詳細な内容でなくても、緊急事態が起きているということをなんとか伝えることができる ・どうしてほしいかを伝えることができる
(05) ● 災害に備え、対応する		
0501 避難場所・方法を確認する		
0501020	★ 自治体広報、掲示、看板等を理解し、現地を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・分からないことを人に質問して確認できる ・災害の名称が理解できる ・自分の住む自治体の地区名、町名などが理解できる ・避難場所の位置を地図（略図）で理解できる ・広報、掲示板等の説明を読んで理解できる ・分からないことを人に質問して確認できる
0501030	★ 避難場所・方法を理解する・人に聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・避難方法の注意書きを読んで理解できる ・避難場所を示す看板・標識などが理解できる ・避難方法について人に質問して理解できる ・危険な場所について人に質問して理解できる
0502 地震発生時に適切に行動する		
0502010	★ 地震について理解する	
0502020	★ 身を守る	<ul style="list-style-type: none"> ・身の守り方について説明を読んで理解できる ・身の守り方について人に質問して理解できる
0503 台風発生時に適切に行動する		
0503010	★ 台風について理解する	
0503020	★ 天気予報・台風情報に留意し理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・天候を示すアイコンが理解できる

		<ul style="list-style-type: none"> ・風の強さ、波の高さなど台風に関連した気象用語が理解できる ・新聞やラジオ・テレビ、インターネットの気象情報を理解できる ・ラジオ・テレビ、インターネットの交通情報を理解できる ・台風について人に質問して理解できる
0504	火災発生時に適切に行動する	
0504050	★ 消防・救急（１１９番）や警察（１１０番）に電話する	<ul style="list-style-type: none"> ・消防・救急（１１９番）に電話を掛けることができる ・火事の発生場所と状況を伝えることができる ・けが人の状況を伝えることができる ・警察（１１０番）に電話を掛けることができる ・自分の名前と電話番号を伝えることができる
Ⅱ 住居を確保・維持する		
○ ３ 住居を確保する		
(○ ６) ● 住居を確保する		
0601	住居を探す	
0601060	★ 不動産業者に相談する	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の不動産業者の場所が分かる ・住居について希望や条件を伝えることができる ・不動産業者の説明を聞いて理解できる ・不動産の情報を読んで理解できる ・間取りや支払うお金について等、不動産に関する基礎的なことが分かる ・インターネットで不動産に関連する情報を調べることができる
0601090	★ 居住する地域を選択する	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産の情報を読んで理解できる ・友人や知人から必要な情報を得ることができる
0602	契約する	
0602040	★ 賃貸契約をする	<ul style="list-style-type: none"> ・契約書の内容を読んで理解できる ・契約に必要な書類をそろえることができる ・契約に関する疑問点を質問できる ・契約の際に友人や知人に同行してもらうことができる
0603	引越しをする	
0603070	★ 引越し業者に依頼する	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の条件を示して、依頼する事項を正しく伝えることができる ・依頼事項に関する業者の返答が理解できる ・引越し業者の繁忙期や閑散期、料金相場等、引越しに関する基本的なことが分かる
0603080	★ 必要な手続を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・引越しの際に必要な手続きが分かる ・手続に必要な書類について聞くことができる ・職員の質問に答えることができる ・転入届の手続をすることができる ・郵便の転送手続きが分かる ・転居のあいさつ等、引越しに関する習慣について分かる
○ ４ 住環境を整える		
(○ ７) ● 住居を管理する		
0701	電気・ガス・水道等の使用を開始する	
0701010	☆ 開始手続について理解する	
0701090	★ 申込みをする	<ul style="list-style-type: none"> ・電話で必要事項を伝えることができる ・電話連絡先を調べることができる ・電話で使用開始の日程を調整できる

- ・ 自宅での作業員の説明を理解できる
- ・ 使用時の注意点を理解できる
- ・ トラブル時に電話で対応を依頼できる
- ・ 案内書の内容を読んで理解できる

Ⅲ 消費活動を行う

○ 5 物品購入・サービスを利用する

(○ 8) ● 物品購入・サービスを利用する

0801 対面販売で購入する

0801020 ★ 必要な品物を扱う店等を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友人や知人に店の場所を聞くことができる ・ 友人や知人にどんな店か聞くことができる ・ 電話帳で店を特定することができる ・ 新聞の広告を理解できる ・ 携帯電話で買い物の情報を検索することができる ・ インターネットを利用して買い物の情報を検索することができる ・ フリーペーパーなど地域の買い物情報が掲載されている情報ツールについて分かる
0801030 ☆ 目的によって店舗の種類を使い分けを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットを利用して各店舗の特徴を調べることができる ・ インターネットで検索できる情報を理解することができる
0801040 ★ 販売しているところを探す	<ul style="list-style-type: none"> ・ 販売しているところを聞くことができる ・ 店の名前や店の種類が分かる ・ インターネットを利用して近隣にある店舗情報を調べることができる ・ 携帯電話を利用して近隣にある店舗情報を調べることができる ・ 外国人が買い物しやすい場所を聞くためのネットワークを持つことができる ・ 友人や知り合いに買い物に同行してもらうことができる
0801050 ★ デパート、スーパーマーケット、コンビニ、電気店、書店等で買い物をする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買いたい物を買うことができる
0801060 ★ 店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買いたい物がどこにあるか聞くことができる ・ 商品名を言うことができる ・ 店内の表示を見てほしいものがどこにあるか理解することができる ・ 欲しいものが店内の表示に書かれていない場合でも、欲しいものの売り場を推測することができる ・ ほしいものがある場所の説明を理解することができる
0801080 ★ 売り場を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売り場がどこにあるか聞くことができる ・ 売り場の説明を理解できる ・ 説明がよく分からないときに聞き返したり確認したりすることができる
0801100 ★ 店員に商品について尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 希望のサイズを伝えることができる ・ 希望の量を伝えることができる ・ 希望の大きさを伝えることができる ・ 希望の形や特徴を伝えることができる ・ サイズの基準が母国と違うことが分かる ・ 自分の希望するサイズの日本での言い方が分かる
0801130 ★ 値段を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品の値札を見て、値段を理解できる ・ 商品の値札を見て、税込みの値段かどうかを理解することができる

0801140 ★ 商品の機能や値段を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> 商品の機能を尋ねることができる 商品の値段を尋ねることができる
0801150 ★ 商品の表示を読む	<ul style="list-style-type: none"> 食品に書かれた材料、産地、賞味期限などを読み取ることができる 食品の成分表示を見て、食べられないものを確認することができる 商品パッケージのごみ分別の表示を理解することができる 商品の内容量・数量などの表示を理解することができる 商品に貼られている割引表示を理解することができる
0801160 ★ 値段・税率を計算する	<ul style="list-style-type: none"> 商品の消費税を確認することができる
0801190 ★ 試着を申し出る	<ul style="list-style-type: none"> 店員を呼ぶことができる 試着を申し出ることができる
0801200 ★ 色違いのものを頼む	<ul style="list-style-type: none"> 好きな色の商品を選ぶことができる 自分がほしいものの色を言うことができる
0801210 ★ サイズの変更を申し出る	<ul style="list-style-type: none"> 自分に合うサイズの商品を選ぶことができる 自分に合うサイズを伝えることができる サイズを言う際の単位について分かる
0801220 ★ ポイントカードや割引券を利用する	<ul style="list-style-type: none"> ポイントカードや割引券の利用可否について質問することができる 必要に応じてポイントカードや割引券を使って買い物ができる ポイントカードや割引券の利用ルールについて理解することができる
0801230 ★ クレジットカードを利用する	<ul style="list-style-type: none"> クレジットカードの利用可否について質問することができる 必要に応じてクレジットカードを使って買い物ができる クレジットカードの利用方法についての質問に答えることができる 暗証番号を入力する機械の使い方が分かる 支払方法の選択や確認ができる 明細を見て最低限確認しなければならないポイントが分かる クレジットカード以外にデビットカード、銀聯カードなどが分かる
0801240 ★ 必要なものを選んで購入する	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものを選んで購入できる 必要なものを選ぶ際に必要な表示を読んで理解することができる
0801250 ★ 支払う	<ul style="list-style-type: none"> 支払いの意思を伝えることができる 支払いの方法を選ぶことができる 支払いができる
0801260 ★ 返品・交換をする	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて商品の返品・交換をすることができる 商品の返品や交換に関する基本的なことが分かる
0801270 ★ 注文する	<ul style="list-style-type: none"> 購入したいものを注文することができる 取り寄せに関する質問に答えることができる インターネットを使って注文することができる 電話を使って注文することができる
0802 飲食店を利用する	
0802020 ★ 店ごとに受けられるサービスと代価を理解する	<ul style="list-style-type: none"> 店ごとに受けられるサービスと代価を理解した上で、それを利用することができる 店ごとに受けられるサービスと代価を比較できる
0802030 ★ 希望の食べ物を扱う店を探す	<ul style="list-style-type: none"> 食べたいものを示し、店のありかを質問することができる

	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の示した店のありかが分かる
0802040 ★ 電話で予約する	<ul style="list-style-type: none"> ・一般の店で予約ができることが分かる ・一定の条件を示して予約の可・不可について質問することができる ・予約の可・不可についての情報を理解することができる ・希望の条件（人数・サービス内容など）を伝えることができる ・店の示す条件を理解できる ・条件の変更を伝えることができる ・予約内容の確認ができる ・予約のキャンセルができる
0802060 ★ 店員と話す	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて店員と話す内容が理解できる ・店員との応答ができる ・注文した品と異なる場合、説明できる
0802080 ★ 店で人数や禁煙・喫煙などの希望を伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・希望の内容と店による許諾可能性を理解できる ・希望の内容を適切に伝えることができる ・希望の内容に対する店員の説明が理解できる ・希望の座席の位置、種類を伝えることができる
0802100 ★ メニューを読む	<ul style="list-style-type: none"> ・メニューの種類を理解できる ・メニューの情報（食材、調理方法など）を理解できる（不明な点は店員等に質問できる）
0802120 ★ メニューを選んで注文する	<ul style="list-style-type: none"> ・店員を呼ぶことができる ・注文する品と数を伝えることができる ・店員による注文の確認を理解できる
0802140 ★ 食券を買う	<ul style="list-style-type: none"> ・食券により購入するシステムが理解できる ・必要なものを選んで券売機を利用できる
0802170 ★ 追加の注文をする	<ul style="list-style-type: none"> ・注文する品と数を伝えることができる
0802190 ★ 支払いをする	<ul style="list-style-type: none"> ・支払いの意思を伝えることができる ・支払いの方法を選ぶことができる ・支払いができる
0803 各種サービスを利用する	
0803010 ★ 店ごとに受けられるサービスと代価を理解する	
0803040 ★ 店舗を探す	<ul style="list-style-type: none"> ・知らない人を呼び止めることができる ・情報提示を求めることができる ・希望するサービスを扱う店を尋ねることができる ・提供された（店の情報）情報が理解できる
0803080 ★ 利用方法を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提示を求めることができる ・追加情報を求めることができる ・提供された情報を理解できる
0803100 ★ コンビニエンスストアのサービス（ＡＴＭ、ファックス、公共料金の支払い等）を利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提示を求めることができる ・追加情報を求めることができる ・希望するサービス内容を伝えることができる ・費用や利用条件などを質問できる ・提供された情報（費用、利用条件など）を理解できる ・機器の表示（文字・記号）が理解できる ・表示された指示に従って操作・対応できる ・納付書等の記載事項が理解できる ・納付書等に的確に記入することができる

0803110 ★ クリーニング店、レンタルビデオ店、美容院、理容店を利用する	<ul style="list-style-type: none"> ・来店の目的や希望を申し出ることができる ・費用や利用条件などを質問できる ・情報提示を求めることができる ・追加情報を求めることができる ・提供された情報（費用、利用条件など）を理解できる ・申込書に必要事項を記入することができる ・支払いができる ・店員と適切なあいさつを交わすことができる
0804 商品情報（素材、注意書き等）について理解する	
0804020 ★ 商品に添えられた情報を的確に理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・求める情報のありかを探し、たどり着くことができる ・提供された商品情報（文字情報）を読み取ることができる ・追加情報を求めることができる
0804040 ★ 新聞広告・折り込み広告を理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・求める情報のありかを探し、たどり着くことができる ・提供された商品情報（文字情報）を読み取ることができる
0805 購入額を確認・計算する	
0805040 ★ レシートを確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・求める情報のありかを探し、たどり着くことができる ・提供された情報（文字情報）を読み取ることができる ・追加情報を求めることができる
0805050 ★ レシートを理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・求める情報のありかを探し、たどり着くことができる ・提示された文字情報を読み取ることができる ・追加情報を求めることができる
0805080 ★ 代金を支払う	<ul style="list-style-type: none"> ・提示された代金や支払い方法の情報が理解できる ・必要な問い返しができる ・支払い方法などの希望を伝えることができる ・示された支払い方法が理解できる
0806 カード等を利用する	
0806030 ★ カードの利用の可・不可を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・カード利用の可・不可について質問することができる ・カード利用の可・不可についての情報を理解することができる
06 お金を管理する	
(09) ● 金融機関を利用する	
0901 口座を開設する	
0901050 ★ 申込みをする	<ul style="list-style-type: none"> ・口座開設の意志を伝えることができる ・係員の説明を聞いて理解できる ・必要事項を記入することができる ・口座の種類と用途が分かる ・口座開設に必要な書類について聞くことができる
0903 A T Mを利用する	
0903040 ★ 預金の引出しをする	<ul style="list-style-type: none"> ・A T Mの指示内容（文字情報）を理解できる ・自身が分かる言語に切り替えて使うことができる ・A T Mの使い方が分からないときに、係員に聞くことができる

IV 目的地に移動する

07 公共交通機関を利用する

(10) ● 電車、バス、飛行機、船等を利用する

1001 時刻表を確認する

1001020 ★ 発車する時刻や掛かる時間を尋ねる

- ・親しくない人にもものを探ねる際の適切な切り出しができる
- ・目的地を伝えることができる
- ・時刻や掛かる時間を尋ねることができる
- ・目的地へ行く交通機関の時間や所要時間を聞くことができる
- ・時間や発車場所を理解できる
- ・駅名、行き先などの駅の表示が理解できる
- ・説明してもらった行き方を繰り返して確認することができる
- ・よく分からないときに聞き返すことができる
- ・PCで路線検索した結果で分からないことを尋ねることができる
- ・携帯で路線検索した結果で分からないことを尋ねることができる

1002 路線図を確認する

1002060 ★ 目的地への行き方を尋ねる

- ・目的地への行き方を質問することができる
- ・目的地への行き方の説明を理解できる
- ・駅名、行き先などの駅の表示が理解できる
- ・インターネットや携帯電話を使ってルート検索ができる
- ・路線図をもらうことができる
- ・PCで路線検索した結果で分からないことを尋ねることができる
- ・携帯で路線検索した結果で分からないことを尋ねることができる

1004 運賃を支払う・切符を購入する

1004060 ★ 券売機を利用する

- ・券売機の使い方が分かる
- ・券売機の文字が読める
- ・券売機の使い方を聞くことができる
- ・割引切符やお得な運賃のことを聞くことができる
- ・交通機関の割引等に詳しい人が分かる

(11) ● タクシーを利用する

1101 タクシーを呼ぶ

1101060 ★ タクシー乗り場を探す

- ・「タクシー」の表示を理解できる
- ・タクシー乗り場の場所を聞くことができる
- ・場所の説明を理解できる

1101070 ★ 道路でタクシーを止める

- ・「空車」の表示を理解できる
- ・手を挙げてタクシーを止めることができる

1102 行き先を指示する

1102040 ★ 行き先を告げる

- ・タクシーの運転手に行き先を伝えることができる
- ・道順を説明することができる
- ・行き先の目印になるものを伝えることができる
- ・行き先の目印になりやすい建物や場所が分かる
- ・曲がる場所や止まる場所を具体的に伝えることができる

1103 運賃を支払う

1103060 ★ 運賃を聞き取り、支払う

- ・タクシーメーターの運賃を理解できる
- ・運賃を聞き取ることができる
- ・現金以外の支払い方法を尋ねることができる
- ・領収書をもらうことができる
- ・雑談に応じることができる
- ・現金以外の支払いが可能かどうか聞くことができる
- ・領収証をもらうことができる

08 自力で移動する

(12) ● 徒歩で移動する

1201 住所・番地を確認する

1201030 ★ 住所表示、交差点名、街の案内地図などを読む

- ・地名などの漢字の読み方を質問できる
- ・地名などの漢字を読むことができる
- ・案内地図によく使われる記号を理解することができる
- ・地図などのローマ字を読んで場所を理解することができる
- ・住所表示の基本的なルールが分かる

1202 地図を理解する

1202030 ★ 地図上で目的地を確認する

- ・地名などの漢字を読むことができる
- ・地図によく使用されている記号の意味が分かる
- ・PCで目的地の地図を探すことができる
- ・携帯で目的地の地図を探すことができる

1202060 ★ 地図を書いてもらう

- ・自分の行きたい場所を説明できる
- ・地図を書いてくれた人の説明が理解できる
- ・書いてもらった地図について質問や確認ができる

1203 交通標識を理解する

1203030 ★ 目的地の方向や距離を確認する

- ・地名などの漢字を読むことができる
- ・交通標識の意味を理解できる
- ・ローマ字で地名を理解できる

1204 道を聞く

1204040 ★ 目的地までの道を尋ねる

- ・人を呼び止めることができる
- ・親しくない人にものを尋ねる際の適切な切り出しができる
- ・目的地を説明することができる
- ・掛かる時間を尋ねることができる
- ・説明内容を聞いて理解できる
- ・説明してもらった行き方を繰り返して確認することができる
- ・よく分からないときに聞き返すことができる
- ・説明内容について確認や質問ができる
- ・説明内容がよく分からないときに地図を書いてもらうことができる
- ・目的地の目印となる場所や建物などが分かる

VII 人とかわる

14 他者との関係を円滑にする

(31) ● 人と付き合う

3101 あいさつをする

3101010 ☆ あいさつの種類と目的を理解する

3101020 ☆ TPOに合った適切なあいさつ形式を理解する

3101030 ★ 時宜にあったあいさつを学んで実行する
(年賀状や暑中見舞いのやりとりをする)

(年末年始のやりとりをする)

(結婚のお祝い)

- ・会社の上司や先生などに定型句で年賀状を書くことができる
- ・送られてきた賀状に簡単な表現で礼状を書くことができる
- ・定型句を使って、暑中見舞いを書くことができる

・年末の簡単なあいさつを言うことができる

- ・新年の簡単なあいさつをすることができる
- ・お歳暮のような習慣があることが分かる

- ・簡単な表現で結婚のお祝いの言葉言うことができる
- ・お祝いの気持ちを表すことができる

	(葬式に参列する)	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚のお祝いとして一般的に渡されるものについて分かる ・結婚の祝い金の相場が分かる
	(見舞いに行く)	<ul style="list-style-type: none"> ・定型表現で葬式のあいさつを言うことができる ・香典について分かる ・葬儀の服装やマナーについて分かる
	(引越しのあいさつ)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の受付で簡単な表現で用件を告げることができる ・入院した人の居場所を尋ねることができる ・簡単な表現で見舞いの気持ちを言うことができる ・見舞いにふさわしい見舞い品とそうでないものがあることを知っている ・退出することを伝えることができる
3101040	☆ あいさつの文化的相違を理解する	
3101060	★ 相手に合わせたあいさつをする	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に応じたあいさつをすることができる
3101080	★ 日常のあいさつをする	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの種類を選択することができる ・あいさつの相手による表現の違いを選択することができる ・自分からあいさつすべき状況を判断できる ・あいさつに伴う非言語行動ができる ・相手のあいさつに応じることができる
3101130	★ 人間関係のきっかけを作る	<ul style="list-style-type: none"> ・今後付き合いをする相手を選べる ・初対面のあいさつができる ・初対面かどうか分からない場合に話を切り出す方法が分かる
3102 自己紹介をする		
3102010	☆ 自己紹介の仕方を理解する	
3102020	☆ 相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する	
3102050	★ 仕事上の公的な自己紹介をする	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの種類を選択できる ・敬語、丁寧体を適切に使用できる ・相手の立場に合わせた表現ができる ・所属や職位等、公的なあいさつに必要な事柄を言うことができる ・自身の仕事や立場について必要に応じて簡単に話すことができる
3102070	★ 私的な場面で自己紹介をする	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの種類を選択できる ・場面に応じた表現を選択することができる ・自身の家族や趣味、プライベートな事柄について、必要に応じて簡単に話すことができる
3103 日本の一般的なマナーを理解し、マナーにのっとって行動する		
3103150	★ 分からないとき、疑問に思ったとき信頼できる相手に質問する	<ul style="list-style-type: none"> ・知人や友人に分からない点や疑問に思ったことを聞いたり確認したりすることができる ・何をしたらいいか質問することができる ・マナーの本などを調べることができる ・携帯やインターネットでマナーや習慣について調べることができる ・マナーについて、地域差や世代差があることが分かる

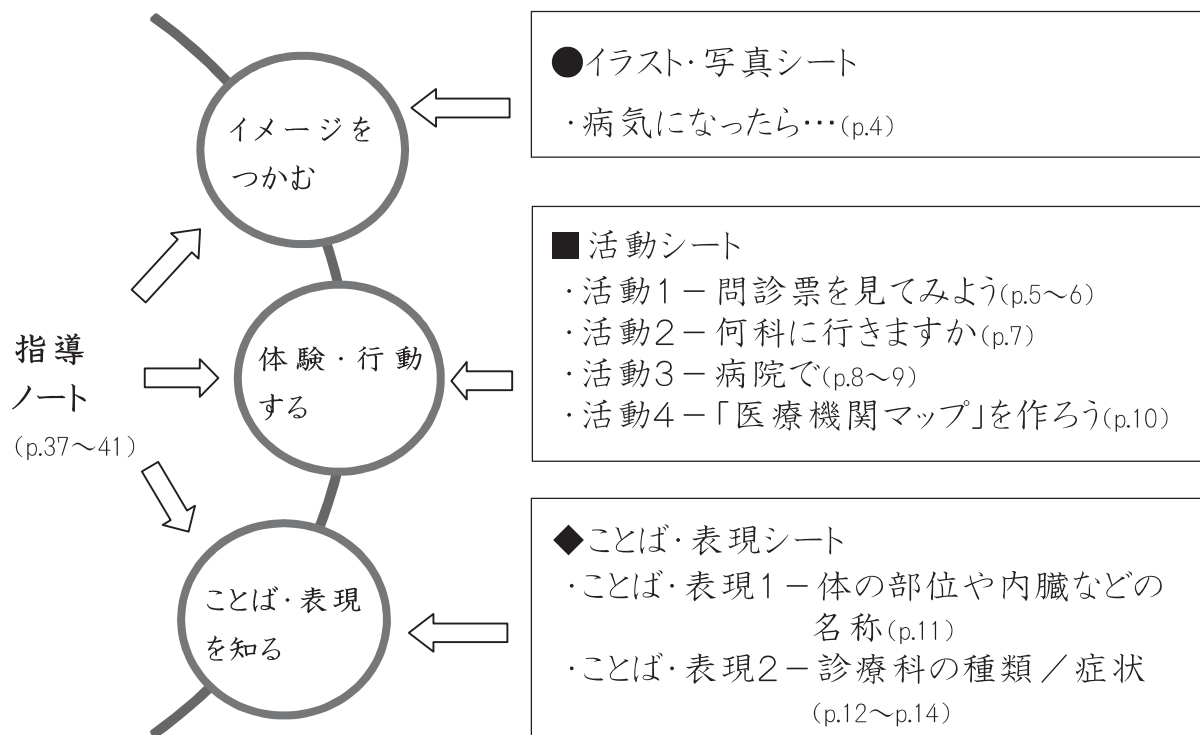
		・日本人の振る舞いを観察してどのように振舞えばいいか真似することができる
Ⅶ 社会の一員となる		
15 地域・社会のルール・マナーを守る		
(33) ● 住民としての手続をする		
3301 各種手続（転入・転出・外国人登録等）をする		
3301020 ☆ 各種手続の種類や内容について理解する		
3301080 ☆ 役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる		<ul style="list-style-type: none"> ・「外国人登録」の表示を理解できる ・外国人登録の窓口の場所を聞くことができる ・場所の説明を理解できる ・場所の説明について確認や質問をすることができる
3302 各種税金（所得税、住民税等）を支払う		
3302080 ☆ 支払方法を確認する		<ul style="list-style-type: none"> ・納付書に書かれた情報を理解できる ・納付方法を聞くことができる ・納付方法の説明を理解できる ・支払いをすることができる ・支払えない場合にどうすればよいか聞くことができる
3303 確定申告・還付申告を行う		
3303040 ☆ 必要性を確認する		<ul style="list-style-type: none"> ・確定申告や還付申告が何か聞くことができる ・確定申告や還付申告の必要性を確認できる ・パンフレットや説明書を読んで理解できる ・確定申告や還付申告ができる場所について聞くことができる ・確定申告や還付申告が可能な時期について聞くことができる ・確定申告や還付申告の公的な情報をインターネットで集めることができる ・確定申告や還付申告に関連する外国語による情報をインターネットで集めることができる ・確定申告や還付申告に詳しい人が分かる
(34) ● 住民としてのマナーを守る		
3401 ゴミ出し（ゴミの分け方）について理解する		
3401040 ☆ 居住地域のゴミ出しについて地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する		<ul style="list-style-type: none"> ・生活情報パンフレット、広報、町内の掲示などを読んで、ゴミ出しの仕方を理解できる ・分からない点について人に確認することができる ・ごみの分別について、大まかなルールが分かる ・ごみを捨てるときに分別するための商品記載マークを理解できる
3401080 ☆ 居住地域のゴミ出しの方法について隣人に質問する		<ul style="list-style-type: none"> ・隣人に分からないことを質問することができる ・隣人の説明を聞いて理解できる ・説明で分からないことについて確認や質問をすることができる
3402 公共マナー（ポイ捨て禁止、歩きタバコ禁止等）を理解する		
3402030 ☆ マナーについて人に相談する		<ul style="list-style-type: none"> ・「ポイ捨て禁止」などの意味を理解できる ・公共マナーの各種について質問して理解できる ・公共マナーの掲示等を読んで理解できる ・日本社会における公共マナーについて基本的な知識を持っている

16 地域社会に参加する	
(35) ● 地域社会に参加する	
3501 自治会行事に参加・協力する	
3501040 ★ 居住地の自治会について隣人に尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会について隣人に聞くことができる ・自治会の活動に関する説明を理解できる ・自治会の役割を理解できる
3501050 ★ 自治会の会員になる	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会参加の意思を伝えることができる ・参加の方法について質問することができる ・申込書などに記入することができる ・会費などの説明を読んで理解できる ・会員の役割を理解できる ・会員を辞めるための連絡ができる
3501100 ★ 行事に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・行事について情報を得ることができる ・行事についての相談に参加できる ・行事で分担の作業を行うことができる ・行事を通じてほかの会員と交流できる ・自治会の行事について提案することができる ・自治会の行事について積極的に協力を申し出ることができる
IX 自身を豊かにする	
20 余暇を楽しむ	
(44) ● 余暇を楽しむ	
4401 外出や余暇の計画を立てる	
4401010 ☆ 余暇を過ごす場所や利用方法を知る	
4401070 ★ 適当な人からアドバイスをもらう	<ul style="list-style-type: none"> ・外出や余暇の計画について人に相談できる ・行きたいこと、したいことの希望を述べられる ・分からない点について質問できる ・パンフレットなどを読んで費用や利用条件などを理解できる ・旅行社の申込書などに記入できる
4402 情報（イベント、娯楽施設、地域のサークル活動等）を収集する	
4402080 ★ 同僚や周囲の人からの口コミ情報を得る	<ul style="list-style-type: none"> ・知人の話から必要な情報を取ることができる ・分からない点について質問できる
4403 地域の公共施設（図書館、スポーツセンター等）を利用する	
4403010 ☆ 施設の種類や制度について知る	
4403030 ★ 利用方法を尋ねる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の希望を伝えることができる ・説明の内容（費用、利用条件など）を理解することができる ・提示された書類等を読んで理解できる ・利用上の注意点など、分からないことを質問できる
X 情報を収集・発信する	
21 通信する	
(45) ● 郵便・宅配便を利用する	
4501 郵便を利用する	
4501020 ☆ 郵便局のシステムを理解する	
4501100 ★ 手紙や葉書を書いて送る	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙の形式が分かる ・伝達したいことを書くことができる ・封筒や葉書の宛名の書き方が分かる ・ポスト投函口の表示が理解できる
4501120 ★ 不在配達通知に対応する	<ul style="list-style-type: none"> ・不在通知が何であるか理解する ・不在通知にどのように対応するか理解する

		<ul style="list-style-type: none"> ・配達業者に電話で不在通知があったことを伝えることができる ・希望する再配達日を伝えることができる ・配達業者の連絡先に多言語サービスがあるか調べることができる
4502	宅配便を利用する	
	4502060 ★ 宅配便を受け取る	<ul style="list-style-type: none"> ・配達人とのやり取りができる ・荷物の送り主の名前を確認できる ・受け取りのサイン・印をする場所が分かる
(46)	● インターネットを利用する	
4601	インターネットプロバイダーと契約する	
	4601010 ☆ インターネットのサービス内容・利用方法を理解する	
4602	ネット検索する	
	4602040 ★ インターネット検索の方法を人に尋ねて理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット検索方法を人に聞くことができる ・インターネット検索方法の説明を理解することができる ・インターネットやパソコンに関連する基礎的な用語を理解している ・インターネットの検索方法について聞いたことをメモにまとめることができる ・検索したい事柄に応じて質問し理解することができる
4603	電子メールを利用する	
	4603090 ★ 電子メールを書く	<ul style="list-style-type: none"> ・メールの書き方について本から情報を得ることができる ・メールの書き方について人から情報を得ることができる ・メールを作成することができる ・メールを作成する際の基本的なマナーについて分かる ・メールを作成する際の件名の付け方が分かる ・メールを作成する際の宛先、CC、BCCの使い分けが分かる ・メールで伝えたほうがよいこととメール以外の手段で伝えたほうがよいことの区別が分かる ・パソコンに日本語で入力することができる ・携帯電話に日本語で入力することができる
(47)	● 電話・ファクシミリを利用する	
4701	電話・ファクシミリを発信する	
	4701100 ★ 電話を掛ける	<ul style="list-style-type: none"> ・相手呼び出してもらうことができる ・言語のみで説明することができる ・相手が不在の時に対応することができる ・相手が不在の時に伝言を頼むことができる ・相手が不在の時に再度電話をかけることを伝えることができる ・留守番電話に適切に用件を吹き込むことができる ・留守番電話の吹き込み方についての案内指示を理解することができる
4702	電話・ファクシミリを受信する	
	4702070 ★ 応答する	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な電話の受け答えができる ・ファクシミリの内容が理解できる ・電話の取次ぎ、伝言ができる ・相手の話を理解できる ・電話の内容がよく分からないときに確認や質問ができる ・電話の内容について適切なメモを残すことができる ・電話の内容について必要なことを伝言することができる

(01) いりょうきかん ちりょう う 医療機関で 治療を 受ける

内 容



取り上げる生活上の行為の事例

(0102010)「初診受付で手続をする」

(0103010)「医者の診察を受ける」

(0103120)「病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する」

教室活動の目標

・ 病気やけがのとき、医療機関で治療を受けることができる

教室活動のねらい

- ・ 症状を伝えることができる
- ・ 医者の診察、指示が理解できる
- ・ 病気への対処法・生活上の注意を尋ねる
- ・ 病気への対処法・生活上の注意を理解できる
- ・ 地域での医療機関の活用について話し合うことができる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (0102010)「初診受付で手続をする」
- (0103010)「医者 of 診察を受ける」
- (0103120)「病気への対処法・生活上の注意などを質問し答えを理解する」

教室活動の目標

- － 病気やけがのとき、医療機関で治療を受けることができる。

教室活動のねらい

- － 症状を伝えることができる。(活動1, 活動2, 活動3)
- － 医者 of 診察, 指示が理解できる。(活動3)
- － 病気への対処法・生活上の注意を尋ねる。(活動3)
- － 病気への対処法・生活上の注意を理解できる。(活動3)
- － 地域での医療機関の活用について話し合うことができる。(活動4)

活動前に確認しておくこと

- － 学習者の居住地域の主要な病院の情報, 医療機関の種類
- － 外国人の診察に評判が高い診療所の情報
- － 医療通訳サービスの情報
- － 多言語医療問診票, 診療科目
- － 受診の流れ, 医療保険制度など

準備する素材

- － 学習者の母語で書かれた問診票
- － 症状を表わす絵カード
- － おもちゃの聴診器, 喉を照らすライト, 白衣など診療場面用の小道具
- － 日本の医療に関する多言語情報(学習者の理解できる言語の翻訳)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・病気になったら…(p.4)

- ・「イラスト・写真シート」(p.4)を提示しながら、学習者に病気をした経験や、病院や医院で診察を受けた経験について尋ね、話してもらいます。どんな症状で、どの病院(医院)にかかったか、医者などどのようにコミュニケーションしたかなどを話してもらえるように引き出します。

< 問いかけ例 >

- 「ここはどこですか。何をしていますか。」
- 「どんなとき、病院に行きますか。」
- 「〇〇さんは、日本で病院に行ったことがありますか。」
- 「一人で行きましたか。」
- 「日本語でお医者さんと話をしましたか。」

体験・行動する

- 活動シート
- ・活動1－問診票を見てみよう(p.5～p.6)

- ・多言語医療問診票の紹介

- ① 事前に多言語医療問診票のホームページから、学習者の母語の問診票(内科、小児科、整形外科、外科、耳鼻科、眼科、皮膚科、産婦人科、脳神経外科、歯科)をダウンロードし、配布できるように準備しておきます。

「多言語医療問診票」((NPO 法人国際交流ハーティ港南台)

<http://www.k-i-a.or.jp/medical/>

及び <http://www.mmjp.or.jp/konan-international-lounge/jmonshin/top.htm>

からダウンロードすることができます。(詳細は『カリキュラム案』p.113 参照)

- ② イラスト・写真シートで話を進めながら、「これを使ったことがありますか」と多言語医療問診票を提示し、学習者に配布します。

- ③ 内科，小児科，整形外科，外科，耳鼻科，眼科，皮膚科，産婦人科，脳神経外科，歯科の問診票をそれぞれ参照しながら，診療科の名前と意味を確認します。
- ④ 問診票はインターネットでダウンロードできることを伝え，URLを知らせておくといでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－何科に行きますか(p.7)

- 「何科に行きますか」の活動シートを使って，症状の表現を確認します。
- ① 学習者に活動シートを配布します。
 - ② 指導者は活動シートの絵を指しながら，学習者に「どこへ行きますか？」と問いかけて，まずはかかるべき診療科を学習者に特定してもらうよう促します（指導者は活動シートの絵を拡大コピーして1枚ずつカード状にして，学習者に提示できるようにしておくと，より進めやすいでしょう）。
 - ③ 学習者が診療科の問診票の多言語訳を参照しながら，該当する症状の表現を見つけたら，発音を確認しながら，絵と，症状の表現と，診療科の名称を線で結んでもらうようにします。
 - ④ 活動シートでのマッチングが終わったあと，カードを使ってカルタ形式で，症状の名前を言ってカードを取るゲームをしてもよいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動3－病院で(p.8～9)

- ① 活動3の会話のデモンストレーションをします（指導者と学習者，あるいは，教室に地域からの協力者がいれば会話に参加してもらうとよいでしょう）。
- ② 学習者は2人1組のペアになり，会話例1・会話例2・会話例3を実演練習します。
- ③ 活動2の症状の表現の絵を拡大コピーして切り離し，絵カード状にしたものを指導者は準備しておきます。これらのカードから，学習者に1枚引いてもらいます。

- ④ カードを引いた学習者は、カードに示された症状に合わせて、会話例1、会話例2、会話例3を適宜アレンジして、実演します。

- ・ おもちゃの聴診器、喉を照らす豆ライトなどを準備して小道具として使用するとよいでしょう。
- ・ 学習者のレベルに応じ、内容は調整してください。日本語がほとんどできない学習者の場合は、多言語医療問診票を使って、最低限のことを伝えることができる方法を優先して示してください。
- ・ 学習者に、自分でどう表現したらよいかわからなかった症状、医師に言われたけれどよく理解できなかったことなどを聞いてもよいでしょう。

体験・行動する

■ 活動シート

- ・ 活動4-「医療機関マップ」を作ろう(p.10)

教室に参加している学習者、指導者(および可能であれば協力者も含め)で、地域の病院や医院について情報を出し合い、地域の「医療機関マップ」の作成を試みてみます。

- ① 学習者に、行ったことのある病院・医院の名前を挙げてもらい、そのときの体験を語ってもらいながら、その機関の特徴や、多言語サポート状況等をリストアップしていきます。
- ② まちの地図にそれぞれの医療機関の場所を示し、適宜情報も加えたシートを作成します。この地図を改訂して充実させていくことを、教室全体のプロジェクトとしてもよいでしょう。日本人の協力者が外国人に対する医療サービスの状況を知り、状況の改善の方法について共に考え行動していくきっかけとしていくことも考えられます。

ことば・表現を知る

◆ ことば・表現シート

- ・ ことば・表現1-体の部位や内臓などの名称(p.11)
- ・ ことば・表現2-診療科の種類/症状(p.12)

- ・ 体の部位や内臓の名称は診察時に、症状を訴える時に必要なことばです。絵を

見せて、学習者が必要なことばを与えるといいでしょう。ことばに慣れたら、次に、p.12の症状の表現とともに学習するといいでしょう。

- ・多言語医療問診票は診療科目ごとにあります。診療科目の名前と意味を確認させてください。症状によって、どの診療科を選ぶか考えさせて活動2を行います。
- ・問診票を見せて、学習者が分からないことばを聞いてきたら、意味とともに確認するとよいでしょう。

【参考情報】『日本語学習・生活ハンドブック』（文化庁）

医療機関

〔医院・診療所・クリニック〕

地域の小規模な病院。具合が悪くなったら、まずここに行きましょう。

〔総合病院〕

複数の診療科がある大きな病院。

受診の流れ

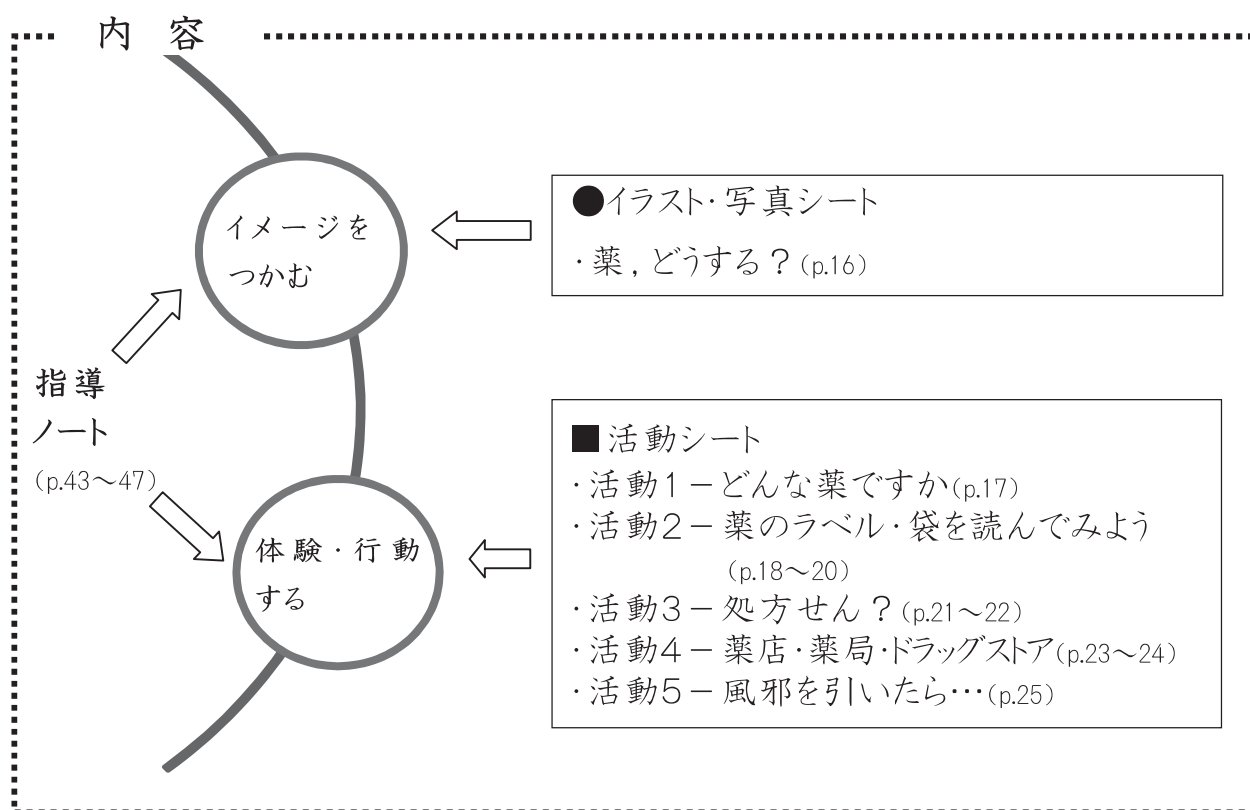
医療機関によって違いますので、大体の参考にしてください。歯科など予約制の医療機関もありますが、当日の受付順での診察が多いです。

	医院・診療所・クリニック	総合病院
初診のとき	①受付で保険証（→ P.25）を出して、「初めて」だと言います。 ②問診票を書きます。分からないときは「日本語が分かりません」と言ってください。 ③待合室で名前が呼ばれるのを待ちます。 ④名前が呼ばれたら、診察室へ入って診察を受けます。	①総合受付で、診療申込書に必要事項を書いて、保険証と一緒に出します。 ②受付順に名前が呼ばれます。カルテを受け取って、受診科の受付にカルテを出して、受診科の近くで待ちます。 ③問診票を書きます。 ④名前が呼ばれたら、診察室へ入って診察を受けます。
再診のとき	①診察券（月が変わったら保険証も）を受付に出します。 ②待合室で名前が呼ばれるのを待ちます。	①直接、受診する科へ行って、診察券（月が変わったら保険証も）を出します。総合受付に再診受付機能があるときは、それで受付します。 ②受診科の近くで名前が呼ばれるのを待ちます。
診察のあと	①待合室に戻って待ちます。 ②名前が呼ばれたら、処方箋、診察券、保険証をもらって支払をします。 ③調剤薬局に行って処方箋を渡して薬をもらいます。薬代は診療費と別に払います。	①料金支払窓口（総合窓口と別のことがあります）で待ちます。 ②名前が呼ばれたら、処方箋、診察券、保険証をもらって支払をします。 ③調剤薬局に行って処方箋を渡して薬をもらいます。薬代は診療費と別に払います。

医療保険

	国民健康保険	健康保険
対 象	日本に1年以上住む人	就労できる在留資格をもち会社などで働く人
手 続	市区町村の役所でします	会社が手続きをします
保険料	全額自己負担	源泉徴収 (50%は会社が負担します)
病気・けがのとき	本人と家族は3割の自己負担で治療が受けられます (3歳以上 → 2割 70歳以上 75歳未満 → 1割)	仕事以外の病気・けがは左と同じです 仕事中の病気・けがは労災の対象です (→ P.29)
高額医療費制度	1か月の医療費の自己負担額が高額になったときに、申請するとその一部が後日払い戻されます	
そのほか	保険証が交付されます	

(02) ^{くすり}薬を ^{りよう}利用 する



取り上げる生活上の行為の事例

(0201020)「医療機関で処方せんをもらい, 内容を確認する」

(0202050)「症状を説明し, 薬を求める」

(0203070)「薬剤師等の「効能, 用法, 注意」の説明を理解する」

教室活動の目標

・薬の入手の方法を知り, 入手した薬の使用法等の情報を入手し理解できる

教室活動のねらい

- ・処方せんが何であるかを理解し, 処方せんを受け取り, 指示を理解する
- ・どんな症状であるかを説明したり, 薬剤師等の質問に答えたりすることができる
- ・効能や用法についての説明を理解したり, 不明な点を質問したりすることができる
- ・薬の表示などが確認できる
- ・病気の対処法について情報収集・意見交換ができる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (0201020)「医療機関で処方せんをもらい，内容を確認する」
- (0202050)「症状を説明し，薬を求める」
- (0203070)「薬剤師等の「効能，用法，注意」の説明を理解する」

教室活動の目標

- －薬の入手の方法を知り，入手した薬の使用法等の情報を入手し理解できる。

教室活動のねらい

- －処方せんが何であるかを理解し，処方せんを受け取り，指示を理解する。
(活動1)
- －どんな症状であるかを説明したり，薬剤師等の質問に答えたりすることができる。(活動4)
- －効能や用法についての説明を理解したり，不明な点を質問したりすることができる。(活動2，活動3，活動4)
- －薬の表示などが確認できる。(活動2，活動3)
- －病気の対処法について情報収集・意見交換ができる。(活動4)

活動前に確認しておくこと

- －学習者の居住地の薬局・薬店の情報
- －薬事法上の，薬局・薬店の種類，機能等
- －都道府県・市町村の薬剤師会の情報(多言語対応情報等)

準備する素材

- －薬袋，処方薬の説明書，市販薬，お薬手帳等の実物
- －日本の医療・薬事の制度に関する多言語情報(学習者の理解できる言語の翻訳)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・薬, どうする? (p.16)

- ・「イラスト・写真シート」(p.16)を提示しながら, 学習者に普段どんな薬を使っているか, どのように入手するかを尋ね, 話してもらいます。指導者が薬の実物を持って来て示しながら, 自分の経験を語り, やり取りの中で学習者からの話を引き出してもよいでしょう。

< 問いかけ例 >

「これは何ですか。」

「〇〇さんは, どんな薬を使っていますか。」

「どんなとき, 使いますか。どうやって使いますか。」

「どこで薬を買いますか。」

体験・行動する

■活動シート

・活動1ーどんな薬ですか(p.17)

- ・薬の種類と形状による名称, 使用法と関連する表現を確認・整理します。
- ①学習者に活動シートを配布します。
 - ②持参した薬品の実物をみせながら, 薬の形状による名称を紹介・確認します。
- < 問いかけ例 >
- 「これは何ですか。錠剤ですか。カプセルですか。」
- ③持参した薬品の実物をみせながら, 使用法と関連する表現を紹介・確認します。

< 問いかけ例 >

「どうやって使いますか。塗りますか。貼りますか。飲みますか。」

④ 学習者は、活動シートの空欄に適切なことばを記入します。

体験・行動する

■ 活動シート

・活動2－薬のラベル・袋を読んでみよう(p.18～20)

・活動シート及び薬の実物を使って、ラベル等の表示を読み、効能や用法の情報を得る方法を身に付けます。

- ① 学習者に活動シートを配布します。【A】は市販薬，【B】は病院等でもらえる薬です。
- ② 指導者は活動シートの写真を指しながら、「何の薬だと思いますか」「どんなとき使いますか」と問いかけ、学習者に情報が書いてある箇所を見つけたり推測したりするように促します。
- ③ 学習者が「お腹の薬です。」「お腹が痛いときに飲みます。」のように発言したら、「どこに書いてありますか。」と尋ね、学習者に示してもらいます。当該箇所を確認し(漢字と読み仮名を板書してもよいでしょう)、他の学習者と一緒に音読します。
- ④ 「1回にいくつ(何錠)飲みますか。」「いつ飲みますか。」「1日に何回飲みますか。」などの問いかけもし、③と同じように表示箇所を確認し、音読します。適宜、活動シートを参照し、回答を選択してもらいながら進めます。
- ⑤ 実際の教室活動では薬の実物を学習者に渡し、③④と同じように問いかけ、必要な情報を探し、確認する作業を進めます。薬の実物は、指導者が持参したものでいいですし、あるいは事前に学習者に自宅にある薬を持って来るように伝えておいて、持ち寄ったものを使ってもいいでしょう。学習者が薬を持ち寄る場合、日本の薬に限らず、自国からのものについて、他の言語での表示の内容を日本語に言い換えて説明してもらうようにしても応用になるでしょう。

体験・行動する

■ 活動シート

・活動3－処方せん？(p.21～22)

・「処方せん」が何か、処方せんをどこへ持っていけばいいかを、薬局・薬店の種別とともに理解し、関連することば・表現を身に付けるようにします。

- ① 学習者に活動シートを配布します。
- ② イラストと会話を確認し、写真の①～③のうちどれが「処方せん」か問いかけ、確認します。
- ③ 「処方せん」の写真の中で、どこに薬の情報が書いてあるか等も示すとよいでしょう。また、処方せんの使用期限として「受付の日を含めて4日以内に保険薬局に提出すること」という記述があることも確認しておくとい良いでしょう。
- ④ イラスト・写真(p.24)の④～⑥のうちどこに処方せんを持って行くか問いかけ、確認します。処方せんは「保険薬局(保険調剤薬局)」に持参し、提出する必要があること、一般の「薬店」(ドラッグストア等)では処方せんの受付がされないことも説明します。「保険」と「保健」の意味の違いも、学習者によっては説明しておくといいかも知れません。④の薬店(ドラッグストア)については、近隣の薬店／ドラッグストア(処方せんを受け付けない、調剤しない店)の写真を実際に撮影してきて、ワークシートのイラストと差し替えて使用すると、現実感が高まってよいかもしれません。

体験・行動する

■ 活動シート

・活動4－薬店・薬局・ドラッグストア(p.23～24)

- ・ 薬店・薬局で、一般薬品(「処方せん」必要なし)を購入する場合と、医師が発行した処方せんを持参して保険調剤薬局で購入する場合、それぞれの会話の流れを知り、必要に応じて使えるように練習します。
- ① 活動4の会話のデモンストレーションをします。(指導者と学習者、あるいは、教室に地域からの協力者がいれば会話に参加してもらうとい良いでしょう。)
 - ② 学習者は2人1組のペアになり、会話例1・会話例2・会話例3を実演練習します。
 - ③ 「医療機関を利用する」の活動2(p.7)や「ことば・表現」(p.12), 「薬を利用する」の活動2(p.18)の症状の表現の絵を拡大コピーして切り離し、絵カード状にしたものを、指導者は準備しておきます。これらのカードから1枚、学習者に引いてもらいます。
 - ④ カードを引いた学習者は、カードに示された症状に合わせて、会話例1・会話例2・会話例3を適宜アレンジして、実演します。

体験・行動する

■活動シート

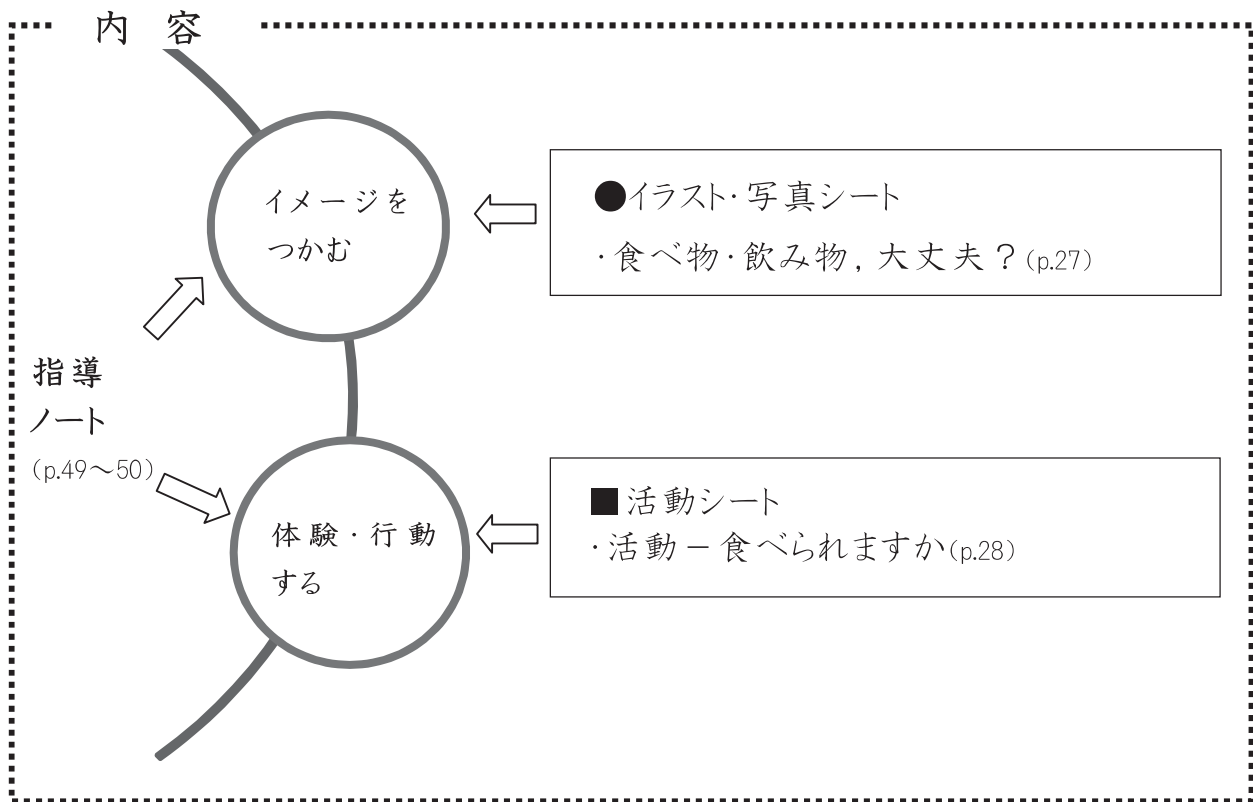
・活動5－風邪を引いたら…(p.25)

- ① 活動4のシートを使って、学習者それぞれの風邪を引いたときの対処法について話し合います。
 - ② 自分の対処法について、シートのA～Gから選ぶか、Fに自由に書き込んでもらいます。
 - ③ 教室の他の学習者や地域からの支援者の人にも尋ねて、答えを書き込んでもらいます。
- ・ それぞれに異なる対処法があり、その多様性を認識すると同時に、共通点(人によりよく生きるために助け合い、知恵を共有し、世代を超えて伝え合う)についても考えていけるといいでしょう。
 - ・ 活動5は文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』掲載の「だれの常識？」(p.46)をもとに構成したものです。ホームページからもとの記事の多言語版をダウンロードすることができるので、学習者の母語に合わせて提供するとより理解が深まるでしょう。

【参考情報】

- ・ (社)神奈川県薬剤師会のホームページ(前ページ参照)には、薬の使用法や注意点の説明の多言語対応シートも掲載されています。「症状・希望の薬を伝える表現」と併せて活用するとよいでしょう。
- ・ 『病院・薬局で使う外国語会話集:薬局編(7言語)』(田辺三菱製薬)
<http://di.mt-pharma.co.jp/foreign/pharma/download.html>
- ・ 『多言語生活情報』「F.医療-3.薬局」((財)自治体国際化協会)
<http://www.clair.or.jp/tagengorev/ja/f/03.pdf>
薬局・調剤薬局・薬店の違いや、処方せんの制度についての説明が13言語で掲載されています。

(03) 健康に 気を 付ける



取り上げる生活上の行為の事例

(0302010)「食品や飲料水の安全情報を理解する」

教室活動の目標

- ・食品や飲料水の安全について聞くことができる
- ・表示やラベルなどが確認できる

教室活動のねらい

- ・食品や飲料水の安全について聞くことができる
- ・表示やラベルなどが確認できる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0302010)「食品や飲料水の安全情報を理解する」

教室活動の目標

- －食品や飲料水の安全について聞いたり、表示やラベルなどを確認したりできる

教室活動のねらい

- －食品や飲料水の安全について聞いたり表示やラベルなどを確認したりできる
(活動)

活動前に確認しておくこと

- －食品等の安全について、現在、当該地域の人々にとって、関心が高まっていたり、情報提供・注意が必要と思われたりする事柄について、事実を確認しておく。また、詳細の情報を知りたいときの、問い合わせ先、参照ホームページなどを調べておき、知らせることができるようにしておく。

準備する素材

- －食品表示ラベル等の実物

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・食べ物・飲み物，大丈夫？(p.27)

- ・ イラスト・写真シート「食べ物・飲み物，大丈夫？」(p.27)を提示しながら，食品や飲料水等の安全について，日ごろ気になっていることなどを問いかけ，話してもらう。

体験・行動する

■活動シート

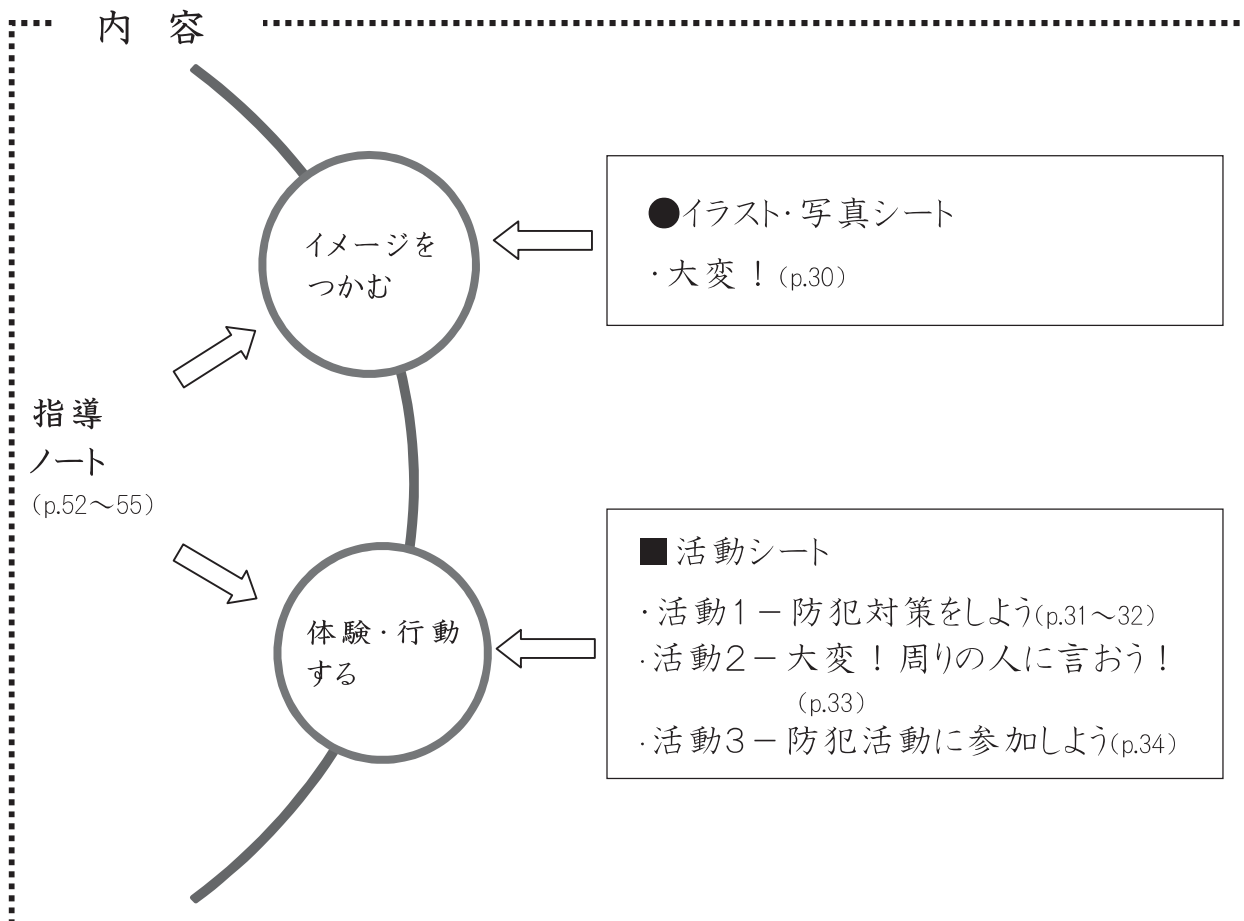
・活動－食べられますか (p.28)

- ① 活動の会話のデモンストレーションをします(指導者と学習者で行います。教室に地域からの協力者がいる場合は，会話に参加してもらうとよいでしょう)。その際，実際に賞味期限が表示された食品のパッケージを持ってきて，小道具として使うと，より具体的なイメージを共有しやすいでしょう。
- ② 会話をきっかけに，「消費期限」と「賞味期限」の違いについて問いかけ，ことばの確認をします。
- ③ 食品の安全や衛生について，参加者の興味に応じてディスカッションに発展させます。

<例>

- ・ 食品の保存方法の知恵，食中毒を防ぐための工夫(台所の衛生管理)
- ・ 健康によい食べ物，放射線量の情報の見極め方 等。

じこ そな たいおう (04) 事故に 備え, 対応する



取り上げる生活上の行為の事例

- (0402) 「防犯対策を行う」
- (0403) 「防犯に対処する」
- (0403040) 「近くの人に知らせる(事件等)」

教室活動の目標

- ・事件に遭遇したとき, 近くの人に知らせることができる
- ・防犯対策について理解し, 実践する

教室活動のねらい

- ・隣人や近くの人に, 事件について状況説明ができる
- ・防犯対策をすることができる
- ・地域の防犯活動に参加する

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (0402)防犯対策を行う
- (0403)防犯に対処する
- (0403040)近くの人に知らせる(事件等)

教室活動の目標

- － 事件に遭遇したとき、近くの人に知らせることができる。
- － 防犯対策について理解し、実践する。

教室活動のねらい

- － 隣人や近くの人に、事件について状況説明ができる。(活動1)
 - － 防犯対策をすることができる。(活動2)
 - － 地域の防犯活動に参加することができる。(活動3)
- ・ あなたは、慣れない土地で犯罪にあったことがありますか。学習者が慣れない土地で犯罪にあったときのことを想像してみてください。犯罪にあったときは、とっさの的確な判断と対応が重要です。学習者が、犯罪にあっても対応ができる、大丈夫だと感じられるようになる活動をしてみましょう。また、犯罪の発生と地域の防犯は密接な関係があります。地域の警察と協力をして外国人向けの防犯教室を開いたり、地域に暮らす一員として地域の防犯ボランティアにいっしょに参加したりするなど、教室だけに留まらない活動もしてみましょう。その活動は、学習者が地域で安心して暮らせる場作りのきっかけとなることでしょう。

活動前に確認しておくこと

- － 学習者が居住する地域で最近発生している犯罪に関する情報

準備する素材

- － 防犯対策・対応に関する多言語情報
- － 防犯対策グッズ(防犯ブザーなど)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・大変！(p.30)

- ・「イラスト・写真シート」を使って、これまで犯罪にあった経験を共有しましょう。また、日本では犯罪にあった時にどうしたらいいのか、学習者が知っていることを引き出していきましょう。出てきたことばや表現(母語、日本語ともに)はメモをしておきましょう。日本語で知っておくといいいものは、日本語で何と言うか知る活動につなげていきましょう。
- ・学習者それぞれの経験や知っていることを共有していくことは、指導者や協力者を含めた教室の仲間作りにもつながります。教室の仲間が、緊急事態にあった時に助け合える仲間になる可能性があるのです。

< 問いかけ例 >

「これはどんな場面でしょうか。」

「あなたは、今までこのような場面にあったことがありますか。」

「そのとき、どうしましたか。どんな気持ちでしたか。」

「日本でこのような場面にあったとき、どうしたらいいでしょうか。知っていることを話しましょう。」

- ・ただし、過去の辛い経験を思い出し、話すことが学習者の負担となることもありますので、必要以上に深く、繰り返して質問するようなことはせず、学習者が話せること・話したいと思うことだけ話す雰囲気を作ることが大切です。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－防犯対策をしよう！(p.31～32)

- ・状況ごとに、防犯対策について理解する活動です。
- ・イラスト・写真シートに引き続き、イラストを見ながら、犯罪にあった経験、どう対応したか、犯罪にあわないためにどうしたらいいか自由に話してみましょう。その後、防犯に関する多言語情報を見て、どのように対策をしたらいいか確認しましょう。

そのとき、防犯対策グッズの実物も準備して、それらがどんな場面で効果があるのか、どうやって使うのか、どこで売っているのかも話してみましょう。

- ・ 防犯対策グッズを実際に店頭に行って手に取り、購入し、実際に使ってみるという活動もできます。店頭で学習者が使い方を尋ねる表現を日本語でできるようになっておくと、教室以外の場面でも、周りの人に聞くことができます。

< 会話例 >

学習者: どうやって使いますか。

指導者: ここを押すと、大きい音が出ます。

多言語情報例

例1) 滋賀県「なくそう犯罪」防犯マニュアル

- ・ 英語, 中国語, 韓国語, スペイン語, ポルトガル語)
- ・ <http://www.pref.shiga.jp/c/anzen/manual/index-1.html>
- ・ ひったくり, 空き巣, 盗難, 恐喝, 痴漢, 通り魔, ストーカーなどさまざまな犯罪への対策と対処, 連絡先について紹介されている。ホームページからダウンロードすることができる。

例2) 神奈川県防犯対策ガイド

- ・ 英語, 韓国朝鮮語, スペイン語, ポルトガル語, 中国語, 日本語
- ・ <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f707/p8085.html>
- ・ 県内各地で配布しているほか, ホームページからダウンロードすることができる。

例3) 神奈川県警察 防犯心得

- ・ 英語, 中国語, 韓国語, スペイン語, ポルトガル語)
- ・ http://www.police.pref.kanagawa.jp/eng/e_mes/engd0001.htm#leaflet
- ・ ひったくり, 空き巣, 自転車盗難への防犯対策の説明がある。ホームページからダウンロードすることができる。

例4) 広島県警察 「快適な市民生活を送るために」

- ・ 英語, 中国語, ポルトガル語
- ・ <http://www.police.pref.hiroshima.lg.jp/002/kouhou/index.html>
- ・ 犯罪にあわないための方法, 犯罪にあったときの対処方法などが紹介されている。ホームページからダウンロードすることができる。

- ・ 学習者の国では, どのような犯罪が多いのか, 犯罪に対してどのような対策を取っているかなどについて話をしてみるのもいいでしょう。

- ・教材例に掲載した防犯対策グッズ(p.32)は以下のものです。
ー防犯ブザー, 防犯ネット, 自転車の防犯登録ステッカー, サッシ, 補助錠, センサーライト
- ・入門レベルの学習者は「泥棒!」「助けて!」などのことばが最低限言えればよいなど, 学習者の日本語のレベルに合わせて, ロールプレイの難易度を変えてみましょう。また, ロールプレイの際には, 行動面で気を付けること(例えば, 道を歩く時, 道路側にかばんを掛けて歩かない等)にも注意して, やってみるといいでしょう。
- ・場面は地域の犯罪発生状況, 学習者の生活状況・日本語のレベルなどに合わせたものを提示しましょう。例えば, 自転車に乗っている人からのひったくりが頻発している地域ではその場면을扱ったり, すぐ近くの人に助けを求められないような地域では 110 番に自分で通報をする場면을扱ったりすることもできます。
- ・近くに人がいなかった時どうするか, だれに連絡をするのかなどを確認しておく, 万一のとき安心です。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－大変！周りの人に言おう！(p.33)

- ・犯罪にあった時に, 近くの人に助けを求めるロールプレイをしてみましょう。
- ・教材例に掲載されている場面以外に, 地域の犯罪発生状況に即した場面を取り入れたりするといいいでしょう。

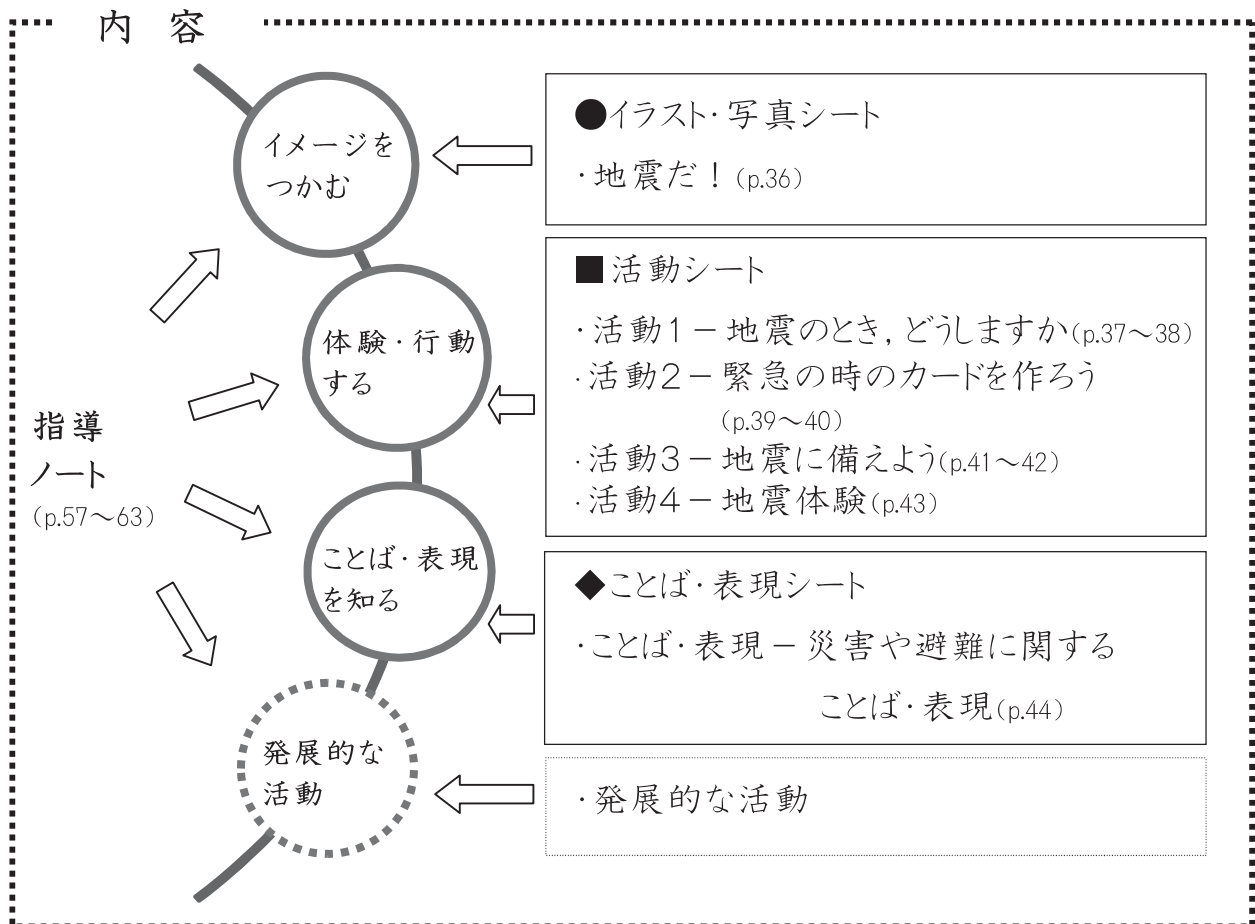
体験・行動する

■活動シート

・活動3－防犯活動に参加しよう(p.34)

- ・「活動3－防犯活動に参加しよう」は, 学習者の居住地に防犯活動をする団体があれば, いっしょに活動に参加をしてみる教室活動を組み込んでみましょう。地域で生活する一員として, ボランティアとして活動できるチャンスがあることを知るとともに, 活動を通して, 地域の人との交流が生まれ, 万一のときも安心です。

(05) 災害に 備え, 対応する(地震)



取り上げる生活上の行為の事例

(0501030)「避難場所・方法を理解する・人に聞く」

(0502010)「地震について理解する」

(0502020)「身を守る(地震発生時)」

教室活動の目標

・地震の時に行動できるようにする

教室活動のねらい

- ・避難場所や避難方法の注意書きを読んで理解できる
- ・身の守り方について説明を読んで理解できる
- ・地震に備えることができる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0501030)「避難場所・方法を理解する・人に聞く」

(0502010)「地震について理解する」

(0502020)「身を守る(地震発生時)」

教室活動の目標

－地震の時に行動できるようにする。

教室活動のねらい

－避難場所や避難方法の注意書きを読んで理解できる。(活動1, 活動2)

－身の守り方について説明を読んで理解できる。(活動1)

－地震に備えることができる。(活動2, 活動3, 活動4)

- ・日本は地震が多い国です。地震の少ない国から来た人にとって、突然の地震はどのようなものでしょうか。災害はいつ何時やってくるか分かりません。万一のときも、自分は落ち着いて安心して対応できるんだという自信を持てるような場を作っていけるといいでしょう。学習者が地域の一員として安心して暮らしていけるよう、地域の地震の避難訓練、外国人向け防災教室などの日程と組み合わせて教室活動を展開するなどの工夫ができるとよいでしょう。

活動前に確認しておくこと

－学習者の居住地域や職場・学校の避難場所

－近くの防災館の開館時間, 休館日, 交通

－地域の防災訓練の日程

(外国人向け防災訓練や防災教室がある自治体もあります)

準備する素材

－学習者の居住地域の自治体が発行している地震時の対応に関する多言語

情報

- － 学習者の居住地の自治体が発行している避難場所に関するパンフレット
- － 非常時用携帯カード(学習者の自治体のものがあればそれを利用，なければ他自治体のものを利用してよい。または，自作する。)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・ 地震だ！(p.36)

- ・ 「イラスト・写真シート」(p.36)を見ながら，学習者のこれまでの地震の体験について話をします。学習者がどう対応したか，どんな気持ちになったのか，話を引き出していきましょう。最近の地震の様子を報道しているテレビの映像を利用したり，学習者が居住する地域の避難場所を示す看板の写真など学習者に身近で地域に合った素材を使ったりするといいいでしょう。

< 問いかけ例 >

「あなたの国ではよく地震がありますか。」

「地震を体験したことがありますか。そのとき，どうしましたか。どんな気持ちになりましたか。」

体験・行動する

- 活動シート
- ・ 活動1－地震のとき，どうしますか(p.37～38)

- ・ 「活動1－地震のとき，どうしますか」(p.37～38)は，地震発生時の適切な行動を知る活動です。それぞれのイラストの行動が適切かどうか考えた後，多言語情報を見て確認します。学習者が一人で考えてみてもいいですし，協力者といっしょに考えてみてもいいでしょう。それぞれの行動の理由についても確認できると，よりいいでしょう。また，イラストに載っていない行動や地域特有の行動(沿岸部では高台に避難する等)について話を発展させてもいいでしょう。適切な行動を知っていれば，学習者は地震が起きたときもパニックにならず，落ち着いて対応できる可能性が高くなるはずです。

- ・ 地震に関する多言語情報は多くの自治体や団体で作成されています。自治体によって、情報量、提供形態などが異なります。学習者の居住地のもの以外でも学習者に合うものがあれば大いに活用しましょう。

多言語情報例

例1) 東京都生活文化局 「地震から身を守るために」

- ・ 日本語・韓国語朝鮮語・英語・中国語(併記)
- ・ <http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/index3files/zisin.pdf>
- ・ 電車・バス・地下鉄に乗っているとき、地下街にいるときなど地震発生時にいる場所別に適切な対応が掲載されている。
- ・ ホームページからパンフレットをダウンロードすることができる。

例2) 滋賀県 外国人向け地震対策シリーズ完成版

- ・ 日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語(大陸)・中国語(台湾)・ハングル・タガログ語)
- ・ <http://www.s-i-a.or.jp/gaikokuseki/jisin/index.htm>
- ・ 発生時の対応だけでなく防災用品や消火器の使い方など情報が豊富で多岐に渡る。

例3) 文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

- ・ 日本語, 中国語, 韓国・朝鮮語, 英語, スペイン語, ポルトガル語
 - ・ http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kyouiku/handbook/index.html
- p.39 災害と緊急電話

体験・行動する

■活動シート

- ・ 活動2－緊急の時のカードを作ろう(p.39～40)

- ・ 非常時に携帯するカードを作成する活動です。カードには、学習者の個人情報や避難場所、連絡先などを記入しておきます。学習者の居住地の自治体が発行する非常用携帯カードがあれば、それを利用することができます。学習者の自治体で作成していない場合、他の自治体で作成したカードを利用することもできますし、学習者といっしょに自分たちで作ってみるのもいいでしょう。作成したら、小さく折りたたんで、普段から財布や手帳に入れておくようにしましょう。

多言語非常用カード例

例1) (財)栃木県国際交流協会「地震・災害時のための避難カード」

- ・日本語・中国語・英語・ポルトガル語・スペイン語併記
- ・<http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/life/kokusai/tabunka/documents/1235973842433.pdf>

例2) 東京都生活文化局「ヘルプカード」

- ・日本語・英語・中国語・韓国語朝鮮語)
- ・<http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/index3files/ALLhelpC.pdf>

- ・避難場所については、学習者が住んでいる自治体が発行している避難場所のパンフレットを見ながら確認しましょう。一次的な避難所と広域避難所の両方がある地域もあります。事前に確認しておくといいいでしょう。避難場所を学習者が知らない場合は、実際にいっしょに歩いて避難経路を確認するのも実用的な活動です。
- ・学習者の状況に応じて記入項目を変更したり増やしたりしましょう。

＜記入項目例＞

- ・家族の緊急連絡先(会社や学校など)
- ・家族との緊急集合場所
- ・近所の人の連絡先
- ・持病の名前・普段飲んでいる薬の名前
- ・かかりつけの病院名・病院の連絡先 等

体験・行動する

■活動シート

・活動3－地震に備えよう(p.41～42)

- ・ここでは、日常生活で地震にどんな備えができるのかを知ることを目的としています。

－防災用品について

- ・ここでは、防災用品について話をします。防災用品の実物を持って来て話をするとよいでしょう。学習者が見たことがあるか、使い方を知っているか、指導者や協

力者の家ではどんなものを使っているか、学習者も使ってみたいかなど話を広げてみましょう。実際に、ホームセンターなどの防災用品売り場に行って、防災用品を手にしてみるのもいいでしょう。

－防災袋について

- ・ここでは防災袋について話をします。まず、「ことば・表現」の単語「薬」～「乾パン」（防災袋に入れておくもの）に慣れておくといいでしょう。協力者に自宅に防災袋の備えの有無やその中身について、インタビューをします。教材例には掲載していませんが、インタビュー時の記録用紙を作成しておくといいでしょう。

＜表現例＞

学習者：家に防災袋がありますか。

学習者：防災袋の中に何が入れてありますか。

- ・インタビューをしたあと、自分なら防災袋にどんなものを入れておくかを考えて、記入します。その後、実際に、防災袋を準備して、物を用意するところまで行くと、より実践的です。

－消火器について

- ・ここでは消火器について話をします。地震の後、火災が発生することがありますが、ここでは消火器を使った初期消火について話をします。自分の身の回りのどこに消火器があるかを調べたり、使い方を確認したりします。街頭消火器の設置場所は、自治体のホームページなどで紹介されています。また、自治体に問い合わせ聞いておくといいいでしょう。（※街頭消火器が設置されていない自治体もあります。）

体験・行動する

■活動シート

・活動4－地震体験(p.43)

- ・「活動4－地震体験」の「(1)防災館に行って、地震を体験しましょう」(p.43)は、近くに防災館がある場合に、実際に防災館を訪問し、地震を疑似体験をする活動です。
- ・「活動4－地震体験」の「(2)地域の防災訓練に参加しましょう」(p.43)は、地域の地域防災訓練に参加する活動です。訓練にいっしょに参加することを教室活

動にぜひ組み込んでみましょう。地域で生活する一員という気持ちが生まれると、万一のときも安心です。

- ・ もし、防災訓練がなければ日本語教室として避難訓練を実施してみましょう。その際に必要になる表現を、確認しておきましょう。
- ・ 表現は「地震だ」「助けて」などの基本的な表現のほか、沿岸部か山間部か、また都会なのか農村なのか、学習者が住んでいる状況によって避難するときに必要な表現が違ふことがあります。
- ・ 例えば、沿岸部では「津波が来るよ！」「高台に逃げて！」ということばが言える、または聞き取れることが大切となります。学習者と話をしながら、地震のときにどんな表現やことばが必要になるかを話しながら、話題に出た表現を扱っていくことが大切です。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－災害や避難に関することば・表現(p.44)

- ・ 「地震」～「津波」は地震災害に関して知っている役役立つことばです。「薬」～「乾パン」は防災袋に入れる代表的なものです。防災袋に入れるものを買ったときに困らないよう、これらのことばに慣れておくといいでしょう。「地震だ！」～「ガスを止めて！」は避難時によく使う表現です。
- ・ 「薬」～「乾パン」のことばは「活動3」の「(2)防災袋について話しましょう」(p.41)で防災袋の活動をする前に、防災袋に入れるものの単語を確認しておくといいでしょう。
- ・ ゲームを取り入れて、ことばに慣れることもできます。下の例はカルタを応用したものです。「薬」～「乾パン」の表現もカルタを応用し、聞いて分かるようにできるといいでしょう。

<「薬」～「乾パン」のことばのゲーム例>

準備：防災袋に入れるものの絵カード

- ① 学習者数人でグループを作り、机の周りに座ります。
- ② 絵カードを机の上にはばばらに置きます。
- ③ 指導者が絵カードの単語を一つ言います。学習者は該当する単語カードを取ります。一番早く取れた人がそのカードをもらいます。これを机の上のカードがなくなるまでやります。
- ④ 机の上のカードがなくなったら終わりです。一番カードをたくさん持ってい

る人が勝ちです。

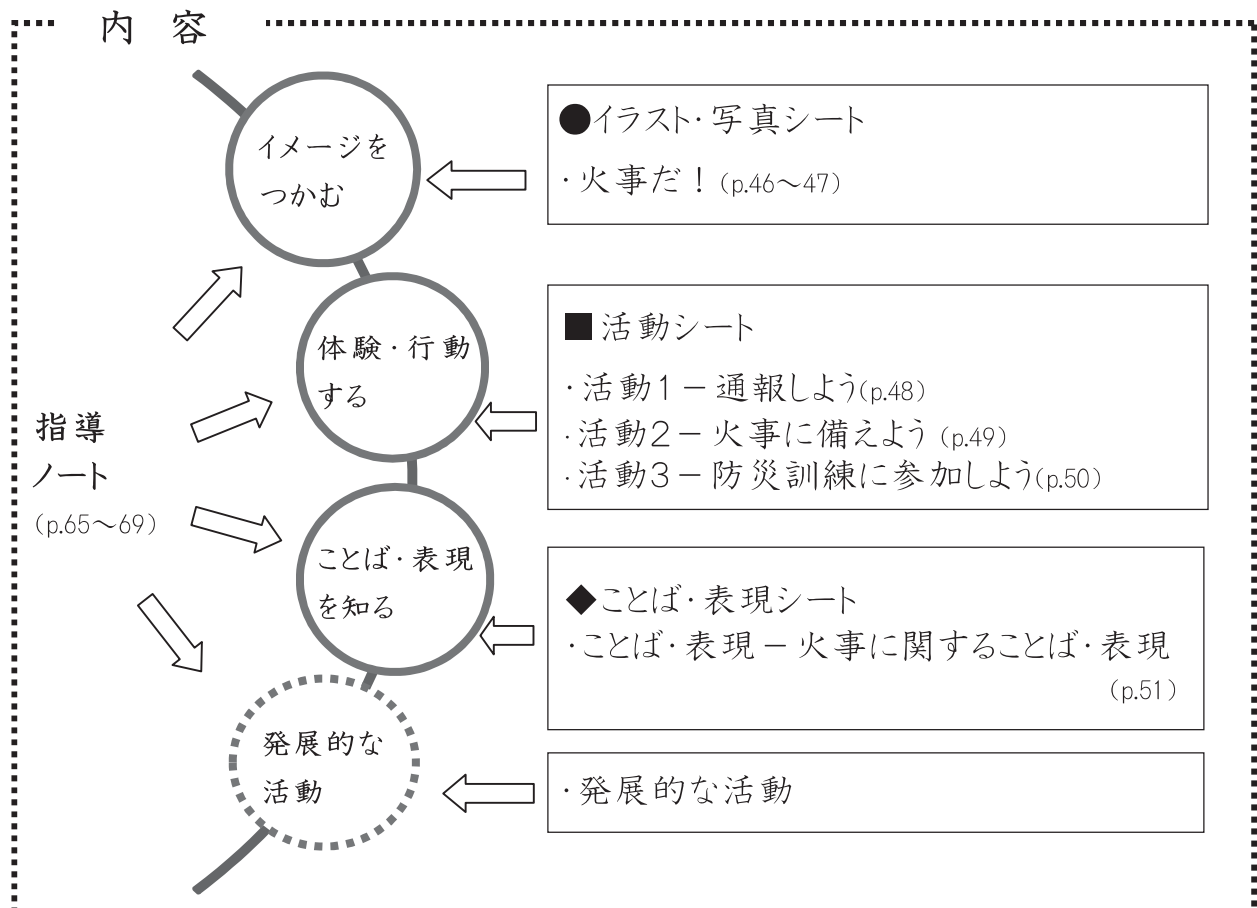
発展的な活動

- ・ 学習者の地震に関する知識やニーズによっては、より発展的な活動も考えられます。

< 例 >

- ・ 災害伝言板の使い方を知る。
- ・ テレビやラジオのニュースから震度や津波の情報を得る。
- ・ 学習者の居住自治体の防災無線を聞いて、情報(「津波」「高台に逃げてください」「地すべり」「余震」など)を聞き取る。

(05) さいがい 災害に そな 備え, たいおう 対応する(火事)



取り上げる生活上の行為の事例

- (0504050)「消防・救急(119 番)や警察(110 番)に電話する(火災等)」
- (0502020)「身を守る」

教室活動の目標

- ・火災発生時に, 消防・救急(119 番)に電話をする
- ・身を守る

教室活動のねらい

- ・緊急時の電話番号が分かる
- ・消防に電話をかけて, 火事の発生場所と状況, 自分の名前と電話番号を伝えることができる
- ・火災に備えることができる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0504050)「消防・救急(119 番)や警察(110 番)に電話する(火災等)」

(0502020)「身を守る」

教室活動の目標

- － 火災発生時に、消防・救急(119 番)に電話をする。
- － 身を守る。

教室活動のねらい

- － 緊急時の電話番号が分かる。
 - － 消防に電話をかけて、火事の発生場所と状況、自分の名前と電話番号を伝えることができる。(活動1)
 - － 火災に備えることができる。(活動2, 3)
- ・ さまざまな緊急事態の中でも火事を取りあげました。海外の知らない土地で火事に遭遇した場合、母国にいるとき以上に不安になったり焦ったりするものです。例えば、火事を通報しようにも、電話は相手の顔が見えず、余計に不安を感じることでしょう。でも、最低限のことが伝えられればいいのです。これが言えるから万一のときも、落ち着いて行動できるぞと安心を感じられるような教室活動を考えてみましょう。また、地域の防災訓練の時期にこのトピックを扱う工夫をすることにより、地域の一員として安心して暮らせることにつながるでしょう。

活動前に確認しておくこと

- － 街頭消火器の設置場所
- － 避難経路
- － 防災訓練の日程

準備する素材

- － 緊急時の通報先が分かる多言語情報

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・ 火事だ！(p.46～47)

- ・ 「イラスト・写真シート」(p.46～47)の火事の写真を見ながら、学習者がこれまで火事に遭遇した経験や遭遇しそうになった経験について話します。それから、日本で遭遇したときにどうすればいいか、現在の学習者の知っている知識やことばを引き出していきましょう。学習者から出てきたトピックに関係することば(日本語、母語とも)はシートに書き留めながら話しましょう。

< 問いかけ例 >

「これはどんな場面でしょうか。」

「火事になったこと、火事になりそうになったこと、火事を見つけたことがありますか。」

「そのとき、どうしましたか。」

「消防署に火事を通報するとき、あなたの国では何番に通報しますか。日本では何番に通報したらいいでしょうか。」

「通報したとき、消防署員に何をどう伝えますか。」

- ・ 多言語情報を利用して、火災時の緊急電話番号、伝える内容、公衆電話での電話のかけ方を確認しましょう。このとき、同時に重篤な怪我、交通事故、救急など緊急事態の電話番号先も確認しておくといいでしょう。日本では火災と救急は同じ番号ですが、国によっては異なることもあります。
- ・ 近くに公衆電話がある場合、また携帯や固定電話から電話ができない場合に備え、公衆電話からの緊急電話番号のかけ方も確認しておくといいでしょう。そのとき、実際の公衆電話を見て確認するか、公衆電話の写真を用意するといいでしょう。

多言語情報例

例1)文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

p.40-41 緊急電話

例2)財団法人自治体国際化協会『多言語生活情報』

緊急・災害時

<http://www.clair.or.jp/tagengorev/ja/p/index.html>

体験・行動する

■活動シート

・活動1－通報しよう(p.48)

- ・「活動1－通報しよう」(p.48)は、火事に遭遇したときに消防署に通報をするという活動です。火災発生場所は、学習者が居住圏内の具体的な場所を取りあげるといいでしょう。
- ・学習者の日本語のレベルに合わせて、取り上げる場面を限定したり、取り上げる表現についても「これだけ言えれば、何とか通報ができる」「これが言えれば、状況をやや詳細に通報できる」など段階を持たせたりして工夫してください。例えば、「活動1－通報しよう」(p.48)では①自宅で起きた火事を通報する場面と②外に出ているときに火事を発見して通報する場合を提示しましたが、学習者の日本語のレベルによっては①のみ扱うこともできます。取り上げる表現も火災発生場所と自分の名前と電話番号を単語レベルで言えればよいと考えることもできます。
- ・学習者の日本語のレベルによっては、ロールプレイをするとき、消防署に通報するだけでなく、周りの人に火事を伝える行動、通報をお願いする行動も入れられるといいでしょう。また、複雑な状況(例えば、火災を発見したが住所が分からない)のとき、どう対応するか話してみるのもいいでしょう。

< 周りの人に火事を伝える表現の例 >

火事だ！／火事！逃げて！

< 通報をお願いする表現の例 >

あそこで火事です。消防に電話をお願いします。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－火事に備えよう(p.49)

- ・「活動2－火事に備えよう」(p.49)は、身近にどんな防災設備があるかを知る活動です。消火器や火災報知機の実物を手にして、使い方を確認したり、自宅、職場、日本語教室の消火器の設置場所や避難経路を確認します。
- ・防災設備について学習者の母国ではどうなっているのか話をしてもおもしろいでしょう。
- ・街頭消火器の設置場所については、自治体のホームページなどで紹介されています。また、自治体に問い合わせて聞いておくこともできます。(街頭消火器は設置されていない自治体もあります。)

体験・行動する

■活動シート

・活動3－防災訓練に参加しよう(p.50)

- ・「活動3－防災訓練に参加しよう」(P.50)は、地域の防災訓練に地域の一員として参加する活動です。訓練にいっしょに参加することを教室活動に組み込んでみましょう。地域で生活する一員という気持ちがあると、万一のときも安心です。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－火事に関することば・表現(p.51)

- ・「イラスト・写真シート」の話の中で出てきたことばや表現について、「ことば・表現シート」を使って確認しましょう。話の中で出てこなかったことばや表現は必要に応じて確認をしてください。

発展的な活動

- ・学習者の日本語のレベルやニーズによっては、救急や警察への通報など火災以外の緊急事態を同時に扱うなど、異なる生活行為を組み合わせた教室活動

も考えられます。

＜活動例＞

- ① 緊急事態がわかるイラストを提示して場面を確認する。また、自分がこのような経験をしたことがあるか、自分が経験した緊急事態について話す。

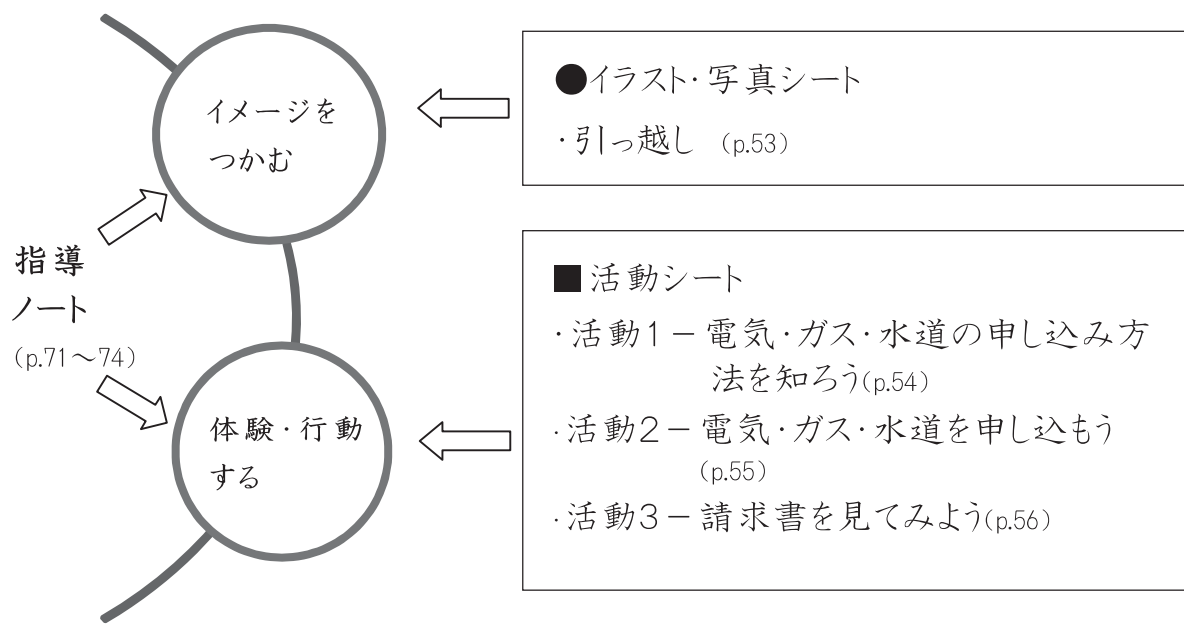
例) ・おなかを押さえて倒れている人
・車と自転車の交通事故の場面
・火事
・路上でのひったくり

- ② それぞれの緊急事態を通報する場合、通報先とその電話番号について話す。そのとき、自分の国の通報先、電話番号についても話す。

- ③ 各場面での通報のロールプレイをする。

(07) 住居を^{じゅうきょ}管理^{かんり}する

内 容



取り上げる生活上の行為の事例

- (0701010)「電気・水道・ガス等の開始手続きについて理解する」
- (0701040)「電気・水道・ガス等の使用開始について、地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する」
- (0701090)「電気・水道・ガス等の申し込みをする」
- (0703030)「電気・水道・ガスの請求書を理解する」

教室活動の目標

- ・電気・水道・ガスの開始手続きについて理解する
- ・電気・水道・ガスの申し込みができる
- ・電気・水道・ガスの請求書を理解する

教室活動のねらい

- ・電気・水道・ガス等の使用開始について、地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する
- ・電話で開始に必要な事項を伝えて、申し込みをすることができる
- ・請求書兼領収書の見方を理解する

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (0701010)「電気・水道・ガス等の開始手続きについて理解する」
- (0701040)「電気・水道・ガス等の使用開始について、地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する」
- (0701090)「電気・水道・ガス等の申し込みをする」
- (0703030)「電気・水道・ガスの請求書を理解する」

教室活動の目標

- － 電気・水道・ガスの開始手続きについて理解する。(活動1, 2)
- － 電気・水道・ガスの申し込みができる。(活動2)
- － 電気・水道・ガスの請求書を理解する。(活動3)

教室活動のねらい

- － 電気・水道・ガス等の使用開始について、地域の公的機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する。
 - － 電話で開始に必要な事項を伝えて、申し込みをすることができる。
 - － 請求書兼領収書の見方を理解する。
- ・ 生活をする上で、電気・ガス・水道は欠かすことができません。その手続き方法は、国によって異なります。海外での生活において、その国の手続きの仕組みを理解し、実際に手続きをするということは、不安に感じるものです。教室で疑似的に体験し、学習者が安心できるような活動をしてみましょう。

活動前に確認しておくこと

- － 学習者の居住地域の、電気・ガス・水道の申し込み方法

準備する素材

- －学習者の居住地や引っ越し先の、電気・ガス・水道の申し込みに関する多言語情報
- －学習者の居住地の、電気・ガス・水道の請求書兼領収書

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・引っ越し(p.53)

- ・「イラスト・写真シート」(P.53)の写真を見ながら、母国や日本での引っ越しの経験について話をしましょう。引っ越しのときの習慣や手続きについて、国や地域によって異なることでしょう。話の中で出てきた言葉(母語・日本語)をメモし、必要な語彙は日本語でどう言えばよいのか確認しましょう。

< 問いかけ例 >

- 「あなたは引っ越したことがありますか。」
- 「引っ越す前にやることは何ですか。」
- 「引っ越した後にやることは何ですか。」
- 「引っ越しに関して、あなたの国ではどんな習慣がありますか。」

体験・行動する

- 活動シート
- ・活動1－電気・水道・ガスの申し込み方法を知ろう(p.54)

- ・活動1「電気・水道・ガスの申し込み方法を知ろう」の(1)では、学習者が今住んでいる家にあるメーターがそれぞれ何のメーターか知っているかどうかを確認します。また、ことばも導入します。写真を見ながら、次のようなことを話してもいいでしょう。

＜ 問いかけ例 ＞

「あなたの家にこれ(メーターやブレーカー)がありますか。」

「何のメーターですか。」

「日本で新しい部屋に住む時, その部屋の電気・ガス・水道はどこに申し込みますか。いつ申し込みますか。」

「あなたの国ではどうですか。」

- ・ 活動1「電気・水道・ガスの申し込み方法を知ろう」の(2)では, 引っ越しの際の, 電気・ガス・水道の申し込み方法について知る活動です。いつ, どこに, 何を連絡するのかを, 一般的な多言語情報や学習者が居住する地域の多言語情報を利用して確認し, メモをしましょう。

多言語情報例

例1) 多言語生活情報((財)自治体国際化協会)

- ・ 中国語, 英語, 韓国語, スペイン語, ポルトガル語, タガログ語, ドイツ語, フランス語, ベトナム語, ロシア語, タイ語, インドネシア語

・ <http://www.clair.or.jp/tagengorev/ja/index.html>

- ・ 電気・ガス・水道の申し込みについて, 一般的な手続きの流れが書かれている。

例2) 大阪市「エンジョイオオサカ」

- ・ 英語, 中国語, 韓国語・朝鮮語, スペイン語, ポルトガル語

・ <http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000023766.html>

- ・ 申し込み方法のほか, 請求書の見方(活動3で参考に関連)についても書かれている。

例3) 横浜市「生活ガイド」

・ <http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/koho/lifeguide/>

- ・ 横浜市の電気・ガス・水道の申し込みの方法が書かれている。

体験・行動する

■ 活動シート

- ・ 活動2－電気・ガス・水道を申し込もう(p.55)

- ・ 活動2「電気・ガス・水道の申し込み方法を知ろう」は, 電話で電気・ガス・水道の申し込みをする活動です。教材例では紙面の関係上, ガスのみを例にあげて

います。ガスは郵送での申し込みはできず、電話やネットで開栓を申し込みをした上で、開栓時に立会いが必要な地域が多く、学習者にとっては、一番複雑な手続きです。

- ・ 電気や水道は、地域によっては、電話以外に、新居においてある「使用開始のお知らせ」の紙に必要な事項を記入し、郵送するだけでよい地域もあります。学習者の日本語のレベルや希望に応じて、どちらで対応したいかを本人に聞いて教室活動を組み立てることもできるでしょう。郵送の場合は、ロールプレイではなく、実際に記入してみてください。

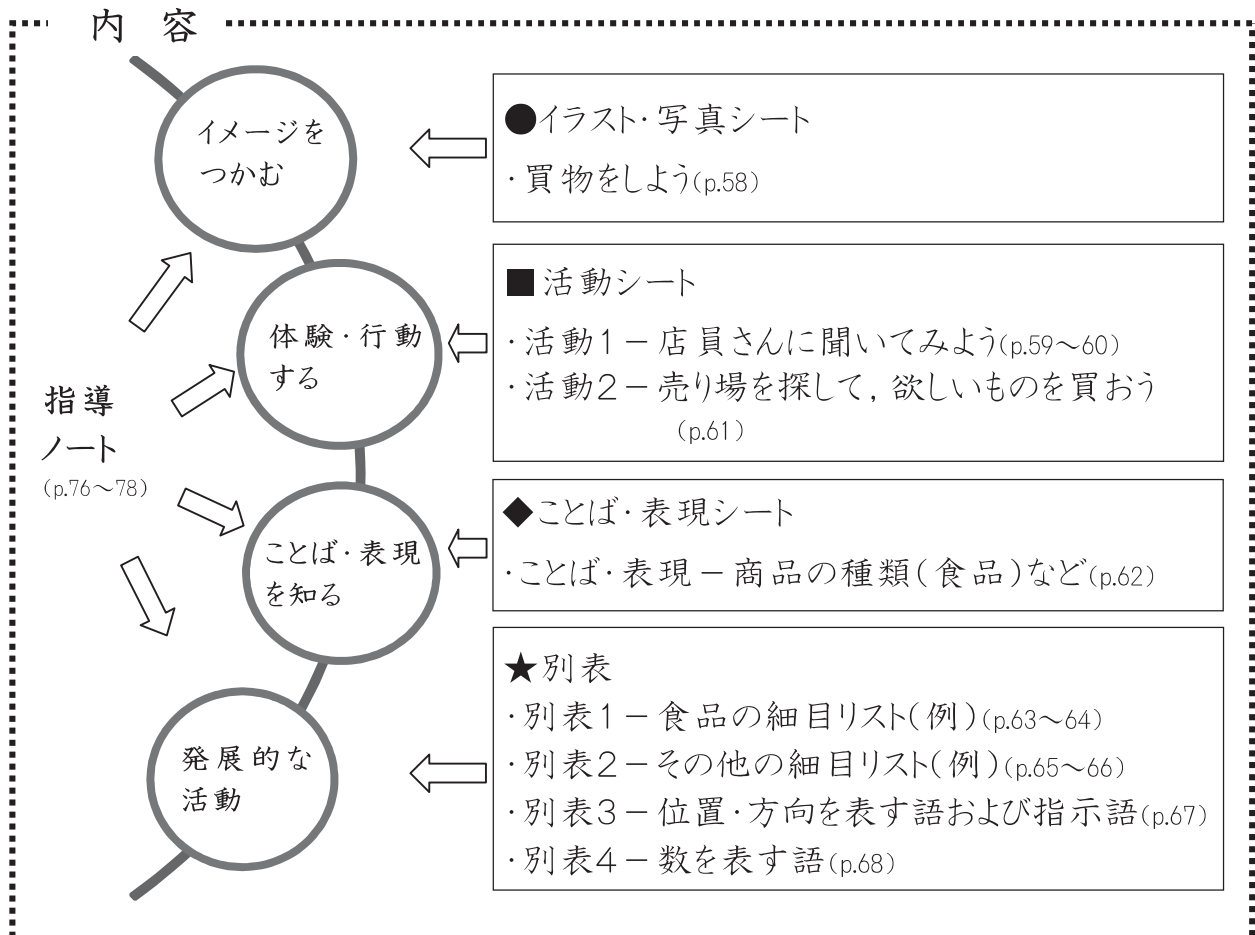
体験・行動する

■ 活動シート

・ 活動3－請求書を見てみよう(p.56)

- 活動3「請求書を見てみよう」は、検針票や請求書の見方を理解する活動です。水道を例にしましたが、電気やガスでも同じようにやってみましょう。地域によって、検針票、請求書の様式は異なりますので、学習者の地域のものを見て話しましょう。
- 電力会社、ガス会社、水道局の中には、検針票、請求書の見方に関する資料を多言語で準備しているところがあります。ホームページからダウンロードできる場合もあれば、窓口で配布している場合もあります。事前に問い合わせてみるといいでしょう。
- 電気やガスや水道を1か月にどれくらい使っているか、主に何に使っているのか、どのように節約をしているかなどについて話をふくらませてもおもしろいでしょう。

ぶっぴんこうにゅうさーびすりょう
(08) 物品購入・サービスを利用する



取り上げる生活上の行為の事例

- (0801060)「店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す」
(0801050)「デパート、スーパーマーケット、コンビニ、電器店、書店等で買物をする」
(0801080)「売り場を尋ねる」

教室活動の目標

- ・店内の表示を見たりして、店員に尋ねて欲しいものの場所を探す

教室活動のねらい

- ・買いたい物がどこにあるか聞くことができる
・商品名を言うことができる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0801060)「店内の表示を見たり店員に尋ねて欲しいものの場所を探す」

(0801050)「デパート、スーパーマーケット、コンビニ、電器店、書店等で
買物をする」

(0801080)「売り場を尋ねる」

教室活動の目標

－店内の表示を見たりして、店員に尋ねて欲しいものの場所を探す。

教室活動のねらい

- －買いたい物がどこにあるか聞くことができる。(活動1, 2)
- －商品名を言うことができる。(活動1, 2)

- ・買物は、誰もが経験する行為の一つでしょう。学習者によってニーズや興味・関心は様々かもしれませんが、食料品など日常生活に不可欠な物品の購入は誰もが経験するはずです。あまり行き慣れていない商店に行ったり、買い慣れていない商品を買ったりする場合には、欲しいものが店内のどこにあるか、すぐに分からないことも多いのではないのでしょうか。ここでは、その探し方を練習してみましょう。

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・買物をしよう (p.58)

- ・最初にイラスト・写真「買物をしよう」(p.58)を学習者と一緒に見ながら、日本語または学習者の母語などで、以下のようなやり取りをしてみましょう。

< 例 >

「これは何ですか。ここで何をしますか。(地域の)どこにありますか。」

「よく買物をしますか。家族の中では誰が買物しますか。いつもどこで買物しますか。何を買いますか。高いですか、安いですか。」

「買物のとき、日本語を使いますか。また、店員の日本語はわかりますか。」

「買いたい物がお店の中のどこにあるか、すぐに分かりますか。売り場が分からないときは、どうしますか。」

「買いたい物がお店にないときは、どうしますか。」

- ・このようなやり取りを通じて、学習者が日常生活の中でどのような買物をしているか、また、その実際の場面で日本語をどの程度理解または使用しているかについて把握できるでしょう。学習者自身の買い物場面に関する知識が活性化されるだけでなく、指導者が今後の活動展開を考えていく上で、きっと役に立つはずです。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－店員さんに聞いてみよう(p.59～60)

- ・「活動1」の会話例(1)「牛乳はどこですか」や会話例(2)「すみません、みかんはありますか」を使ってキーフレーズを確認し、学習者の日本語レベルや地域の状況などに応じて適宜調整・工夫を加えた上で、ロールプレイを行います。
- ・会話ではキーフレーズに限らず、買物場面でよく使われる表現を取り上げてください。学習者の日本語レベルに合わせ、「これだけ言えれば、何とか必要なものを探ることができる」、「これが言えれば、スムーズに必要なものを探ることができる」、「これが言えれば、他の商品と比較等を行いながら必要なものを探す(選ぶ)ことができる」というように、取り上げる表現を工夫しましょう。
- ・学習者がよく耳にするけれども十分に理解できない表現などを取り扱ってもよいでしょう。必要に応じて、「別表3 位置・方向を表す語および指示語」(p.67)なども参照してください。
- ・ロールプレイに際しては、ことば・表現「商品の種類(食品)など」(p.62)にある写真・イラストをコピーして切り離し、それを学習者に提示して、ロールプレイを開始してもらう方法もあります。そうすることで、語彙表現の確認・定着練習にもなります。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－売り場を探して、欲しいものを買おう(p.61)

- ・「活動2－売り場を探して、欲しいものを買おう」(p.61)の店内見取り図「すみません、野菜はどこですか」は、様々なスキニング(※特定の情報を得るために、情報のある箇所を探して拾う読み方)に使うことができます。音声または文字で提示された食品の分類や細目は何番の売り場にあるか答えたり、反対に売り場の番号から食品の分類や細目を答えたりすることが可能です。あるいは「活動1」と組み合わせで店員役がスキニングを行い、ロールプレイの会話内容に反映させるというやや高度な活動もできるはずです。
- ・食品の分類が導入済みであれば、工夫次第で細目語彙の紹介(導入)や定着(復習)にも使えるでしょう。

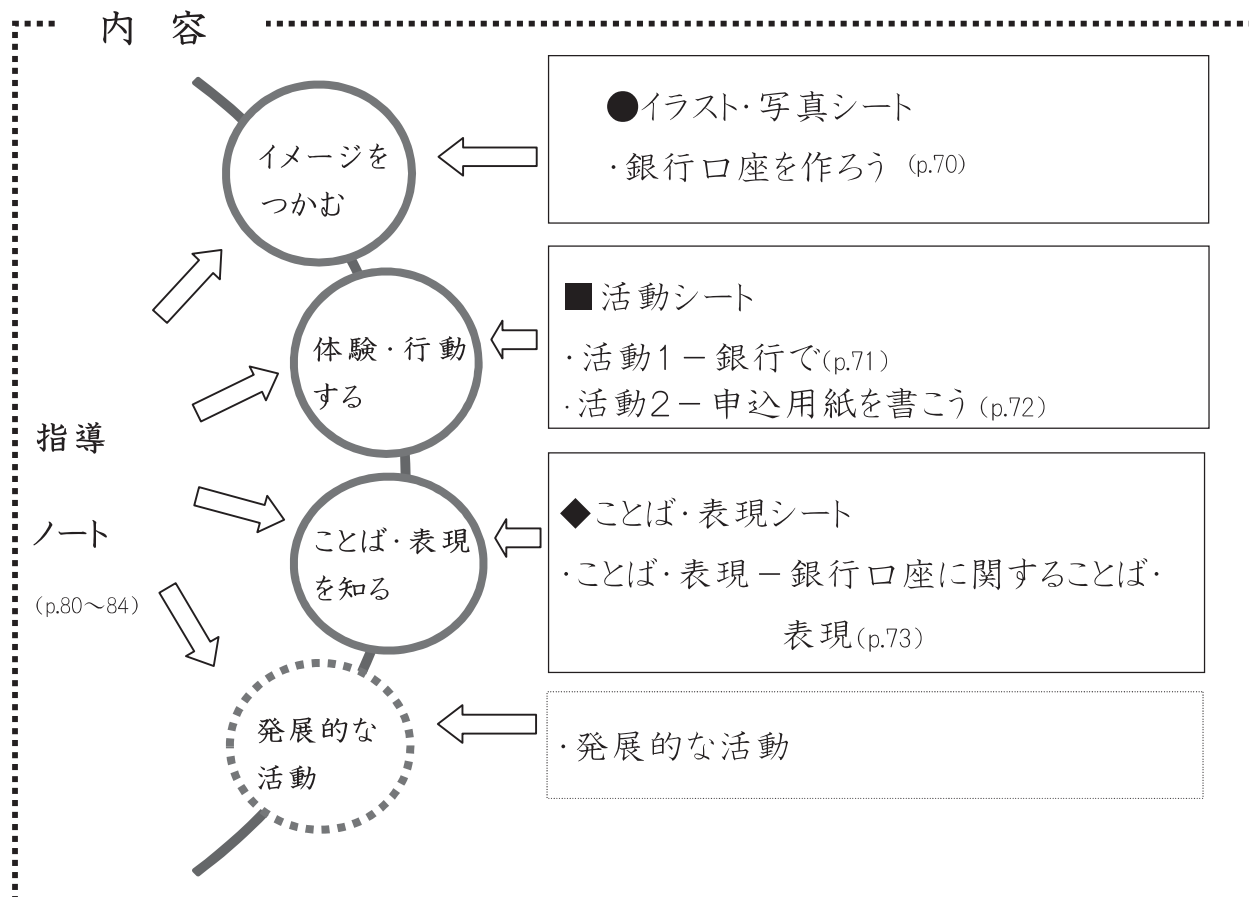
ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－商品の種類(食品)など(p.62)

- ・「ことば・表現－商品の種類(食品)など」(p.62)は、学習者が実際の買物場面などでよく目にする基礎的な単語を並べてあります。「活動1」や「活動2」を行う前に、ことばや表現の読みと意味を確認するとよいでしょう。
- ・ここでは学習者に最も身近と思われる「食品」の分類を中心とした単語を取り扱っていますが、学習者の使える語彙量や関心の度合いによっては、「別表1－食品の細目リスト(例)」(p.63～64)、「別表2－その他の細目リスト(例)」(p.65～66)にある単語などを確認しておくのも一つの方法です。

(09) きんゆう き かん 金融機関を り よう 利用する



取り上げる生活上の行為の事例

(0901050)「申込みをする」

教室活動の目標

・銀行口座を開設する

教室活動のねらい

- ・口座開設の意思を伝えることができる
- ・係員の説明を聞いて理解することができる
- ・口座の申込用紙に必要事項を記入することができる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(0901050)「申込みをする」

教室活動の目標

－ 銀行口座を開設する。

教室活動のねらい

- － 口座開設の意思を伝えることができる。(活動1)
- － 係員の説明を聞いて理解することができる。(活動1, 2)
- － 口座の申込用紙に必要事項を記入することができる。(活動2)

・ 銀行口座を開設すると、預金や送金、勤務先からの給料受け取り、家賃や公共料金やクレジットカードなどの支払いなどのサービスを受けることができます。また、キャッシュカードがあれば、ATMで24時間現金を預けたり引き出したりすることができます。「銀行口座がなかったら…」、「ATMが使えなかったら…」、生活がどれほど不便になるか想像してみてください。口座を作ることが学習者の生活を一步便利にします。金融機関によって口座開設の条件や方法が異なりますが、学習者のニーズに合い、実生活のサポートとなるような教室活動を考えてみてください。

活動前に確認しておくこと

- － 学習者の居住地近くや勤務先近くの銀行(または学習者が開設を希望する銀行)の口座開設の条件と手続き、開設に必要なもの
- － 印鑑がなくてもサインで口座が開設できる銀行の情報

準備する素材

- － 学習者の居住地近くや勤務先近くの銀行(または学習者が開設を希望する

- 銀行)の口座開設申込用紙, 其他必要な書類
- 通帳, キャッシュカード, 印鑑書留で届いた郵便物の封筒等の実物
 - 銀行口座開設に関する多言語情報(各自治体が発行しているもの, 銀行がホームページ上で公開しているものなど)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

イラスト・写真シート

・銀行口座を 作ろう(p.70)

- ・「イラスト・写真シート」(P.70)を見ながら, 日本の銀行窓口の営業時間や銀行口座でできることについて話をしましょう。その際, 母国と比較しながら話を進めるといいでしょう。
- ・ここで, 口座を開設するときに必要な物も確認しておくといでしょう。そのとき, 母国と比較しながら進めると話題が広がります。日本の多くの銀行では印鑑が必要になりますが, 日本以外の国ではサインで開設することの方が一般的です。印鑑の文化について話が広がるかもしれません。
- ・口座開設時の主な手続きや持ち物については, 多言語情報を利用して確認してもいいでしょう。
- ・銀行によっては口座開設まで6か月以上日本に滞在していないと口座開設ができない銀行もあります。事前に確認をしておくといでしょう。
- ・学習者が印鑑を持っていない場合, サインで口座開設ができる銀行を探すか, 印鑑を作って口座を開設することになります。学習者が前者を選択した場合, サインで口座開設ができるか銀行に問い合わせることを活動として加えてもいいでしょう。後者を選択した場合, 印鑑を注文することを教室活動として加えることもできます。

< 問いかけ例 >

「ここはどこでしょうか。」

「日本の銀行は何曜日から何曜日まで, 何時から何時まであいていると思いますか。あなたの国ではどうですか。」

「銀行の口座があると, どんなことができますか。」

「(通帳と印鑑の写真を見て)これは何でしょうか。いつ使うものでしょうか。あなたの国にもありますか。」

「(あなたが口座をつくりたい)銀行で口座を作るとき、何を持っていけますか。」

多言語情報例

例1)文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

- ・日本語, 中国語, 韓国・朝鮮語, 英語, スペイン語, ポルトガル語
- ・p.67 お金と銀行
- ・http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kyouiku/handbook/index.html

例2)(財)自治体国際化協会「多言語生活情報」

- ・英語, 中国語, 韓国・朝鮮語, スペイン語, ポルトガル語, タガログ語, ベトナム語, ドイツ語, タイ語, フランス語, インドネシア語, ロシア語
- ・その他の届出 印鑑
- ・<http://www.clair.or.jp/tagengorev/ja/d/05-1.pdf>

体験・行動する

■活動シート

・活動1－銀行で (p.71)

- ・「活動1－銀行で」(p.71)では、銀行の人に口座を作りたいという意思を伝えます。また、印鑑がない場合、サインでもいいかを確認します。
- ・学習者が印鑑を持っていない場合、事前に電話で銀行にサインで口座開設ができるかを確認する活動も考えられます。ただし、初級の学習者の場合は、電話で聞くより窓口で相手の顔を見ながら聞くほうが理解しやすいでしょう。

< 会話例 >

銀行の人: はい, ××銀行××支店でございます。

A さ ん : すみません。サインで口座を作ることができますか。

銀行の人: はい, 大丈夫です。／申し訳ありません。

- ・電話の場合は、すべてが聞き取れなくても「大丈夫」「申し訳ありません」などの肯定か否定かを示すキーワードを聞き取れるようにしておくと、安心して電話ができるでしょう。
- ・日本の銀行の窓口では、順番待ちの紙をもらって待つなど、銀行の習慣についても、母国と比較しながら話ができるといいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－申込用紙を 書こう(p.72)

- ・ 実際の申込用紙を利用して、必要事項を記入してみましょう。申込用紙は、銀行によって異なります。できるだけ、学習者が開設を希望する銀行の申込用紙を準備しておくといいいでしょう。
- ・ 銀行の窓口で記入するときに、書く内容や書き方を銀行の人に尋ねる表現も言えるようにしておくといいいでしょう。

<例>

「ここに何を書きますか。」

「どう書きますか。」

- ・ キャッシュカード用の暗証番号について、どんな番号が安全か、どんな番号が安全ではないかを、みんなで話してみるのもおもしろいでしょう。
- ・ キャッシュカードは、申込みをした場で通帳と一緒にもらえる銀行もありますが、申込み後1～2週間後に簡易書留で郵送する銀行も多いです。簡易書留には受け取りのサインが必要です。書留の実物を見せて、サインが必要なことが分かるようにしておくといいいでしょう。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－銀行口座に関することば・表現(p.73)

- ・ 銀行口座を開設するときに必要なことばです。実物を手にして話すと理解しやすいでしょう。

発展的な活動

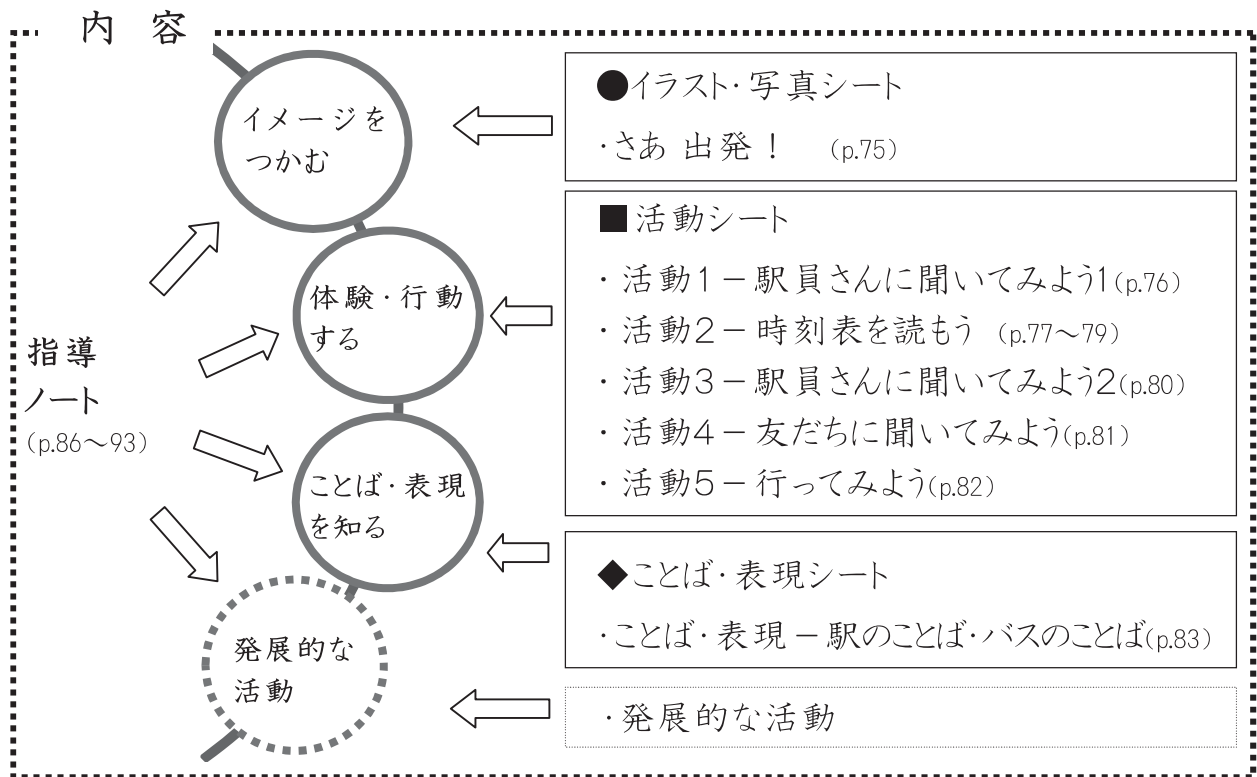
- ・ 銀行によって口座開設の条件や手続きが異なります。たとえば、口座開設時に印鑑が必要な銀行もあればサインでもいい銀行もあります。またインターネットで口座開設の申込みができる銀行も増えています(英語の口座開設申込用紙を準

備している銀行もあります)。学習者のニーズに沿ってより個別的，発展的な活動も考えられます。

< 例 >

- ・印鑑を注文する活動
- ・インターネットで口座開設の申込みをする活動
 - …インターネット上で申込用紙に記入し，申込用紙をプリントアウトして銀行に郵送する活動
 - …インターネット上で申込用紙を郵送してもらい，申込用紙に記入をして銀行に郵送する活動
- ・クレジットカード機能付きキャッシュカードを申込む活動
- ・ネットバンキングを同時に申込む活動

(10) 電車、バス、飛行機、船等を利用する



取り上げる生活上の行為の事例

(1001020)「発車する時刻や掛かる時間を尋ねる」

(1002060)「目的地への行き方を尋ねる」

教室活動の目標

- ・公共の交通機関(電車、バス、飛行機、船等)を利用して、目的地に行くことができるようになる

教室活動のねらい

- ・目的地へ行く交通機関の発車時刻や所要時間を聞くことができる
- ・時間や発車時刻を理解することができる
- ・駅名、行き先などの駅の表示が理解できる
- ・目的地への行き方を質問することができる
- ・目的地への行き方の説明を理解することができる
- ・目的地への行き方を説明することができる
- ・駅名、行き先などの駅の表示が理解できる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(1001020)「発車する時刻や掛かる時間を尋ねる」

(1002060)「目的地への行き方を尋ねる」

- ・ 外国で交通機関を使って初めての場所に行くときは、目的地に着くまで不安なものです。しかし、途中で分からなくなったときに、自分から誰かに尋ね、さらにその先に進んでいけるような力が付けば行動範囲も広がることでしょう。できるだけ学習者の生活圏に沿った交通機関を取り上げ、最寄りの交通機関の時刻表や路線図なども用意して、学習者と一緒に出かけるつもりでスタートしてみませんか。
- ・ ここでは(1001020)「発車する時刻や掛かる時間を尋ねる」と(1002060)「目的地への行き方を尋ねる」の二つの生活上の行為の事例について、それぞれ教室活動の展開例を示しました。それぞれの生活上の行為の事例は、活動1と2、活動3～5というまとまりに対応していますが、活動1から5まで連続性があり、最後の活動5は全体の仕上げとなっています。

(1001020)「発車する時刻や掛かる時間を尋ねる」

教室活動の目標

- － 公共の交通機関(電車、バス、飛行機、船等)を利用して、目的地に行くことができるようになる。

教室活動のねらい

- － 目的地へ行く交通機関の発車時刻や所要時間を聞くことができる。(活動1)
- － 時間や発車時刻を理解することができる。(活動1)
- － 駅名、行き先などの駅の表示が理解できる。(活動2)

活動前に確認しておくこと

- － 学習者の生活圏における交通機関の状況
- － 時刻表や路線図の入手方法に関する情報

準備する素材

- － 学習者の生活圏における交通機関の案内図・路線図
- － 時刻表(駅やバス案内所に置いてあるもの, インターネットでダウンロードできるもの等)
- － 乗り物の写真・絵が掲載されている本

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・さあ 出発！(p.75)

- ・ 「イラスト・写真シート」(p.75)の(A)を見せて、写真がどんな場所か、またどこに行くときに、このような場所に行ったかなど話してもらいます。学習者にどこかに行ったときの思い出を話してもらい、それを教室活動の参加者の間で共有することから始めると、楽しくスタートできるかもしれません。また写真にあるような電光掲示板に書いてあることや、電車のホームは「～番線」で示されることなども、ここで確認しておきましょう。ここでは電車とバスを取り上げています。

< 問いかけ例 >

「ここ(A)はどこでしょう。この(電光掲示板の)下には何があるでしょうか。」

「これには何が書いてありますか。」

「あなたがよく使う乗り物は何ですか。どこからどこまで乗りますか。」

「時間はどのくらいかかりますか。」

「電車やバスに乗るとき、分からないことがありましたか。そのときどうしましたか。」

- ・ 日本語が分からないゼロ初級の学習者には、ここで覚えてほしい「駅」「改札口」「時刻」など基本的な単語を提示しながら質問の簡単な答えを引き出し、ここで何を勉強するか理解してもらいましょう。「(場所)から(場所)まで」「(～時間／～分)かかる」などの表現は、日常的に出てくるので、ここで使えるようにしておくといでしょう。
- ・ 少し話せる学習者であれば、日本と自国との違い(発着時刻の正確さ、ホームでの電車の待ち方)などを話してもらおうとおもしろいかもしれません。最後に、乗った

い電車が分からなかったときどうしたか、自分ならどうするか、など話し合ってみましょう。外国に行かれた支援者の方々の体験談なども交えて進めると発話が活発になるかもしれません。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－駅員さんに聞いてみよう1(p.76)

- ・「会話例」では、発車時刻、何番線か、目的地までどのくらい時間がかかるかを聞く基本パターンが示してあります。「何時に出ますか」「何番線ですか」「どのくらいかかりますか」の表現が聞きたいときにすぐ出てくると便利です。ここでは上記三つの情報が盛り込んでありますが、ゼロ初級の学習者には、一つずつ別々に聞くやり取りで練習してみましょう。
- ・発話練習では学習者に「Aさん」の役を演じてもらい、はじめは指導者または支援者が駅員になって、繰り返しやり取りを行ってください。その際、会話例から少し離れた表現も盛り込みながら受け答えを行うと、実際の場面で戸惑うことが少なくなるかもしれません。慣れてきたら、学習者同士ペアで練習してみるとよいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－時刻表を読もう(p.77～79)

- ・国によっては、時刻表の見方に馴染みのない学習者もいることでしょう。ここに示した時刻表を見ながら読みとり方を理解してもらいます。
- ・「始発」「最終」「終点」「～分おき」「～時台」は交通機関を利用するときによく使われることばです。ここではその意味が理解できるようにしておきましょう。活動シートにある質問のほかにも、この時刻表を見ながら、自由に質問をしてみてください。
- ・電車の駅やバスの案内所で、小型の時刻表がもらえます。地域の列車やバスの時刻表を人数分用意しておき、それを使って上記のような質問をしてみてください。実際の情報を扱うことで、生活に役立ち、学習意欲も増すのではないのでしょうか。

多言語情報例

例1)文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

p.73「交通機関～乗りこなして行動範囲を広げよう～」

(1002060)「目的地への行き方を尋ねる」

教室活動の目標

- －公共の交通機関(電車, バス, 飛行機, 船等)を利用して, 目的地に行くことができるようになる。

教室活動のねらい

- －目的地への行き方を質問することができる。(活動3, 活動4)
- －目的地への行き方の説明を理解することができる。(活動3, 活動4)
- －目的地への行き方を説明することができる。(活動4, 活動5)
- －駅名, 行き先などの駅の表示が理解できる。(活動5)

活動前に確認しておくこと

- －学習者の生活圏における交通機関の状況
- －時刻表や路線図の入手方法に関する情報

準備する素材

- －学習者の生活圏における交通機関の案内図・路線図
- －時刻表(駅やバス案内所に置いてあるもの, インターネットでダウンロードできるもの等)
- －身近な交通機関で用いるICカード(Suica, ICOCA 等), 回数券等

イメージをつかむ

●イラスト・写真

・さあ 出発! (p.75)

- ・「イラスト・写真シート」(p.75)の(B)を見せて, 男性が駅員さんに何を聞いているのか推測してもらいましょう。「路線図」が示してあるので行き方を聞いているのですが, 正解を当てることよりも, 自由に発話してもらうことを意識するとよいでしょう。ここで「路線図」「乗車券」「券売機」などのことばも提示しておくといよいでしょう。身近な

交通機関の路線図を用意し、路線図の見方についても確認しておいてください。同時に、切符の買い方やカード乗車券(Suica,ICOCA 等)の使い方を確認したり、説明したりしておくといでしょう。また、「～で電車(バス)を降りる」「～で電車(バス)に乗る」「～で乗りかえる」などの言い方にここで慣れてもらいます。

・最寄りの駅から指導者や支援者の自宅までの経路、あるいは学習者に有用な場所までの経路を例にとって示すといでしょう。「～で～線に乗る」「～で～線に乗って～で乗りかえる」などの言い方もよく使われるので、レベルに応じて練習してください。初心者も聞いて理解できるようにしておくといでしょう。

< 問いかけ例 >

「男の人は何を話していますか。考えてみましょう。」

→ 答えの例 「～はどうやっていきますか。」 「きっぷを落としました。」

「～までどのくらいかかりますか。」など。

「あなたの職場や友だちの家はどこにありますか。電車やバスで行きますか。どこ(駅の名前)で電車(バス)に乗りますか。」

「どこで電車を降りますか。」

「乗り換えがありますか。どこで、何に乗り換えますか。」

「駅やバス停で、駅員さんや運転手さんに何か聞いたことがありますか。」

体験・行動する

■ 活動シート

・活動3－駅員さんに聞いてみよう2(p.80)

・< 会話例 >では基本的に、「目的地への行き方を質問することができる」「目的地への行き方の説明を理解することができる」ことを目的としています。生活圏内の交通機関に置き換えて、練習してみるといでしょう。学習者の日本語レベルに応じて、表現は適宜変えてください。

・< 発話練習 >では、始めにAさん役を学習者、駅員役を指導者が担当し、路線図を示して、学習者に視覚的に経路を確認してもらいながらやり取りしてはどうでしょうか。駅員の発話は必ずしもこのパターンだけではなく、少しずつ変えて聞かせるのもいいでしょう。初心者ではない学習者の場合は、駅員役にチャレンジしてもらってもいいかもしれません。「～で電車を降りる」「～で電車に乗る」「～で乗りかえる」の表現がスムーズに出てくるようになれば、話題が広がります。

- ・ 路線図は、実際の路線図を拡大したもののほかに、学習者によっては、ローマ字表記も添えた路線図を作成しておくとう理解しやすいでしょう。
- ・ インターネットからダウンロードしたり、乗り物が描かれている絵本からプラットホームの写真を拡大コピーして貼ったり、駅のホームのざわめきを録音しておいて流したりなど場面をできるだけ再現すると、楽しくできるのではないのでしょうか。

体験・行動する

■ 活動シート

・ 活動4－友だちに聞いてみよう(p.81)

- ・ 目的地の行き方が自由に尋ねられると、それだけ行動範囲が広がります。ここでは身近な話題として、友だちの家や友だちの職場までの行き方、行ってみたいところが聞けるようになることを目的としています。指導者、または支援者とやり取りをして正しく発話できているか確認しておくといいでしょう。そのあとで、複数の友だちとやり取りをしたり、ペアワークを行うなどして練習してください。
- ・ 初心者の場合は聞く側のAさん役をしてもらい、相手の言うことが理解できるようになればいいでしょう。やはりここでも路線図があると理解の助けになります。
- ・ 余力のある学習者には、たとえば「友だちにおすすめの場所を聞いて、行き方を尋ねてください。」のようなタスクを課し、短い会話にチャレンジしてもらうのも一案です。
- ・ 学習者に実際に行ってみたいところを質問してもらいます。例えば「自国の料理の材料が売っている店はどこか、どうやって行ったらいいか」など本当に知りたい情報が求められるかもしれません。初心者の場合、メモは必ずしも日本語で書く必要はありません。生活に有用な情報はどんどん聞いてもらい、吸収していったほしいものです。

体験・行動する

■ 活動シート

・ 活動5－行ってみよう(p.82)

- ・ ここでは、生活圏内の交通機関の主な駅の名前を覚え、自信をもって乗り降りすることができるようになることを目的としています。指導者はあらかじめ、もよりの交通機関(学習者が利用しそうな電車やバスなど)の簡単な路線図を用意しておいてください。学習者が一緒に見られる大きいサイズのものが便利でしょう。

- ・ 学習者から知っている駅名を挙げてもらい、それが路線図のどこにあるか探してもらうことから始めてはどうでしょうか。大きな駅や乗換駅を中心に名前を確認していき、そのほか必要な駅名も漢字を見てわかるようにしておきましょう。また、行き方が何通りかある乗換駅を取り上げ、学習者に、どうやってそこまで行くか、またどうやって行くのが一番早いかなど経路を説明してもらいましょう。私鉄やJR、あるいはバスでそれぞれ値段も違ってくるので、どれが一番安く行けるかも皆で意見交換するとよいでしょう。日本語初心者は、ここで主要な駅名の漢字が分かるようにしておく、安心して乗り降りすることができます。
- ・ それぞれの学習者に、公園やスポーツセンター、安くおいしいレストランなどお勧めの場所を紹介してもらうことで、目的地までの経路を説明する練習になるほか、学習者同士、生活上の有用な情報を共有することができるでしょう。日本語初心者は、ここでは聞いて分かることを目標にするとよいでしょう。

【参考情報】

○鉄道

地下鉄、JR、私鉄など様々な鉄道があります。切符は自動券売機で買ったり、窓口で買ったりします。行き先までの料金は路線図で調べます。小学生は半額、6歳未満の幼児は大人一人につき二人まで無料になります。一日乗車券や定期券など割安な切符もあります。定期券とプリペイドカードの機能をもったICカードを利用することもできます。

○バス

バスには、料金が均一のバスと、乗車距離によって料金が変わるバスがあります。均一料金のバスは、一般的に乗るときに運転席横の料金箱にお金を入れます。乗車距離によって料金が変わるバスでは、乗るときに整理券をとり、降りるときに運賃表で整理券の番号の料金を確認して、料金箱に入れます。バスにも一日乗車券や定期券、プリペイドカードがあります。

自分が降りるバス停がアナウンスされたら、座席近くのボタンを押して降りることを知らせます。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

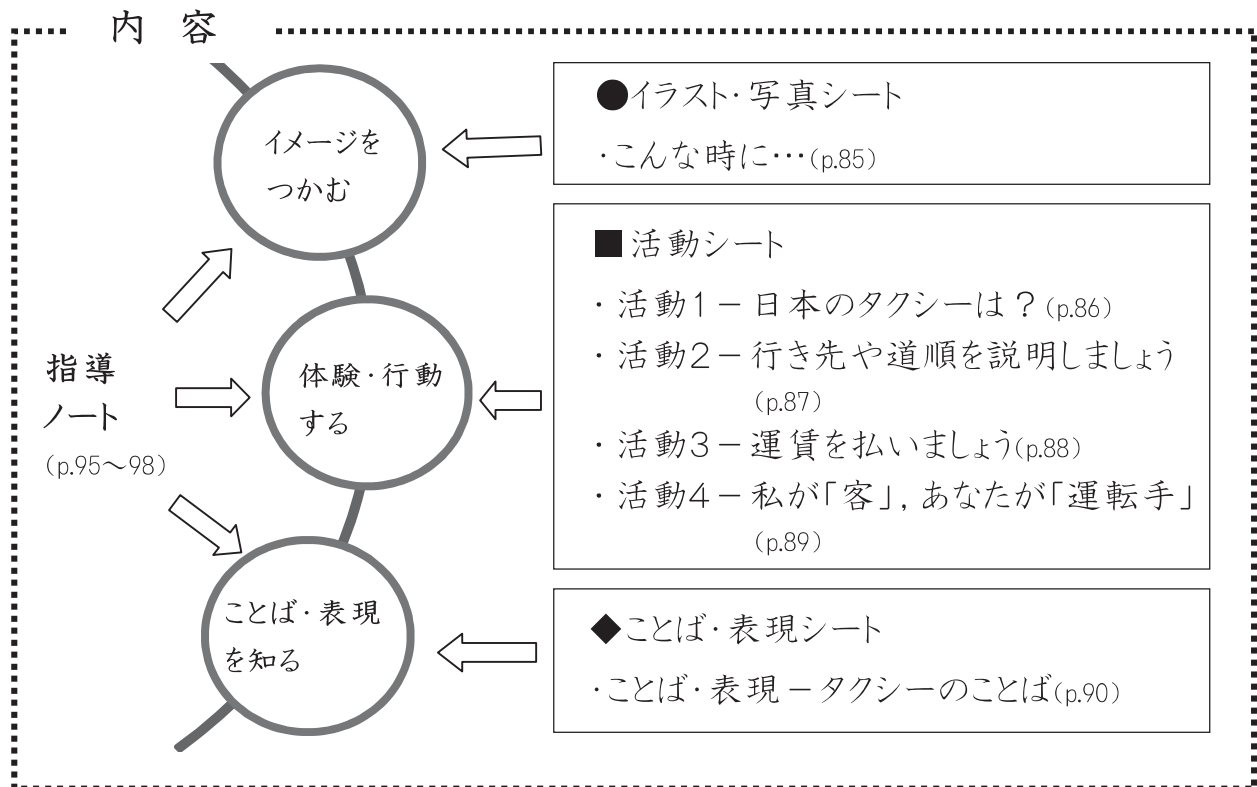
・ことば・表現－駅のことば・バスのことば(p.83)

- ・ 「①イメージをつかむ」で出てきた単語，あるいはよく使われそうな単語については，「ことば・表現シート」で確認しましょう。また場合に応じて必要な単語を導入してください。
- ・ 「改札口」や「特急」「急行」「自由席」など，駅や列車では特に漢字を見て意味が分からないと困ることが多いものです。初級者でも漢字を見てすぐ意味が分かるようにしておくといでしょう。
- ・ 図書館で乗り物の写真絵本など借りてきて，それを見せながら語彙を増やしていくのも楽しいものです。

発展的な活動

- ・ 車内放送や構内放送を聞き取るのは外国人にとって，なかなか難しいものです。決まり文句も多いので，ポイントだけでも聞き取ればかなり助かることでしょう。学習者の身近な交通機関に実際に指導者が乗って車内放送を録音し，教室でそれを聞かせてポイントを聞き取る練習をしたり，書き起こして穴あき問題を作成し，その部分を聞き取る練習をしたりなど，学習者の日本語レベルによっていろいろ工夫してみてはいかがでしょうか。

たくしー りよう (11) タクシーを 利用する



取り上げる生活上の行為の事例

- (1101070)「道路でタクシーを止める」
- (1102040)「行き先を告げる」
- (1103060)「運賃を聞き取り，支払う」

教室活動の目標

- ・タクシーを利用して目的地に行く

教室活動のねらい

- ・日本のタクシーについて知る
- ・手を挙げてタクシーを止めたり，タクシー乗り場で乗ったりできる
- ・目的地を伝えてそこに行ってもらうよう依頼できる
- ・タクシーメーターの運賃を読み取ることができる
- ・支払いに必要な運転手とのやり取りができる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(1101070)「道路でタクシーを止める」

(1102040)「行き先を告げる」

(1103060)「運賃を聞き取り, 支払う」

教室活動の目標

－タクシーを利用して目的地に行く。

教室活動のねらい

- －日本のタクシーについて知る。(活動1)
 - －手を挙げてタクシーを止めたり, タクシー乗り場で乗ったりできる。(活動2～4)
 - －目的地を伝えてそこに行ってもらよう依頼できる。(活動2～4)
 - －タクシーメーターの運賃を読み取ることができる。(活動2～4)
 - －支払いに必要な運転手とのやりとりができる。(活動2～4)
- ・ 学習者が日本でタクシーを利用するのは少々勇気がいることかもしれません。目的地まで電車やバスでは行きにくいとき, 荷物が多いとき, 急ぐとき, または緊急のときに備えてタクシーを利用できる自信があれば心強いでしょう。
- ・ ここでは, タクシーに代わる自国の乗り物をお互いに紹介し合うことで, タクシーのイメージを学習者に引き寄せ, 同時にお互いの文化の違いを尊重し認め合う活動から入ることを提案しています。自国と比較しながら始めると, 学習に入りやすくなると考えるからです。

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・こんな時に…(p.85)

- ・ イラスト・写真シート「こんな時に…」(p.85)を見せて, 日本のタクシーに乗ったこと

があるか、どんなときにタクシーに乗りたいか、など質問(質問例参照)をしながら、学習者が話し合うことから始めてみましょう。

日本の車は左側通行であること、運転席は右ハンドル、ドアは自動で開閉、乗るときは後ろの席に乗り、人数が多くなるときは助手席にも乗るなど、日本のタクシー事情も同時に伝えるといいでしょう。都会では道路を「空車」で走っているタクシーが手を挙げて呼べば利用できること、駅前などに「タクシー乗り場」があること、電話をかけてタクシーを呼ぶことなど、タクシーの利用法も説明が必要でしょう。

そのほか、シートベルトをすること、運賃メーターのこと(初乗り運賃は決まっていますが、あとは一定の距離や経過時間ごとにプラスされることなど)、深夜料金があること、タクシーを呼んだときはその分の料金がかかること、一方、通常サイズのトランクやベビーカー程度の荷物なら別料金はかからないことなども話しておくといでしょう。

< 質問例 >

「日本で、タクシーに乗ったことがありますか。」

「どんなときにタクシーに乗りたいですか。」

「日本でタクシーに乗りたいとき、どうしますか。」

(タクシー乗り場で乗る / 道路で車をひろう→手をあげる)

「あなたの国ではタクシーに乗るときどうしますか。」

「あなたの国のタクシー運賃はどのように決まっていますか。」

「タクシーに乗るとき、何か困ったことがありましたか。」

体験・行動する

■ 活動シート

・活動1ー日本のタクシーは？(p.86)

- ・ 国によって、タクシーに相当するいろいろな乗り物があるようです。ここでは日本のタクシーの利用のしかたに入る前に、自国の(タクシーがわりの)乗り物について紹介しましょう。イラストの質問例も参考にして話し合うことが、自国と日本の違いをお互いの国の事情を理解する手がかりとなるでしょう。
- ・ 日本に来て間もない学習者には、絵を描いてもらったり、その絵を使ってこちらから「大きいですか、小さいですか」「男の人ですか、女の人ですか」など簡単な質問をしたり、「運転手」「ハンドル」などの語彙を提示するなどして参加できるようにするとよいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－行き先や道順を説明しましょう (p.87)

- ・会話例1「行き先を告げる」(p.87)では、行き先をはっきり言えるようになることが大切です。ここでは学習者の行きたい場所を入れて、「～までお願いします」の言い方を十分に練習してください。
- ・行き先がどうしても通じないときは、あらかじめ紙に書いておいてそれを見せるということも確実な手段です。公の場所ではないところは、住所を書いておくと安心です。
- ・会話例2「目的地まで案内する」(p.87)では、自宅まで帰る場合など、近くの目印になる場所(公共の建物や神社など)も一緒に告げたり、目的地に近くなったときには、「右に曲がってください」「まっすぐ行ってください」などの表現を使って説明できるようにすることを練習します。
- ・応用練習として、道を示した大き目の地図を用意しておき、指導者が目的地に向かって車を地図上で動かし、学習者がその車に乗っていると仮定して、道案内をするのもよい練習になります。(但し、会話例2まで行うかどうかは、学習者の日本語レベルに応じて判断してください。)

体験・行動する

■活動シート

・活動3－運賃を払いましょう(p.88)

- ・会話例1「運賃を聞き取って払う」(p.88)では、運転手が「〇〇円です」「〇〇円になります」と言うのを聞き取って支払うことを扱います。おつりのあるときのやり取りも、一つのつながりとして扱うといいでしょう。また、客のことは「ありがとう」「お世話さま」「どうも」など簡単なお礼の表現まで扱うのが適切でしょう。
- ・会話例2「運賃メーターを見て支払う」(p.88)では、運賃メーターを取り上げています。実際には、運賃メーターに運賃が表示されるのが普通ですから、運転手のことばの聞き取りに頼らなくても大丈夫です。会話例2は、運転手のことばを待たずに、客が自分で運賃を読み取って支払いを始める場合の例です。おつりのやり取りや最後のお礼などは、会話例1と共通する内容です。

体験・行動する

■活動シート

・活動4－私が「客」、あなたが「運転手」(p.89)

- ・活動3まででは、学習者は「客」の立場での表現を試しました。それを踏まえて、ここでは、学習者が運転手の立場や表現も経験できるようなロールプレイを取り入れてみましょう。
- ・p.89 には、道路でタクシーを止めて乗る一連のロールプレイが示してあります。ここでは実際に動いてやってみてください。
- ・いすを縦に二つ並べてタクシーの運転手と乗客の座席にしてはどうでしょう。運転手役は帽子をかぶって紙皿をハンドルに見立てて運転の動作を行うなどして、できるだけ雰囲気作りをすると楽しくできるでしょう。乗るときの声かけは「お願いします」が一番使いやすいでしょう。このロールプレイでは行き先を告げるだけになっていますが、学習者の日本語レベルに応じて会話例2のような場面も入れるとよいでしょう。運賃を払うのもおもちゃのお金を使用するなどして実際にやり取りをしてみてください。実際のタクシーに臆することなく乗れることを目標として意識していきたいものです。

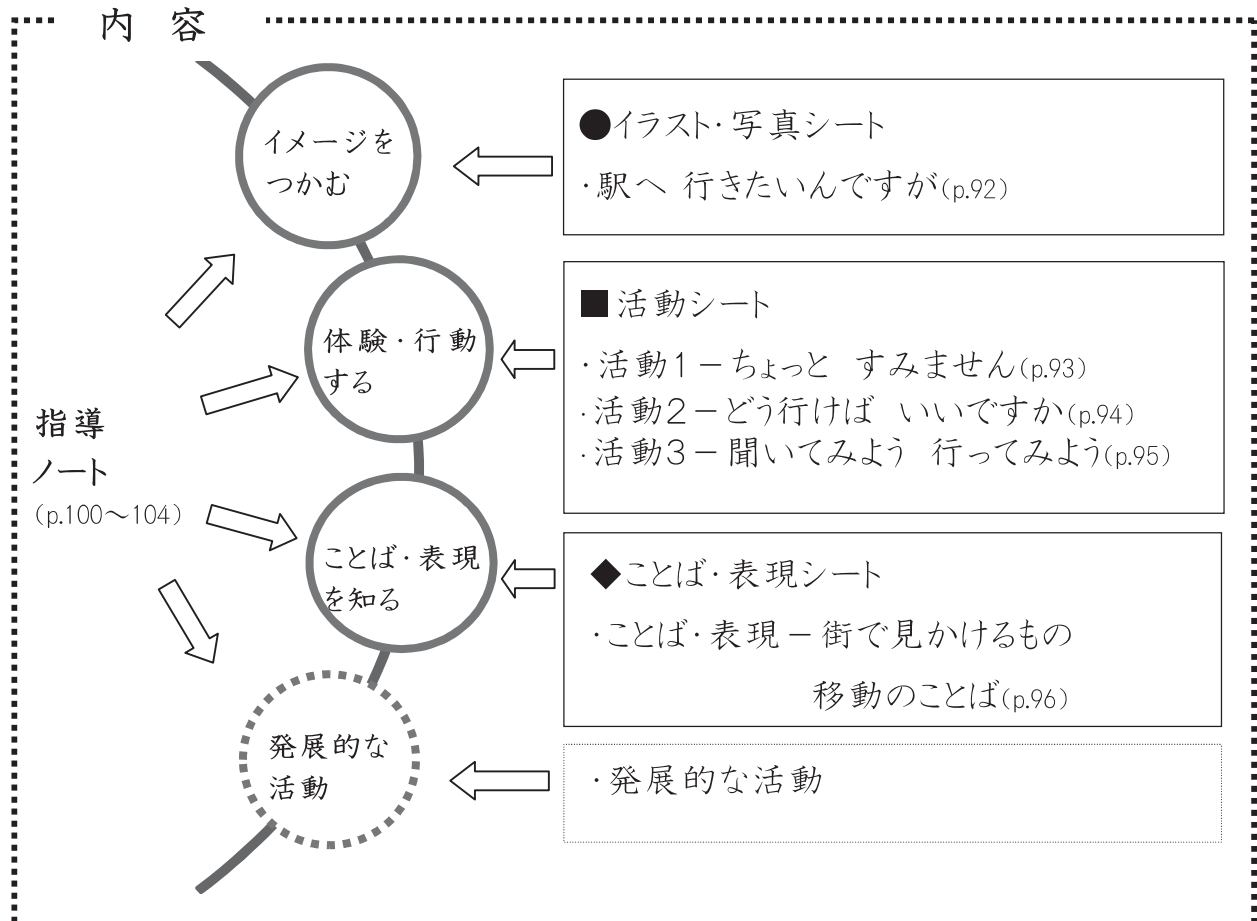
ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－タクシーのことば(p.90)

- ・「タクシーに乗る」という生活上の行為で用いられることばや表現は、他に比べてそれほど多くもなく複雑でもないと言えるでしょう。導入で見た「こんな時に…」のイラスト・写真(p.85)や、「活動1－日本のタクシーは？」から「活動4－私が「客」、あなたが「運転手」」までで扱うことばや表現で、基本的な範囲はカバーできると思われます。
- ・p.90 にイラスト・写真を添えて挙げた単語や表現を活動の中で具体的に使う練習やロールプレイを心掛けましょう。
- ・そうした中で留意したいのは、タクシーを利用する際に頻繁に使いそうなことばです。たとえば「〇〇までお願いします」「まっすぐに行ってください」「〇〇(右/左)に曲がってください」「そこで止まってください」などの言い回しや、「信号」「交差点」「シートベルト」「空車」などの単語を取り立てて扱う必要があります。

とほ いどう (12) 徒歩で 移動する



取り上げる生活上の行為の事例

(1204040)「目的地までの道を尋ねる」

教室活動の目標

・分からない場所を人に聞いて目的地に行く

教室活動のねらい

- ・人を呼び止めることができる
- ・目的地までの道を尋ねることができる
- ・説明内容を聞いて理解することができる

指導ノート

・取り上げる生活上の行為の事例

(1204040)「目的地までの道を尋ねる」

教室活動の目標

－ 分からない場所を人に聞いて目的地に行く。

教室活動のねらい

- － 人を呼び止めることができる。(活動1, 活動2, 活動3)
 - － 目的地までの道を尋ねることができる。(活動1, 活動2, 活動3)
 - － 説明内容を聞いて理解することができる。(活動1, 活動2, 活動3)
- ・ 海外の知らない土地で、目的の場所が分からないのは、とても心細いものです。不自由な日本語で道を聞くのは、少し勇気がいることかもしれません。しかし、失敗は成功のもと、思い切ってやってみれば、案外うまくいくものです。分からなければ何度でもやってみればよいのです。そのこと自体で学習者の日本語は伸びていくもの。道を聞いて、生きた日本語学習を！そのように学習者の背中を押してみてはいかがでしょうか。

活動前に確認しておくこと

- － 日本語教室のある地域あるいは学習者の生活圏内にある店や施設などの位置を調べておく。

準備する素材

- － 会話練習で使用するための大きく簡単に書いた町の地図(仮想でよい)
- － 授業の展開に応じて、学習場所周辺の簡単な地図の拡大コピーなど
- － 学習場所のある地域の店や駅・停留所、施設などの写真

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

駅へ行きたいんですが（p.92）

- ・「イラスト・写真シート」(p.92)を見ながら、学習者から出てくることばに耳を傾けてください。「車、信号、ここは〇〇？」など、学習者から出てきたことばを拾いながら、信号、横断歩道、交番などの語彙を確認するとともに、この道路を見ている場所はどこだと思うか（※写真は歩道橋から撮りました）、日本では車はどちら側通行か、皆さんの国ではどうか、などと質問を広げていきます。学習者の日本語レベルに応じて、「はい」、「いいえ」で答えられる形にするなど適宜変えてみてください。

< 問いかけ例 >

「日本で道に迷ったことがありますか。」

「もしあれば、そのとき、どうしましたか。」

「知らない人に話しかけると、何と言いますか。」

- ・ さらに指導者が、写真上で歩いていく動きを手で示し、「角を曲がる」、「横断歩道を渡る」「まっすぐ行く」などの表現を、学習者からも引き出しながら、導入、あるいは確認しておきましょう。
- ・ 道案内の表現を聞いて理解できるようにするため、以下のように実際に学習者に動いて体で覚えてもらう方法もあります。

< 例 >

- ・ 広いスペースに、新聞紙を敷いて、角や交差点を含んだ道を作ります。
- ・ 指導者または支援者が「次の角を左に曲がってください。」「まっすぐ行って二つ目の角を右に曲がってください。」など指示を出し、学習者は新聞紙上をその通りに動いて、体感します。

体験・行動する

■活動シート

・活動1ーちょっとすみません (p.93)

- ・ 会話例1(p.93)は、道を尋ねるときの基本的なやり取りを示しています。ここで、切り出し方、尋ね方、お礼のことばが発話できるようにしておきましょう。尋ねる言い方は、いろいろありますが、学習者が一番覚えやすく発話しやすい形でまず練習してください。ここでは相手の説明を聞いて理解できることを目指します。大きく簡単に書いた街の地図(病院、学校、郵便局など目印になるポイントもいくつか入れて)を用意し、始めはそれを示して、学習者に目で確認してもらいながら、説明をいろいろと変えて、やり取りをするとよいでしょう。
- ・ 会話例2(p.93)は、聞き返して確認する場面が入っています。分からなかったり、よく聞こえなかったりした場合は、臆することなく聞き返せるようにしたいものです。学習者が聞き取りに慣れてきたら、意図的に聞き取りにくい言葉を入れたり、スピードを速くするなどして、聞き返しの練習ができるように工夫してみてください。

体験・行動する

■活動シート

・活動2ーどう行けば いいですか (p.94)

- ・ Aさん役の学習者に、自分で考えた目的地(学校、図書館、映画館など)を会話に入れて、経路を尋ねてもらいます。相手役の指導者または地域の支援者が、その目的地の位置を、頭の中でアルファベットのどれかに設定して、そこまでの経路を説明します。学習者は目的地を目指して道をたどります。
- ・ 指導者のほか協力者が複数いる場合は、学習者と1対1で、また指導者一人の場合は、学習者の一人にAさん役をしてもらい、学習者それぞれが指導者の説明にそって、目的地にたどり着く、などやり方を工夫してみてください。道順説明がある程度できる学習者がいれば、学習者同士でやり取りしてもよいでしょう。その際は指導者または協力者のフォローが必要かもしれません。但し、ここではあくまで、聞いて分かることを目指します。

体験・行動する

■活動シート

・活動3－聞いてみよう 行ってみよう (p.95)

・ あらかじめ、学習場所周辺の特定の店や施設など(学習者が知らない場所が望ましい)を調べておき、シートの□にその場所名を入れておきます。学習者には、その場所を目的地として尋ねてもらいましょう。指導者または地域の協力者が道順を説明し、学習者はそれをメモしておきます。メモは自国語で構いません。

()には学習者が実際に行きたいところを入れてもらい、同様に尋ねてもらいます。学習者が行きたいところについて指導者、協力者が仮に知らなかったとしても、知っている学習者がいれば、指導者や協力者が学習者同士のやり取りをフォローする形で関われば、学習者同士の情報交換の場になることでしょう。

- ・ その後、実際に町に出て、ここで得た情報を頼りに目的地まで歩いてみます。
- ・ 道順の説明は、人によって経路も表現もさまざまです。時間の余裕のありそうな日本人に、思い切って声をかけて尋ねてみるのも、実地の練習になります。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－街で見かけるもの 移動のことば (p.96)

- ・ ここでは、家から一歩外に出て街を歩くと目につく交通関連の語彙や生活に欠かせない施設の語彙、移動の表現を取り上げています。道順を説明するときには、目印となる施設や建物の語彙が欠かせません。また道を尋ねる側もこれらの語彙を知らなくては理解できません。ここにあるものはほんのわずかにすぎないので、街中で目につくものはどんどん覚えて自分のものにしてほしいところです。
- ・ 道順説明でよく出てくる「ひとつめ、ふたつめ」「1本目、2本目」などの言い方も紹介しておくといでしょう。
- ・ 学習者と街に出て、移動の表現(「角を曲がる」「交差点をわたる」など)を発話しながら、ことば集めをするのも楽しいものです。

発展的な活動

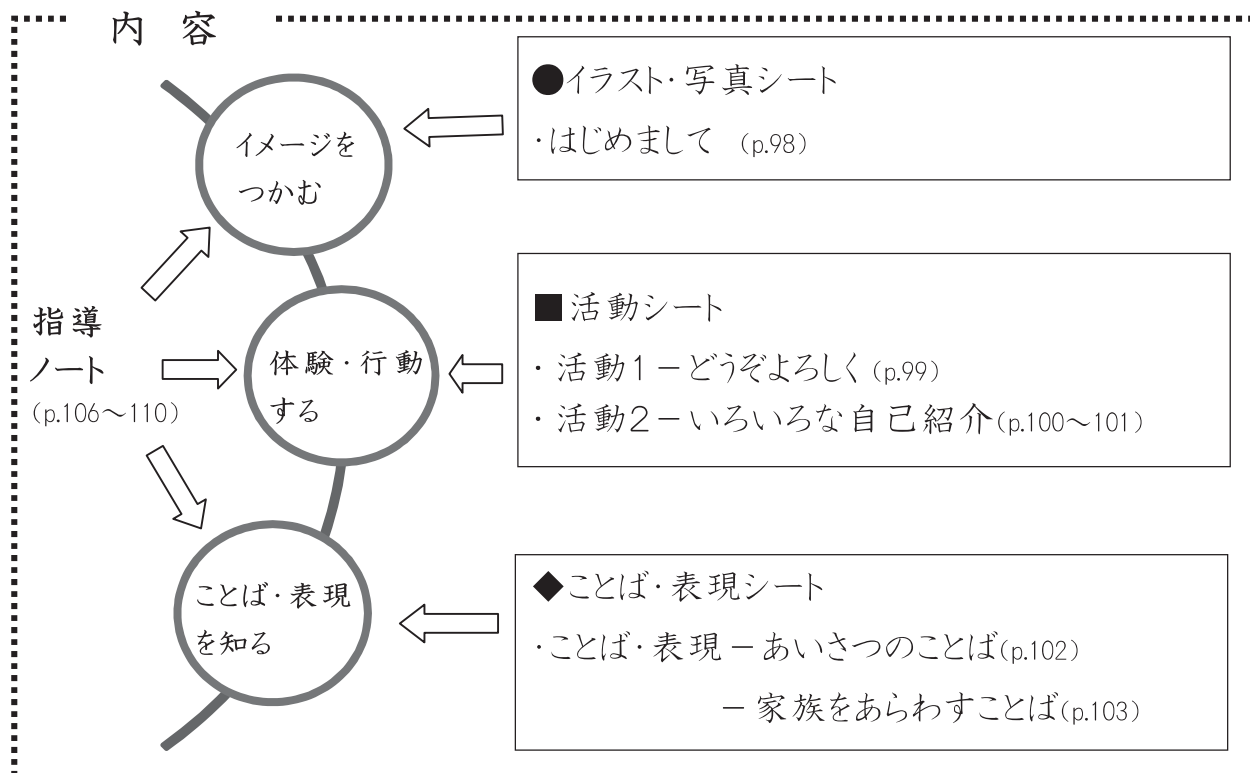
- ・ ここでは基本的に、道順は聞いて分かるようになることを目標としていますが、余裕があれば、その上の段階として、道順を説明することにもチャレンジしてみましょう

う。

例1) 学習場所周辺の学習者がよく知っていそうな店や施設の写真を提示して、そこまでの経路を説明してもらう。

例2) 自宅の最寄り駅から自宅までの経路を説明してもらう。

(31) ^{ひと つ あ}人と付き合う



取り上げる生活上の行為の事例

- (3102010)「自己紹介の仕方を理解する」
- (3102020)「相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する」
- (3102050)「仕事上の公的な自己紹介をする」
- (3102070)「私的な場面で自己紹介をする」
- (3101130)「人間関係のきっかけを作る挨拶をする」

教室活動の目標

- ・自己紹介をすることができる

教室活動のねらい

- ・自分の基本的な情報を伝え、初対面の人と人間関係を築く基礎を作る
- ・挨拶の種類を選択できる
- ・場面に応じた表現を選択することができる
- ・相手の立場に合わせた表現ができる
- ・敬語・丁寧体を適切に利用できる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (3102010)「自己紹介の仕方を理解する」
- (3102020)「相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する」
- (3102050)「仕事上の公的な自己紹介をする」
- (3102070)「私的な場面で自己紹介をする」
- (3101130)「人間関係のきっかけを作る挨拶をする」

教室活動の目標

- －自己紹介をすることができる。

教室活動のねらい

- －自分の基本的な情報を伝え、初対面の人と人間関係を築く基礎を作る。
 - －挨拶の種類を選択できる。
 - －場面に応じた表現を選択することができる。
 - －相手の立場に合わせた表現ができる。
 - －敬語・丁寧体を適切に利用できる。
- ・自己紹介は、自分の基本的な情報を伝え、初対面の人との人間関係の基礎を作るものです。自分自身のことを表現し、自身の社会参加の第一歩でもあります。場面や相手に応じた自己紹介の「型」を紹介するだけでなく、やり取りの中で、その人らしい自己紹介ができるように、一緒に考え、新しい形を作っていくこともよいでしょう。

活動前に確認しておくこと

- －学習者の名前(姓と名がある場合の順序、母語での表記、日本語での発音等)の把握
- －学習者の出身地、現在住んでいるところの地名の把握

準備する素材

- －「イラスト・写真」の拡大コピー(あらかじめ黒板等に掲示)
- －世界地図、日本地図、地域の地図(あらかじめ黒板等に掲示か、必要に応じて掲示)

－ 首からさげる名札(学習者の名前を書いておく)と机に置く名札にするA4用紙

イメージをつかむ

● イラスト・写真シート

・はじめまして(p.98)

- ・ 初回のクラスであれば、自己紹介の文脈は自然に認識されるので必ずしも必要ありませんが、「自己紹介」という概念を可視化するために、イラスト・写真シート(p.98)の拡大コピーをあらかじめ黒板等に掲示しておくとい良いでしょう。
- ・ 初回のクラスで、学習者の多くが日本語のほとんどできない人の場合、「名乗り」(わたしは、〇〇です。)の導入から行う必要があります。
- ・ その場合は、名札(首からさげるものでも、机に置くものを手に持ってでもかまいません)を掲げて行います。まず、指導者が、自分の名札を示し、自分の胸を手で指して、「わたしは、〇〇〇〇です。」と言います。次に指導者は学習者一人一人について、その名札を読むようにして、「この人は、〇〇〇〇さんです。」と言い、「わたしは、〇〇〇〇です。」と言わせるように促します。その学習者に向かって手で「どうぞ」と促しながら、必要なら「わたしは……？」と言葉を添えます。「わたしは、〇〇〇〇です。」と言えたら、大きくうなずいて「いいですね」などと褒めてください。自分の名前に「さん」を付けて、「わたしは、〇〇〇〇さんです。」という学習者もいると思います。「さん」を取って、「わたしは、〇〇〇〇です。」と言い換えて、学習者にまねをさせます。この活動を全員で行います。恐らく、かなり時間がかかると思います。その場合、以下の活動は、可能な範囲で行います。

＜ 問いかけ例 ＞ (※「イラスト・写真」の拡大コピーを指して)

「ここは、どこですか。」

「これは、誰ですか。」

「あなたの国では、初めて会った人とどんな挨拶をしますか。」

「日本で、初めてあった人とどんな挨拶をしましたか。」

「自己紹介はできますか。」

- ・ ここでは、以上が済んでいる学習者の場合として次の活動に進みます。

体験・行動する

■活動シート

活動1—どうぞよろしく(p.99)

- ・ 指導者は活動1「どうぞよろしく」(p.99)を配布します。また、指導者自身がワークシートに記入したのもコピーして配布します。
- ・ 指導者は学習者に「どうぞよろしく」の表現の確認をした後、ワークシートに「【1】名前」と「【2】出身」「【3】家族」「【4】すんでいるところ」を、ひらがなとカタカナを用いて記入してもらいます。
- ・ ごく初期のクラスの場合は、仮名の読みの練習・確認をするステップを入れてもよいでしょう。学習者がひらがな・カタカナが書けない場合は、アルファベット等を用いて書いてもらって指導者が仮名で併記する形で書き込んで示したり、学習者が発した音を聞いたりしてワークシートに指導者が書き込んで示してもよいでしょう。
- ・ ワークシートのそのほかの項目(【5】、【6】)は「より熟達した行動へ」の活動4で利用します。学習者に応じて利用してください。全ての項目について学習者の母語訳は適宜増減してください。
- ・ 指導者は「わたしは〇〇です」「出身は〇〇です」の表現形式を使って、自分のことを述べるモデルを示します。続いて学習者が一人ずつ言っていきます。
- ・ 同様に「家族は〇〇人です」「〇〇に住んでいます」についても行います。
- ・ 全員が終わったら、指導者は、「はじめまして、どうぞよろしくお願いします」の意味の確認をし、動作と一緒に「はじめまして、どうぞよろしくお願いします」「こちらこそ、よろしくお願いします」の表現練習をします。協力者がいる場合は、始めに指導者と協力者がモデルを示すとよいでしょう。協力者がいない場合は、この挨拶表現に慣れていそうな学習者を相手にモデルを示します。その後で、学習者と指導者、学習者同士で動作をしながら初対面の挨拶の練習をします。
- ・ 最後に、クラス(クラス人数が多い場合は、グループ)全体に向けて、自己紹介の挨拶をします。一人ひとりが、「はじめまして、わたしは〇〇〇〇です。出身は〇〇〇です。家族は〇にんです。〇〇に住んでいます。よろしくお願いします」と言って仕上げとします。

体験・行動する

■活動シート

活動シート「どうぞ よろしく」で協力者との交流活動

- ・ 日本語話者(日本人,または日本語でのコミュニケーション力のある外国人)に,協力者として教室に参加してもらい,活動2で学習した表現を使って,実際に自己紹介を行い,また協力者と学習者がペア,あるいは一人対二人か三人で,写真を見せ合いながら対話を行います。協力者に,自分の写真(出身地,家族,趣味があらわれているものなど)を持って来てもらうように,指導者は前もって連絡しておきます。
- ・ 活動1までを初回の授業で終え,交流活動を次の回で行うことが考えられるので,その場合は,初回の活動の最後に学習者にも「次回写真を持って来てください」ということを伝えておくと,より活動が進めやすくなるでしょう。
- ・ 指導者は,学習者と協力者をペア,または小グループに分けます(協力者一人に対して学習者1~3人程度が望ましいが,協力者の人数によって適宜調整してください)。それぞれのペア又はグループで,メンバー同士で自己紹介をしてもらいます。まずは,活動1で学習した表現を使用して,一通り自己紹介ができれば,それぞれに持って来た写真を見せ合いながら,会話を進めるようにします。指導者は学習者と協力者との対話が円滑に展開しているかどうかを見守りながら目配りし,話が進まなくなっているペア/グループにおいては,対話を活性化させるための問いかけを指導者が投げかけるなどし,意思疎通がうまくいくように手助けをします。ただし,学習者側の日本語力によって,表現可能なことを全部使い果たしているようなグループが出たら,全ての協力者が一斉に別のグループへ移動することをお願いします。

体験・行動する

■活動シート

活動2ーいろいろな自己紹介(p.100~101)

- ・ 名前,出身,居住地,趣味,仕事,家族などの中から,学習者の日本語能力,場面や相手に応じて必要な項目,好きな項目を選んで自己紹介ができるようにします。

- ・ 活動シート2「いろいろな自己紹介」に示されている 例1～例4の場面別の例について、指導者は協力者と共に実演し、学習者にそれを観察してもらいます。指導者は「ここはどこでしょうか」「これはだれですか」等、各場面のイラスト等を指しながら質問し、場面や状況の違いについて気付いたことを言ってもらいます。
- ・ ビデオ機器が使える環境であれば、多様な自己紹介(初対面の挨拶)場面のビデオを見せて、さらに観察を促すのもいいでしょう。観察した場面の中で、自分が実際に遭遇しそうな場面を学習者に選んでもらい、例を参考にしながら自分なりの自己紹介をシミュレーションしてみます。

＜参考となるビデオ＞

例1)スリーエーネットワーク『みんなの日本語I 会話ビデオ』「第1課」「第2課」

例2)国際交流基金『WEB版エリンが挑戦！日本語できます』

- ・ 第1課「はじめてのあいさつー教室」

(※基本スキット、応用スキット、大切な表現、やってみよう(名刺交換)、
いろいろな使い方)

・ <https://www.erin.ne.jp/jp/>

例3)国際日本語普及協会『ようこそ！さくら小学校へ～みんななかまだ～』

「1. はじめてのあいさつ ①校長室で ②教室で」

「2. 学校生活と仲間たち ⑧運動会」(保護者とのあいさつ)

例4)国際日本語普及協会『Japanese for Busy People I: The video』Lesson 1

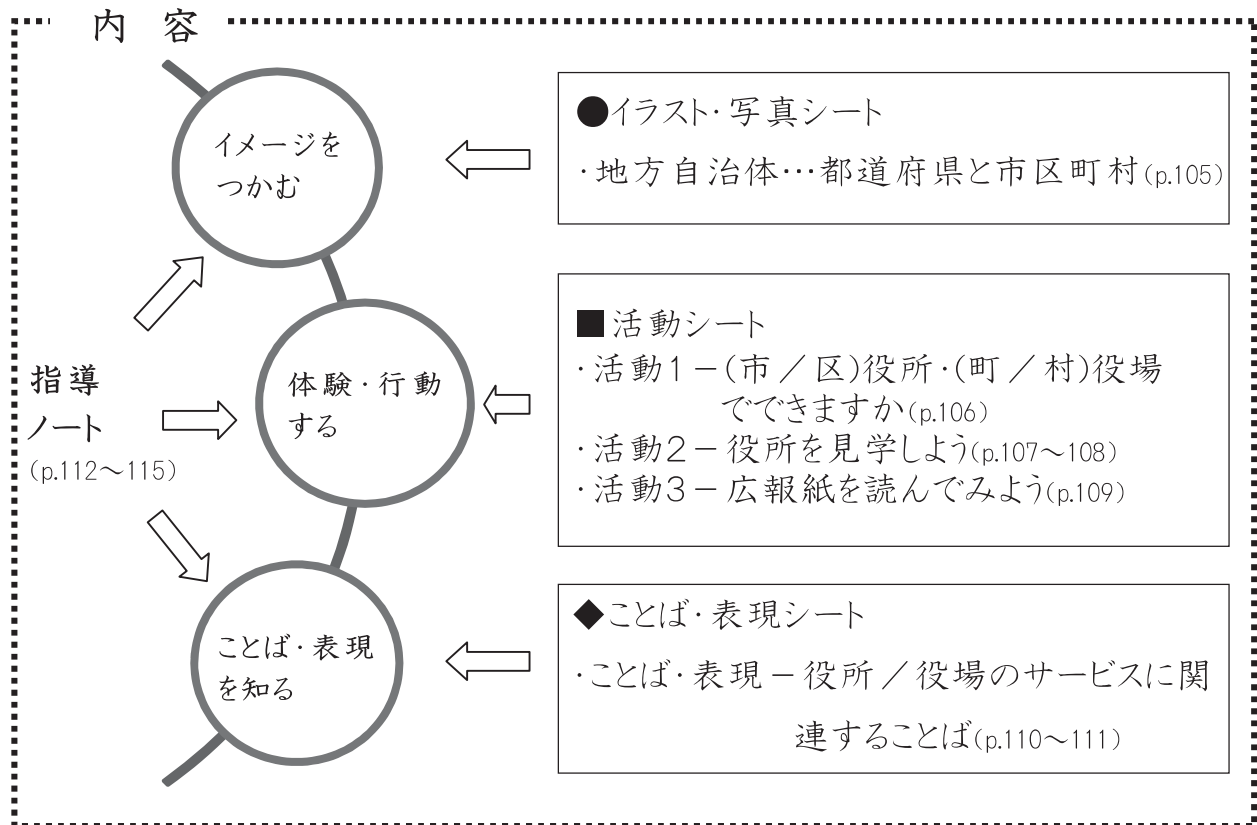
＜社会文化情報＞(指導者、協力者の参考資料として)

・ 文化審議会国語分科会『「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラム案について』

- ・ p.96 「社会・文化的情報 3102010 自己紹介の仕方を理解する」
- ・ p.97 「社会・文化的情報 3102020 相手や状況に応じた自己紹介の仕方を理解する」

じゅうみん て つ づ き

(33) 住民としての 手 続 を す る



取り上げる生活上の行為の事例

- (3301020)「各種手続の種類や内容について理解する」
- (3301080)「役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる」

教室活動の目標

- ・自治体への届出・手続や受けられるサービスを知り, 利用できる

教室活動のねらい

- ・市区町村の役所・役場でできること／できないことを知る
- ・役所・役場にはどのような窓口があるかを理解する

自治体の広報紙から, 必要または有益な情報を得る

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(3301020)「各種手続の種類や内容について理解する」

(3301080)「役所の受付で外国人登録窓口の場所を尋ねる」

教室活動の目標

－自治体への届出・手続や受けられるサービスを知り、利用できる。

教室活動のねらい

- －市区町村の役所・役場でできること／できないことを知る。
 - －役所・役場にはどのような窓口があるかを理解する。
 - －自治体の広報紙から、必要または有益な情報を得る。
- ・「生活者としての外国人」がその地域の住民として暮らしていく場合、さまざまな手続をしたり行政サービスを受けたりすることになり、都道府県や市区町村といった地方自治体との接点が生まれるはずです。法令上必ず行わなければならない手続もありますし、(義務ではないにせよ)生活するうえで有益なサービスもあります。それらは日本語以外の言語で対応できるものも少しずつ増えてきましたので、そういった多言語でのサービスがあることを知っているだけでも生活行動の幅が変わってくるのではないのでしょうか。
- ・(1)役所・役場の窓口で日本語でのやり取りができるようになるのももちろん素晴らしいことですが、それ以上に、まずは(2)役所・役場の窓口で何らかの目標行動を達成できること、そしてそのために必要な(3)知識・情報を(母語または日本語で)得ておくことを目指したいものです。ここでは、そうした教室活動を展開してみましょう。

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・地方自治体…都道府県と市区町村(p.105)

- ・最初にイラスト・写真「地方自治体…都道府県と市区町村」(p.105)を学習者と一緒に見ながら、日本語または学習者の母語などで、以下のようなやり取りを試みましょう。

＜やり取りの例＞

「これは何ですか。日本の地図ですね。都道府県に分かれています。日本に都道府県はいくつありますか。いくつ知っていますか。みなさんは、どの都道府県に住んでいますか。」

「みなさんが住んでいる都道府県には、市区町村はいくつありますか。いくつ知っていますか。みなさんは、どの市区町村に住んでいますか。よく買い物をする店や病院、職場なども、同じ市区町村にありますか。」

「下の写真はどこですか。何をするとところですか。行ったことはありますか。いつ行きましたか。そこで何をしましたか。どうでしたか。」

- ・このようなやり取りを通じて、日本の地方自治体は都道府県と市区町村の2層制(政令指定都市などの場合は3層制)であることを理解しつつ、より身近な自治体としての市区町村の役所／役場と学習者との間で、どのような接点があるかを考えることができるでしょう。学習者自身が持っている行政に関するイメージが整理され、さらに活性化されるだけでなく、指導者が今後の活動展開を考えていく上で、きっと役に立つはずです。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－(市/区)役所・(町/村)役場でできますか(p.106)

- ・「活動1」(p.106)は、市区町村の役所／役場で「できること」と「できないこと」の判別を行う教室活動です。辞書を引くことがスムーズにできる学習者なら日本語のシートのままでも可能ですが、ここでは辞書を使うことが目的ではないので、辞書がうまく使えない学習者の場合にはあらかじめ母語に置き換えたシートでやって

みるといいでしょう。丸数字の左にある「()」は、○×を(予想して)記入するのに使えます。

- ・ 学習者の出身が多様である場合、あるいは日本人の協力者が参加できる場合には、それぞれの事項が出身ではどこでできるかを話し合い、相互理解につなげることもできるでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－役所を見学しよう(p. 107～108)

- ・ 「活動2」(p.107～108)は、実際に地元の役所／役場を見学し、役所/役場で何ができるかを知る教室活動です。このシートには例として宇都宮市役所(栃木県)の片内案内図を掲載していますが、こうした案内図が入手できる場合には事前または事後に目を通して、どこの課で何ができるかやり取りをする展開も可能です。
- ・ 実際の見学に際しては、次のような課題を与えることもできるでしょう。

<課題の例>

- 1) 役所/役場は何時から何時まで開いていますか。休みはいつですか。
 - 2) 住民登録はどこでできますか。
 - 3) 地域の日本語教室についての情報はどこで教えてもらえますか。
 - 4) ゴミの出し方についてのパンフレットはありますか。
 - 5) 広報紙はもらえますか。
- ・ また、後述の「活動3」を先に行い、そこで学習者から出た疑問点を所管の窓口で質問してみるという方法もあります。学習者の生活上のニーズを勘案して、課題をいろいろとアレンジしてみましよう。
 - ・ 安全管理などの観点から、役所／役場の見学には事前に申請が必要な場合もあります。特に、役所／役場の職員に活動の協力者となってもらう場合には、活動の趣旨を含めて事前にきちんと連絡しておきたいところです。

体験・行動する

■活動シート

・活動3－広報紙を読んでもみよう(p. 109)

- ・「活動3」(p.109)は、地元自治体の広報紙を読み取る練習です。このシートには例として一つの記事を取り上げていますが、一つの記事をじっくり読み込むことよりは、むしろ最初に広報紙全体の構成にざっと目を通し、必要または有益な情報がどの辺りにあるか把握することから始める方が、実際の生活場面で行う行動に即していて、より自然でしょう。
- ・日本人の協力者がいる場合には、必ずしも学習者自身が全てを読み込む必要はありません。学習者が分からない点を協力者に尋ねる形や、協力者が学習者の家族構成や日常生活でのニーズ・困難な面を知る仲であれば、やり取りをする中で協力者の側から広報紙の内容を紹介する形なども可能です。

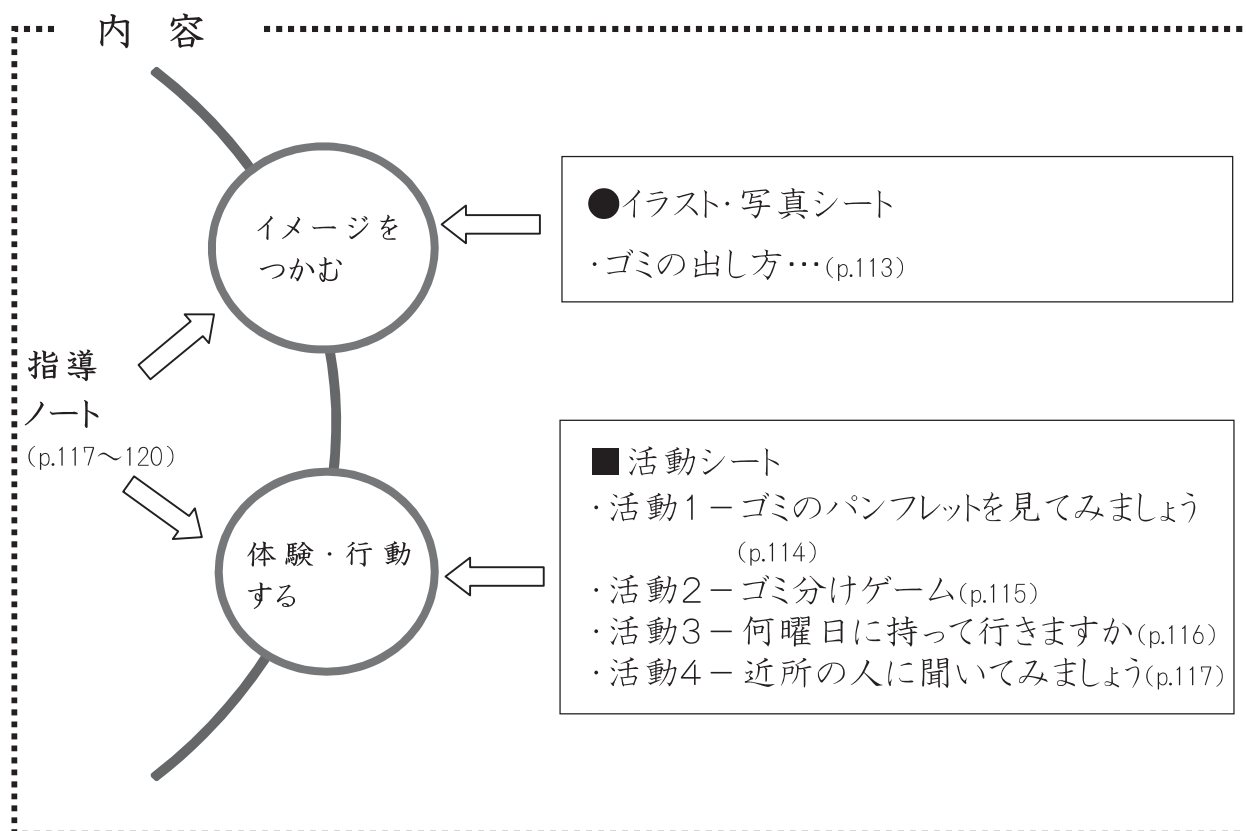
ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－役所／役場のサービスに関連することば(p. 110～111)

- ・「ことば・表現－役所／役場のサービスに関連することば」(p.110～111)は、役所／役場におけるサービスの種類や手続に際して見かける単語を並べてあります。学習者のニーズに応じて適宜確認してください。

じゅうみん まな－まも
(34) 住民としてのマナーを守る



取り上げる生活上の行為の事例

(3401040)「居住地域のゴミ出しについて地域の公共機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する」

(340180)「居住地域のゴミの出しの方法について隣人に質問する」

教室活動の目標

・ゴミ出しの仕方等，住民として地域のルールについての情報を入手・理解する方法を身につける

教室活動のねらい

・生活情報パンフレット，広報，町内の掲示などを読んで，ゴミ出しの仕方を理解することができる

・分からないことを隣人等に質問して確認することができる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(3401040)「居住地域のゴミ出しについて地域の公共機関で発行している生活情報パンフレット等で確認し理解する」

(340180)「居住地域のゴミの出しの方法について隣人に質問する」

教室活動の目標

－ ゴミ出しの仕方等，住民として地域のルールについての情報を入手・理解する方法を身につける。

教室活動のねらい

- － 生活情報パンフレット，広報，町内の掲示などを読んで，ゴミ出しの仕方を理解することができる。
- － 分からないことを隣人等に質問して確認することができる。

活動前に確認しておくこと

- － 学習者の居住地域のゴミの分別方法，出し方のルール
- － 学習者の居住地域のゴミ収集日
- － ゴミの分別や回収方法，リサイクル等について，行政の職員と協働でのワークショップが可能かどうか

準備する素材

- － 学習者の居住地域のゴミの分別方法，出し方のルールについてのパンフレット等。日本語と共に，できるだけ学習者の使える言語のものを準備し，日本語と対照させることができるようにする。
- － 学習者の居住地域のゴミ収集所の掲示板の写真
- － ゴミのサンプル または イラスト（分別の実体験用）

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・ゴミの出し方… (p.113)

- ・ 「イラスト・写真シート」(p.113)のゴミの出し方のパンフレットの例、又は、できれば自分たちの地域でのパンフレットの実物を提示しながら、このパンフレットにはどのようなことが書いてあるか、問いかけ、推測してもらいます。学習者に、普段、どのようにゴミを出しているか（何曜日にゴミを出すか、どこに持っていくか、どのように分別するかなど）を尋ね、話してもらうようにします。

<問いかけ例>

「これは何ですか。」

「どんなことが 書いてあると思いますか。」

「〇〇さんの ところでは 何曜日に ゴミを 出しますか。」

「どこに ゴミを 持って行きますか。」

体験・行動する

■活動シート

・活動1ーゴミのパンフレットを見てみましょう (p.114)

- ① 学習者の住む地域のゴミ出しに関する日本語版のパンフレットと学習者の言語の翻訳版でのパンフレットがあれば、それぞれ学習者に配布します。
- ② 日本語版と翻訳版を照らし合わせながら、ゴミの分別に関する主要なことばの意味を確認します。学習者の言語の翻訳版が無い場合は、イラストや実物等を活用しながら、指導者とのやり取りの中で、意味が理解できるように促します。p.114の表に、学習者の言語で、ことばの意味を記入させます。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－ゴミ分けゲーム (p.115)

- ・ 自分たちの住む地域のルールに従って(パンフレット等から入手した情報に基づいて), ゴミ分けの練習をします。
 - ① 分別用の箱や袋を準備します。当該地域のルールに基づいて, 「燃やすゴミ」「燃えないゴミ」「びん・かん」「プラスチック」などとラベルを付けておきます。
 - ② クラスを2つのチームに分けます(人数によってチームの数は調整)
 - ③ パンフレットで確認した内容に従って, イラスト(記号をつける, 又はカード状に切り分ける)や実物をそれぞれの箱や袋に分別して入れます。
 - ④ それぞれのチームの分別の結果を確認します。
-
- ・ 自治体の行政職員でゴミの捨て方などを担当している人にもあらかじめ連絡を取って参加してもらい, 審判をしてもらったり, 分別に迷うものについて解説してもらうのもいいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動3－何曜日に持って行きますか (p.116)

- ・ ゴミ集積所(ゴミステーション)の掲示を見て, 何曜日にどの種類のゴミを出すのかを読み取れるようにします。
-
- ① 学習者に活動シートを配布します。
 - ② まずは, シートに掲載した写真を見て, 右のイラストのごみの回収日はいつか(何曜日か)を, 学習者に考えて記入してもらいます。
 - ③ 学習者に, 自分の住まいの近くの集積所の写真を, 次回までに撮ってくる(携帯メールなどで)か, または, 書き写してくるよう伝えます。
 - ④ 次の回で, 学習者が持参した写真(またはイラスト)を, 互いに見せ合い, それぞれの地区での, 回収日の違い, 掲示の仕方等についての違いを話し合いながら比べ, 発表すると面白いでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動4ー近所の人に 聞いてみましょう (p.117)

- ・ ゴミを持っていく場所が分からない時に、近所の人に尋ねる会話を、確認します。また、自分が他の人に尋ねられたときに、答えられるようになることも目指します。
- ① 活動4の会話を指導者と学習者で実演をします。協力者がいる場合は、協力者にも参加してもらおうとよいでしょう。
- ② 学習者は2人1組でペアになり、会話の練習をします。「Bさん」の役になった人は、自分の地区でのごみの捨て方を、相手に説明してみます。

【参考情報】

1) 経済産業省 3R政策ホーム(経済産業省が提供するゴミのイラスト素材集)

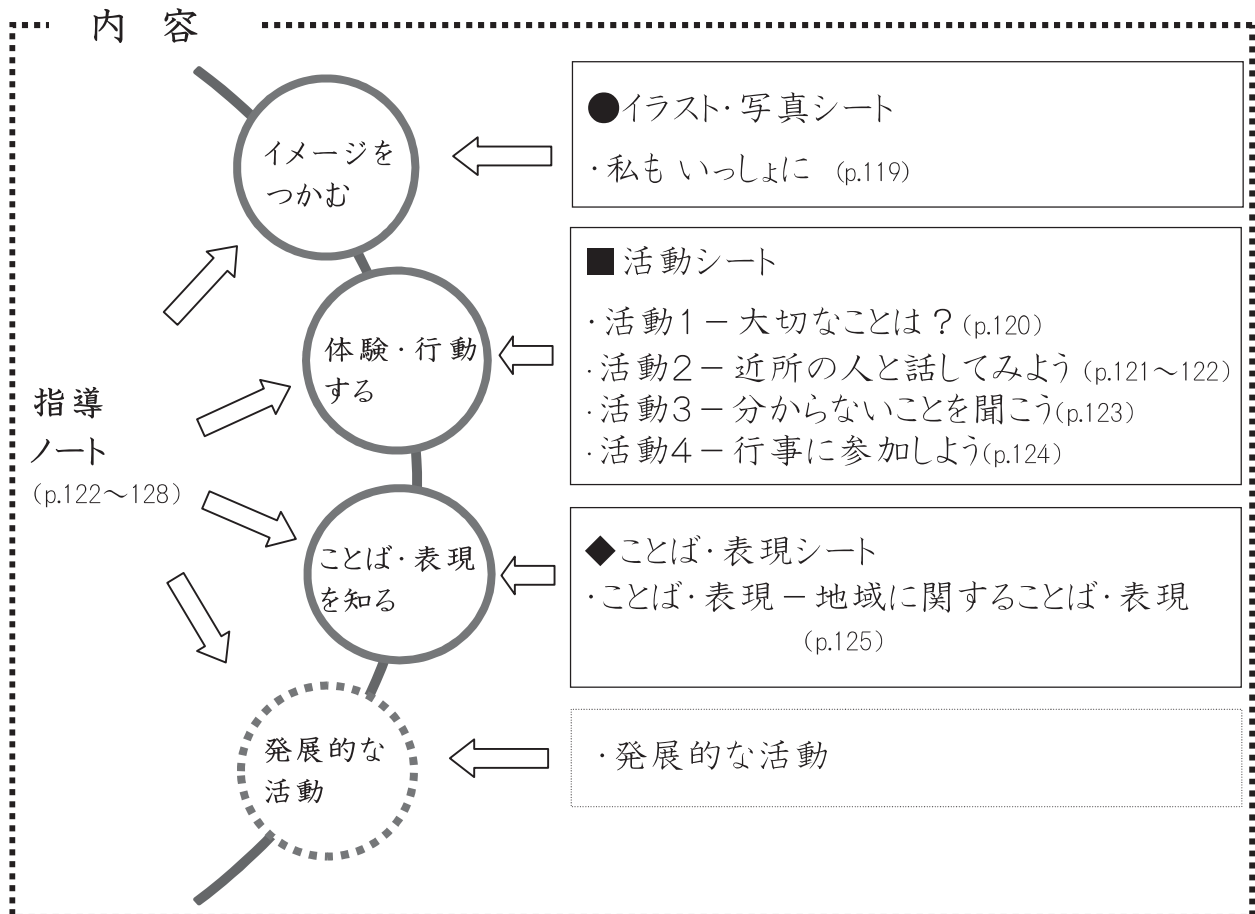
・ <http://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/illust/index.html>

2) ゴミ収集日お知らせサービス 53cal(ゴミカレ) :

・ 全国主要都市のゴミ収集日をカレンダーで確認できます(学習者の居住地区での収集日を確認するのに役立ちます)

・ www.53cal.jp/

ち い き し ゃ か い さ ん か
(35) 地域社会に参加する



取り上げる生活上の行為の事例

(3501050)「自治会の会員になる」

(3501100)「行事に参加する」

教室活動の目標

・地域社会に参加して住民とつながりをもつ

教室活動のねらい

- ・自治会参加の意思を伝えることができる
- ・参加の方法について質問することができる
- ・行事について情報を得ることができる
- ・行事を通じてほかの会員と交流できる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(3501050)「自治会の会員になる」

(3501100)「行事に参加する」

教室活動の目標

－ 地域社会に参加して住民とつながりをもつ。

教室活動のねらい

- － 自治会参加の意思を伝えることができる。(活動2)
 - － 参加の方法について質問することができる。(活動2))
 - － 行事について情報を得ることができる。(活動3 活動4)
 - － 行事を通じてほかの会員と交流できる。(活動4)
-
- ・ 日本に来て間もない外国人にとって、日本社会に溶け込むきっかけは見つけにくいものです。長年日本に住んでいる外国人でも、人によっては同じかもしれません。自治会に入って、災害に備えて防災訓練に参加したり、夏祭りや町会のバザーなどに協力したりすることで、多くの住民とつながることができるでしょう。ここでは、そのための足掛かりを提示しています。また自治会主催のほかにも、商店街や地域の学校主催の催し、区や市が主催するフェスティバルなど、様々な地域の取り組みをここで紹介しておく、よいでしょう。
 - ・ 地域によって、多言語での生活情報の冊子や災害対策の冊子を発行しているところが増えています。そのようなものがあれば、地域の出張所などに置いてあるので、学習者に配布し、何がどこに書いてあるかを皆で確認しながら一度目を通しておく、役に立つでしょう。

活動前に確認しておくこと

- － 地域の自治会の活動内容
- － 地域の防災訓練などの日程
(外国人向け防災訓練や防災教室がある自治体もあります)
- － 自治会主催以外の地域の催し

準備する素材

- － 学習者の居住地域の自治体が発行している地域の多言語情報誌など
- － (もしあれば)地域の自治会入会申込書
- － 地域のお知らせ情報(街の掲示板のお知らせや回覧板のお知らせなど)
- － 活動1で使用する台形のカード(画用紙または厚紙で、学習者一人につき6枚ずつ)

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
私も いっしょに (p.119)

- ・ 「イラスト・写真シート」(p.119)を見せて、それぞれ、何をしているのか、見たことがあるか、どんな人たちが参加していると思うかなど聞いてみましょう。服装や周りの様子などから、季節を想像してもらってもいいかもしれません。ほんの一部ではありますが、年間を通していろいろな活動があることが見えてきます。しばらく、「イラスト・写真シート」(p.119)について、やり取りした後で、これが自治会または町会(町内会)の活動であることを伝えてください。そして、学習者が地域の人たちと現在どのような関係にあるか、話してもらいましょう。さらに可能であれば、自国の町で自治会のような組織があるか、または住民同士のつながりはどのようになっているかなどについて聞いてみてはいかがでしょうか。

< 問いかけ例 >

- 「近所の人に挨拶しますか」
- 「近所の人と話しますか。どんなときに話しますか。何を話しますか。」
- 「あなたの町で盆踊りやバザーなど見たことがありますか」

「町の盆踊りやお祭り，防災訓練に参加したことがありますか」

「あなたの国では町会がありますか。」

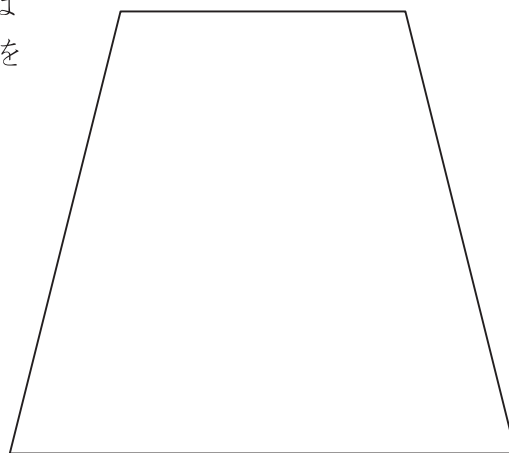
「あなたの国では町でどんなことをしますか。」

体験・行動する

■活動シート

・活動1－大切なことは？（p.120）

- ・ここではまず，地域住民とつながることによって，どんないい点があるかを考えることで地域社会への参加の動機付けを行います。近所の人と知り合いになっておくと，日常生活でのちょっとしたやり取りで，住みやすい環境作りができるとともに，防犯や，いざというときにも心強いものです。また地域住民との絆は，地震など災害が起こった時の物心両面での支えにもつながります。
- ・地域住民とよりよい関係を築くためのイメージトレーニングとして，個々に何が大切かを考えてもらいます。完成したら，ほかの学習者のものと比べ，簡単な意見交換をすることで，コミュニケーションで大切なことを意識してもらうことを目的としています。もちろん，日本語初級者にとって，カードに思っていることを書くことは難しいでしょう。「笑顔(smile)」，「ゆっくり(slow)」，「はっきり(clear)」，「目を見る」など簡単な言葉，あるいは絵でも構いません。意見交換と言っても，自分が大切だと考えていることが身振り手振りでも伝えられればそれでよいでしょう。指導者や協力者もいっしょに参加するつもりで進めてください。
- ・学習者一人につき6枚ずつ，画用紙または厚紙で作成した台形のカード(右図参考)を配布してください。並べ方など示すために，一組余分に作成しておくといよいでしょう。



体験・行動する

■活動シート

・活動2－近所の人と話してみよう(p.121～122)

- ・ここでは、近所の人とのちょっとした会話の場면을提示しています。ゴミ出しのときと相手の家に自国の料理を持って行ったときの会話が表示していますが、このほかにも、店や駅で会ったとき、回覧板を回す時など、会話の場面はいくつもあるので、様々な場面を設定して、会話を練習してみてください。
- ・会話例1では、自治会参加の意思を伝えています。この後の流れとして、自治会役員の人を訪ねてきて、簡単に自治会の説明(会費など)をし、学習者は申込書の記入を求められて記入する、その際、分からない部分を聞く、そのほかに聞きたいことを質問する、などのタスクが考えられます。必要に応じて、会話練習を行ってください。自治会の入会方法は地域によって様々で、自治会の役員や町会長に直接連絡すればそれでよいというところもあるようです。申込書を記入する場合も、フォームは一定ではありません。ただ、基本的な住所、氏名、電話番号、日付はいつでも書けるように、しておきたいものです。一例として以下のフォームをあげておきますので、ここで練習しておくといよいでしょう。

自治会加入申込書

平成 年 月 日

自治区長 殿

世帯主氏名			
住所			
電話番号		世帯の 人 数	人

自治会に加入したいので、申し込みます。

この申込書では、日付は元号で書くようになっています。西暦のほか、元号でも書けるようにしておくといでしょう。自治会は世帯単位で入るところが多く、その場合は世帯主、世帯人数を書くようになっています。「世帯」という語彙も、押さえておいてください。地域の自治会の加入申込書がもし手に入れば(インターネットからダウンロードできるようになっているものもあります。), 実際にそれに記入してみるといでしょう。

- ・ 自治会は、地域住民の自主的な意思に基づき、地域を快適で住みよくするために結成された任意の団体で、コミュニティ作りの中心的な存在です。加入は強制ではないとはいえ、ゴミの収集や防犯パトロールなどその地域に住む限り、多くの恩恵にあずかっています。
- ・ 学習者がその地域住民とつながりを持つことが日本社会で生活していく第一歩であり、自治会加入はその足掛かりとなります。

・ 会話例2では相手の家を訪問する場면을提示しています。自国の料理を持って行くほかに、果物や食材など、自国からたくさん送られてきたり、友だちからもらったりしたものをお裾分けする場面なども考えられます。また、分からないことを聞くために隣の家を訪ねることもあるかもしれません。訪問時の挨拶、話題、終わりの挨拶の流れがスムーズにいくように、必要と思われる場面をいくつか設定して、練習してみてください。

多言語情報例

文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

p.61 自治会

体験・行動する

■ 活動シート

・ 活動3－分からないことを聞こう (p.123)

- ・ 町の情報は、チラシやポスター、回覧板など、書かれたものが中心です。ここでは、それらを見て分からないことを臆することなく聞けるようにすることを目指しています。
- ・ 「秋まつりのお知らせ」を見て、学習者にまず何が書いてあるか推測してもらいましょう。学習者が分かるのは恐らく、日付と時間の部分くらいではないでしょうか。漢

字が分からなくても、例えば、これは開催場所だということが分かれば

- ・ (2)で実際に行事に参加する際、どのような行事でも構いませんが、できれば防災訓練や清掃ボランティアなど、日本人とコミュニケーションする場面が多くある行事の方が地域住民とつながりを持ちやすいでしょう。学習者が一人で参加するのが心細いようであれば、友だちといっしょに参加することを勧めてみましょう。外国人の方の参加は地域住民に大いに歓迎されるに違いありません。そこで日本人とコミュニケーションして、お互いに知り合いになれば、学習者も大いに自信が持てるのではないのでしょうか。とにかく参加したことで、大きな第一歩を踏み出したと言えるでしょう。
- ・ (3)は全ての学習者が一通り行事の参加を体験してから行います。いつ、どこで、どんな行事に参加したか、そこで何をしたか、日本人とどんなことを話したか、参加してどう思ったかなど、話し合うとよいでしょう。学習者の日本語レベルに応じて(初心者レベルの学習者であれば、絵を描いたり、身振り手振りを取り入れるなど)、適宜対応してください。同じ外国人として、地域とつながりを持つヒントがお互いに得られるのではないのでしょうか。

ことば・表現を知る

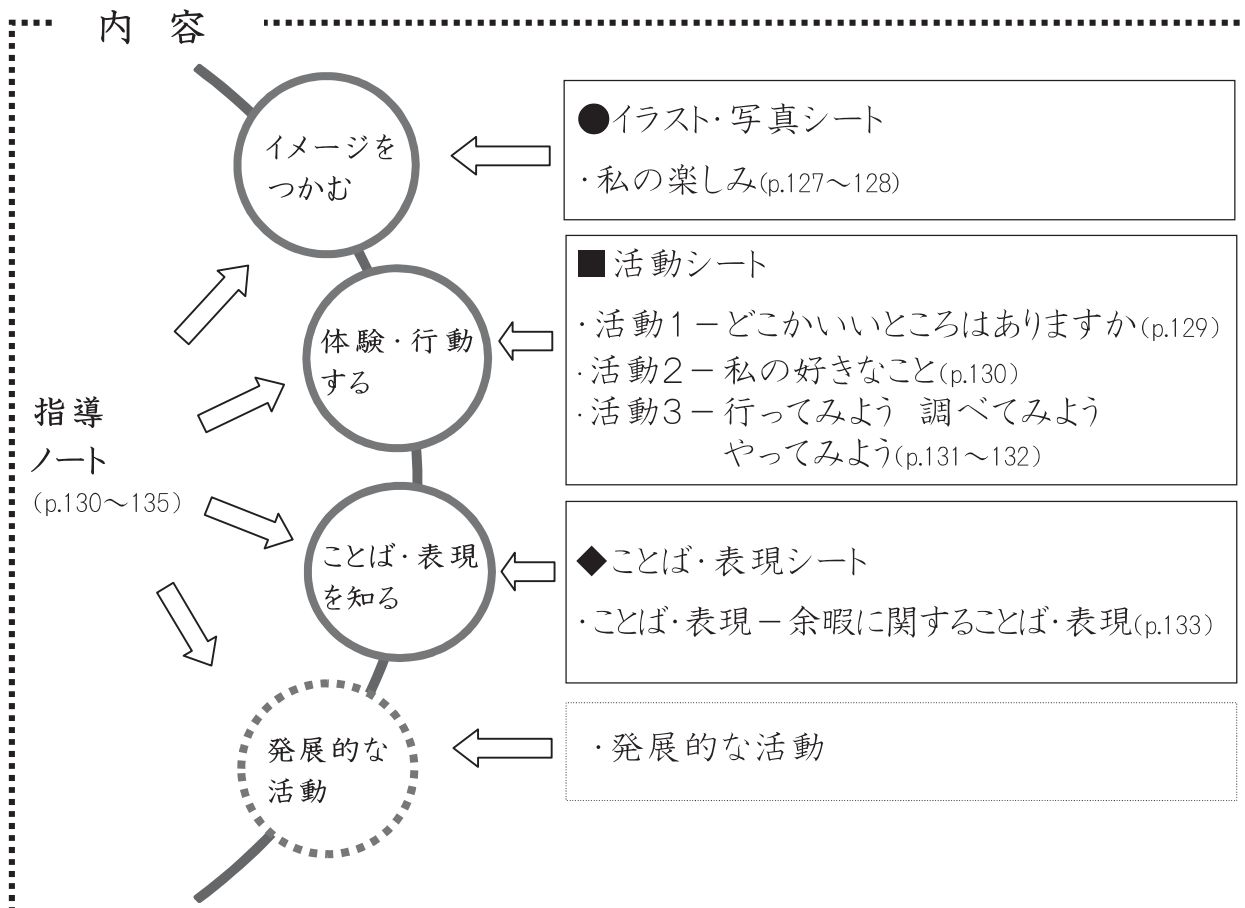
◆ことば・表現シート

- ・ ことば・表現－地域に関することば・表現(p.125)
- ・ ここでは自治会(町会)の行事に関することば、お知らせなど印刷物によく出てくることばや表現を中心に取り上げています。ほかにも授業中の学習者との会話や印刷物などで出てきたことばなどもよく使われるものはここで学習しておきましょう。「～する」といように最後が「する」で終わる動詞が多く出てくるのも特徴です。

発展的な活動

- ・ 活動4では、地域の行事に参加して、地域住民とつながりを持つことを目指しました。地域住民とつながりが持てたら、今度はさらに一歩進んで、行事に積極的に関わってみることを勧めてみてはいかがでしょうか。(例えば、バザーのときに国の料理を作って売ったり、盆踊りの会場作りをしたりなど。)
- ・ 地域住民との様々な交流は、学習者の日本での生活を豊かにしてくれることでしょう。

よ か た の (44) 余暇を楽しむ



取り上げる生活上の行為の事例

- (4401010)「余暇を過ごす場所や利用方法を知る」
- (4401070)「適当な人からアドバイスをもらう」
- (4402080)「同僚や周囲の人からの口コミ情報を得る」
- (4403030)「公共施設の利用方法を尋ねる」

教室活動の目標

- ・情報を得て、余暇を楽しむ

教室活動のねらい

- ・外出や余暇の計画について人に相談できる
- ・知人の話から必要な情報を取ることができる
- ・地域の公共施設で、自分の希望を伝え、説明の内容を理解することができる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

- (4401010)「余暇を過ごす場所や利用方法を知る」
- (4401070)「適当な人からアドバイスをもらう」
- (4402080)「同僚や周囲の人からの口コミ情報を得る」
- (4403030)「公共施設の利用方法を尋ねる」

教室活動の目標

- －情報を得て、余暇を楽しむ

教室活動のねらい

- －外出や余暇の計画について人に相談できる。(活動1)
 - －知人の話から必要な情報を取ることができる。(活動1, 活動2, 活動3)
 - －地域の公共施設で、自分の希望を伝え、説明の内容を理解することができる。(活動3)
- ・ 学習者たちは余暇をどのように過ごしているでしょうか。仕事で疲れて一日中寝たり、掃除やたまった洗濯をしたりして、自分の楽しみを持つ余裕などないかもしれません。ここでは余暇をテーマとして取り上げ、世界を広げることを提案します。

活動前に確認しておくこと

- －休みの日などに気軽に行ける場所、観光地
- －公民館や市民会館などで行われている講座や活動
- －公共の施設(図書館、公民館、スポーツセンターなど)の利用方法

準備する素材

- －地域の催しやサークル、講座などが掲載されている情報誌や広報紙など
- －指導者や協力者の趣味を紹介する写真や実物など
- －公共の施設の案内や場所が分かる簡単な地図及び図書館カードの実物など

教室活動の展開の説明

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・私の楽しみ（p.127～128）

- ・ イラスト・写真シートを見せる前に、学習者に休みの日はどのように過ごしているか聞いてみましょう。また、指導者や協力者も自分の休日の過ごし方を話してみるのもいいでしょう。指導者や協力者の話に合わせて、学習者からも自然に話が出てくることでしょう。
- ・ 次に「イラスト・写真シート」(p.127～128)を見せて、これは何か、何をしているところか、このような経験があるかなど聞いてみましょう。また、ほかにどんなことをしたことがあるか、どんなことが好きか、どんなことをしてみたいかなど、話してもらいましょう。

< 問いかけ例 >

「休みの日は何をしますか」

「休みの日にどこに行きましたか」

「何をするのが好きですか」

「時間があったら、何をしたいですか」

体験・行動する

■活動シート

・活動1ーどこかいいところがありますか（p.129）

- (1) まず、始めに学習者それぞれに、休みの日にどこへ行ったことがあるか、どこが良かったか、思い出してもらいます。学習者同士ペアになり、お互いに行ったところ、良かったところを聞き合います。公園でも外国食材の店でも何でも構いません。できるだけたくさん出してもらい、学習者同士共有するといいいでしょう。
- (2) ここでは、自分の希望を伝えて、身近な日本人にお勧めの場所を聞くという会話を提示しています。近くのちょっとした憩いの場所や穴場などはやはり地域の人がよく知っています。このような問いかけは、挨拶などで顔見知りになった日本人と話すきっかけにもなることでしょう。会話例を練習したあとは、指導者または協力者が近所の人役になって、学習者の希望に沿った場所を答えてあげてください。会

話例では、Aさんが「静かなところで」と希望を出していますが、学習者の希望によって、「空気のいいところ」「自然があるところ」「買い物ができるところ」など表現を変えて練習するといいいでしょう。

- ・ 少し話せる学習者同士であれば、会話例でペアワークしたあと、さらに自由に会話を続けてみるのもいいでしょう。おもしろい展開になるかもしれません。
- ・ この会話例では、近場を取り上げていますが、このほかにも遊園地や動物園、水族館、博物館など、また少し足を延ばして日帰り温泉旅行なども写真を見せながら紹介しておいてはいかがでしょうか。学習者から多くの発話が期待でき、また「入場料」や「入館料」「休館日」「交通費」などのことばを覚えるいい機会ともなるでしょう。
- ・ 人を介して情報を得るほかに、地域によっては、出張所や市役所などに多言語の情報誌や、国際交流イベントなどのチラシが置いてあるところもあります。それらを実際に教室で見せても大いに役立つでしょう。また観光案内所によっては、外国人向けの多言語のパンフレットを用意しているところもあります。出張所や市役所、観光案内所などに行って、多言語の冊子やパンフレット、チラシなどをもらってくるというタスクを課し、教室で持ち寄ったものをみんなで読んでみるのも楽しいでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－私の好きなこと(p.130)

- (1) 学習者同士あるいは協力者も含めて、お互いに趣味、または好きなことを聞きます。できれば、好きな理由も聞くとよいでしょう。趣味や好きなことについて話し合うことで、互いに親近感を持ち、理解が深まることでしょう。ここでは「趣味は何ですか。」「どうして〇〇が好きですか。」など質問できるようにしておきましょう。
- (2) このタスクでは、学習者が前もって品物や写真を準備しておきます。したがって数日前の予告が必要となります。

- ・ここでは、品物あるいは写真などを見せながら、自分の好きなこと、趣味を皆に紹介します。紹介すると言っても、品物あるいは写真があるので、そんなに難しいことではありません。例えば、楽器であれば、「これは～です」「音がきれいです」など発話して、楽器を鳴らせばそれだけで聞いている方は楽しいものです。学習者の日本語レベルが高ければ、それだけ詳しい説明ができることでしょう。今、特に趣味などないというのであれば、昔好きだったこと、やっていたことでも構いません。皆に向けて発表する前に、個別に少し練習時間を取ってください。それぞれの学習者に、これがあればもっと分かりやすい、覚えておくと便利な語彙・表現を、ここで個々に覚えてもらいましょう。そして、発表時に皆で共有するとよいでしょう。実物や写真を見ることで、自分もやってみたくなるかもしれません。共感や質問など活発な発話が期待されますので、そこでも大いに日本語の語彙や表現を広げてください。
- ・学習者が発表する前に、まず指導者や協力者が、自分の趣味などを、写真や実物(楽器や作品など)を見せながら、紹介してみるとよいでしょう。学習者が大いに興味を持つとともに、発表の実際が分かり、スムーズに進めることができるのではないのでしょうか。また発話も大いに広がることでしょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動3－行ってみよう 調べてみよう やってみよう (p.131～132)

- ・地域には市民(区民)会館、公民館、スポーツセンター、体育館、運動場、図書館など、さまざまな公共施設があります。ここでは、それぞれの学習者が、自分が行ってみたいところに実際に足をのばし、そこでどんなことができるのかを、開館時間や閉館時刻、休館日なども含めて調べてくるタスクを提示しています。これは基本的に学習者だけで行うことを想定しています。指導者はあらかじめ、各場所の情報を調べておいてください。
- ・出発前に、学習者は自分の調べたいこと、聞きたいことをあらかじめメモ(自国語でも構いません)しておくとい良いでしょう。職員の人に話を切り出す、質問をする、おれを言う、などの流れも簡単に練習しておきましょう。(開館/閉館時刻など、その場に明記してあるものは聞く必要はありません。)

以下に例を示します。

＜「話の切り出し方」の表現の例＞

「ちょっとすみません。」

＜質問の例＞

「ここにはどんなサークルがありますか。」

「ここで、どんなスポーツができますか。」

「初めてでも大丈夫ですか。」

「本は何冊借りられますか。」

＜お礼の表現の例＞

「ありがとうございました」

- ・ 時間があれば、図書館の利用については、指導者または協力者が地域の図書館に同行して一緒に見て回るとよいでしょう。公共施設を利用する手始めとして、図書館カードを発行してもらい、本やCDを借りてみるということをタスクにしてはいかがでしょうか。図書館カードの発行には申込書の記入も必要です。それも含めて、そこで本が何冊借りられるか、どのくらいの期間借りられるかなど、自分でやり取りして聞いてくるというのも、自信につながるでしょう。
- ・ 調べてきたことを発表し合い、学習者同士、情報を共有します。発表例に示した基本的な情報のほか、感想なども入れて発表してもらいたいでしょう。
- ・ 学習者がもらってきた資料を皆で読んでみましょう。日本語で書かれた情報を読み取るのは難しいと思いますが、まず、学習者にできるだけ推測してもらい、その後で、大切な部分をピックアップして内容を取っていく作業に入ってみてください。始めはなかなか推測することも大変かもしれませんが、よく出てくる語彙や表現（漢字が読めなくても、目にするだけでも）に慣れていけば、少しずつ見当がつくようになってくるのではないのでしょうか。
- ・ あらかじめ指導者または協力者が手に入れておいた資料（学習者に有用だと思われるもの、例えば国際交流会のチラシ、日本語教室の案内など）もここでいっしょに読み、情報提供の機会にするとよいでしょう。

- ・ここでは、公共施設を実際に見て情報を取って来るということに重点を置いていますが、パソコンが準備できれば、その後で、指導者または協力者が学習者と一緒にインターネットで検索して、調べてみるのもよいでしょう。
- ・学習者が行ってみたい、してみたい、始めてみたいことがあったら、背中を押してあげましょう。そして、学習者が体験してきたら、どうだったか、ぜひ聞いてみましょう。皆で聞き合えば、互いにいい刺激になり、世界が広がることでしょう。

多言語情報例

例)文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』

P.63～65 「2. カレンダーと年中行事」

P.75～77 「5. 国際交流協会～知る・出会う・学ぶチャンスがそこにある」

P.79～81 「6 公共施設・公共サービス～上手に利用して、楽しく過ごそう」

P.95～113 「2 日本語学習の場所」「インターネットサイトの案内」

ことば・表現を知る

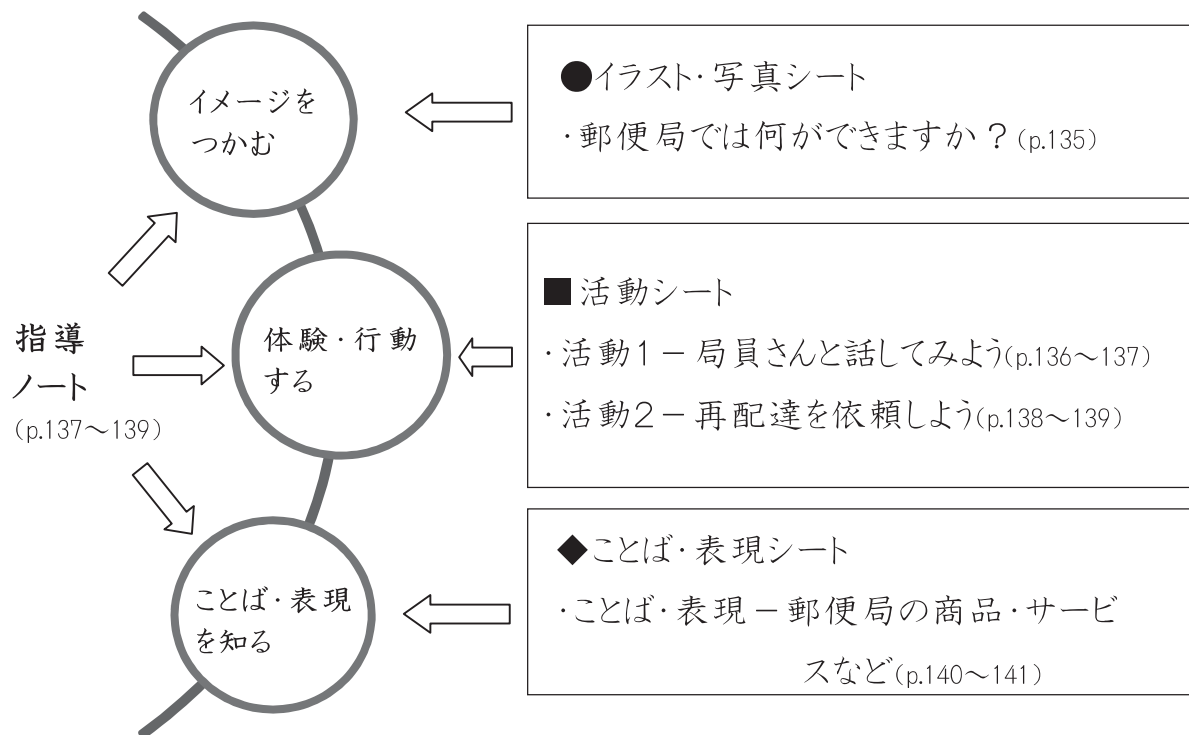
◆ことば・表現シート

・ことば・表現－余暇に関することば・表現(p.133)

- ・余暇に関することばは幅広く際限がないので、ここでは施設の名前、趣味の内容、余暇を利用して行ける場所、施設利用に関することばを中心に上げています。これ以外にも、チラシやパンフレットなどからよく使われるものは取り上げて、覚えるようにするとよいでしょう。

ゆうびん たくはいびん りよう
(45) 郵便・宅配便を利用する

内 容



取り上げる生活上の行為の事例

- (4501020)「郵便局のシステムを理解する」
- (4501100)「手紙や葉書を書いて送る」
- (4501120)「不在配達通知に対応する」

教室活動の目標

- ・郵便局のサービスを知り，必要に応じて利用することができる

教室活動のねらい

- ・切手やはがきなどを買うことができる
- ・手紙や小包などを送ることができる
- ・不在配達通知に対応することができる

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(4501020)「郵便局のシステムを理解する」

(4501100)「手紙や葉書を書いて送る」

(4501120)「不在配達通知に対応する」

教室活動の目標

－ 郵便局のサービスを知り、必要に応じて利用することができる。

教室活動のねらい

- － 切手やはがきなどを買うことができる。
- － 手紙や小包などを送ることができる。
- － 不在配達通知に対応することができる。

- ・ 近年は電子メールやインターネット回線を利用した無料電話の普及など情報通信手段が大きく変わりつつあり、郵便を利用する機会は少なくなっているかもしれませんが、例えば求職の際に履歴書や職務経歴書を郵送したり、お世話になった人や出身の知り合いなどに手紙や小包を送ったりする場合もあるでしょう。また、自分自身では送らなくても、誰かが送ってきたものを受け取る可能性もあります。そのようなときに、どう対応すればいいでしょうか。ここでは、そうした場面での行動を練習してみましょう。

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

・ 郵便局では何ができますか(p.135)

- ・ 最初にイラスト・写真「郵便局では何ができますか」(p.135)を学習者と一緒に見ながら、日本語または学習者の母語などで、以下のようなやり取りをしてみましょう。

＜やり取りの例＞

「これは何ですか。ここで何ができますか。(地域の)どこにありますか。」

「よく利用しますか。家族の中では誰が利用しますか。どんなときに利用しますか。出身ではどうでしたか。」

「利用するとき、日本語を使いますか。また、局員の日本語は分かりますか。」

- ・このようなやり取りを通じて、学習者が日常生活の中で郵便局をどの程度利用しているか、またその実際場面で日本語をどの程度理解または使用しているかについて把握できるでしょう。学習者自身が持つ郵便等に関するイメージが構造化され、活性化されるだけでなく、指導者が今後の活動展開を考えていく上で、きっと役に立つはずです。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－局員さんと話してみよう(p.136～137)

- ・「活動1」の会話例(1)や会話例(2)を使ってキーフレーズを確認し、学習者の日本語レベルや地域の状況などに応じて適宜アレンジした上で、ロールプレイを行います。
- ・会話例(1)は手紙や小包などを送るときの表現ですが、切手やはがきなどを買うときにも広く応用することができます。買いたいものを日本語でうまく言えない段階の学習者に用件のメモを渡し、窓口でたった一言「これ、お願いします。」と言ってメモを提示すれば、意図は局員にも通じますから、必要なものを買ってくるという行動を達成することができるはずです。生活者としての学習者にとって、より重要なのは、日本語を正確に発話することではなく、目標行動を達成することです。現段階での日本語レベルに応じて、実生活に役立つ練習を工夫してください。
- ・会話例(2)は切手やはがきなどを買うときの表現です。学習者のニーズなども勘案して、よく使う語彙を取り上げましょう。
- ・ロールプレイに際しては、ことば・表現「郵便局の商品・サービスなど」(p.140)にある写真・イラストをコピーして切り離し、それらを示すことでロールプレイを始める方法もあります。そうすることで、語彙表現の確認・定着練習にもなります。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－再配達を依頼しよう(p.138～139)

- ・「活動2」(p.138～139)の不在配達通知／ご不在連絡票は、まず写真を見て、いろいろとやり取りをしましょう。

＜やり取りの例＞

「これは何ですか。どこに入っていましたか。どうして入っていましたか。これをもらったとき、どうすればいいですか。」

- ・ これを受け取ったときにどうすればいいかは、写真の中にある URL や電話・FAX 番号、時間などを読み取ることで、ある程度類推できるかもしれません。さまざまな選択肢があることを一つ一つ確認しつつ、自分ならどの方法を選ぶか、学習者自身に考えてもらった上で、必要な行動を練習していきましょう。

ことば・表現を知る

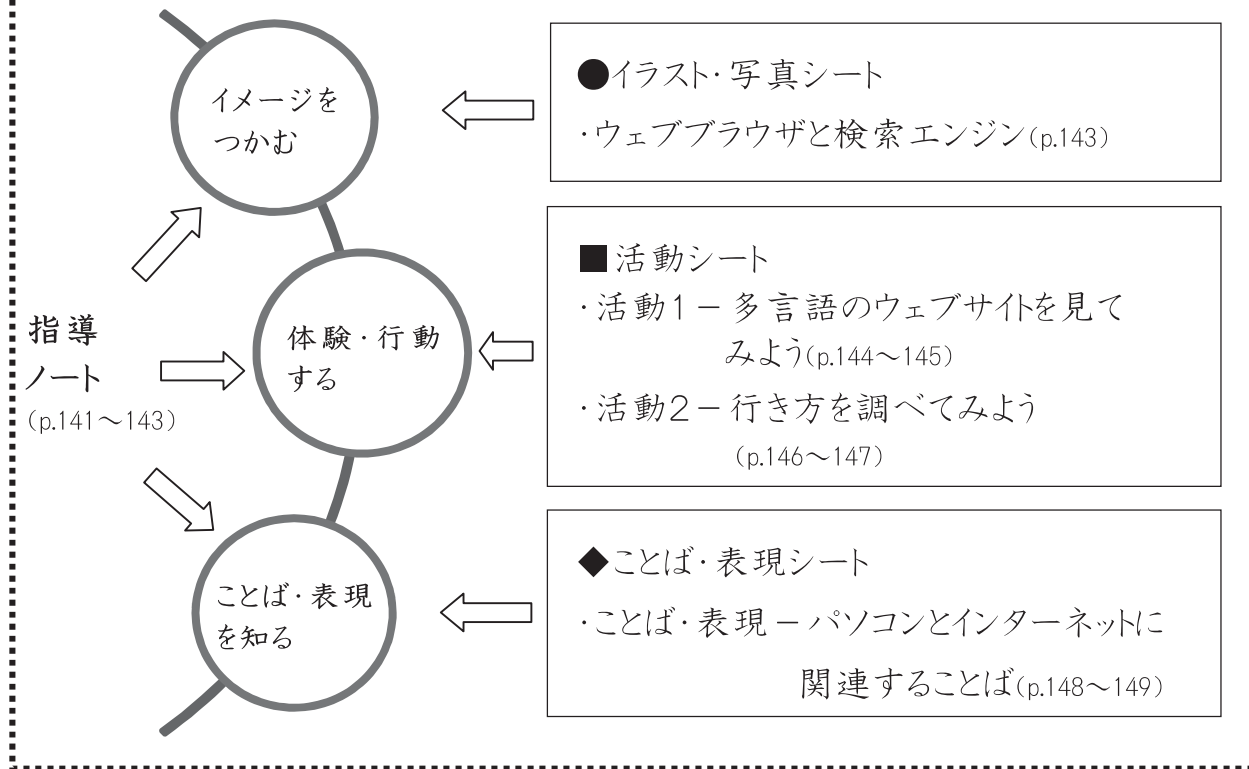
◆ことば・表現シート

・ことば・表現－郵便局の商品・サービスなど(p.140～141)

- ・ 「ことば・表現－郵便局の商品・サービスなど」(p.140～141)は、郵便局で取り扱いしている商品やサービスに関連する単語、さらにはそれらを利用する際によく使う表現などを並べてあります。「活動1」を行う前に、読みと意味を確認するとよいでしょう。
- ・ 国際郵便に関する説明(<http://www.post.japanpost.jp/int/index.html>)は、日本語だけでなく英語・中国語・韓国語・ポルトガル語に切り替えることもできます(2011 年 10 月現在)。学習者は、母語または理解可能な言語で詳しい情報を入手することができれば、郵便サービスをより上手に活用するようになるかもしれません。

(46) インターネットを 利用する

内 容



取り上げる生活上の行為の事例

(4602040)「インターネット検索の方法を人に尋ねて理解する」

教室活動の目標

- ・インターネットを通じて、必要な情報を得る

教室活動のねらい

- ・インターネットの操作に慣れる
- ・インターネットを利用する際に注意すべきことを知る
- ・検索エンジンを使って、必要な情報を探す

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(4602040)「インターネット検索の方法を人に尋ねて理解する」

教室活動の目標

－インターネットを通じて、必要な情報を得る

教室活動のねらい

- －インターネットの操作に慣れる
- －インターネットを利用する際に注意すべきことを知る
- －検索エンジンを使って、必要な情報を探す

- ・ インターネットは、現代では欠かせない情報媒体になりつつありますが、使いこなしている人とそうでない人の格差は開く一方かもしれません。学習者の中にも、母語なら使えるけど日本語ではまだという人もいでしょうし、母語でも日本語でも難しいという人もいでしょう。インターネットはおろか、パソコンにすら触ったことがない学習者もいるのではないのでしょうか。パソコンに触ったことのない学習者なら、まずはパソコンの電源の投入／切断(ON／OFF)やマウスの操作から始まり、日本語(あるいは母語)でのキーボード入力方法を知る必要があります。その上で、インターネットの使い方を学ぶことになるはずです。

このように学習者の状況は千差万別です。この教材例では基本的なパソコン操作ができる段階の学習者を想定していますが、利用経験や生活上のニーズなどに応じて、ステップを考えながら教室活動を進めていきたいところです。

イメージをつかむ

- イラスト・写真シート
- ・ウェブブラウザと検索エンジン(p.143)

- ・ 最初にイラスト・写真シート「ウェブブラウザと検索エンジン」(p.143)を学習者と一

緒に見ながら、日本語または学習者の母語などで、以下のようなやり取りをしてみましょう。

＜やり取りの例＞

「これは何ですか。ウェブブラウザのアイコンと、検索エンジンのトップページですね。みなさんは、インターネットをよく使いますか（使ったことがありますか）。どんなときに、どんな目的で使いますか。日本語のウェブサイトも利用しますか。」

- ・このようなやり取りを通じて、学習者のインターネット習熟度（あるいはパソコンスキル）が見えてくるでしょう。指導者が今後の活動展開を考えていく上で、きっと役に立つはずです。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－多言語のウェブサイトを見てみよう(p.144～145)

- ・「活動1」(p.144～145)は、母語などでの利用を含めてインターネットそのものにあまりなじみのない学習者を対象とした教室活動です。例1ではニュースを、例2では自治体ホームページを、それぞれ多言語ウェブサイトの例として取り上げています。インターネットではどんなことができるかというイメージをつかんで今後の学習の動機づけを図るとともに、ウェブブラウザの基本的な使い方を身に付けることが主なねらいです。
- ・ただし、例2のように機械翻訳にリンクしているサイトの場合、自動的に生成される訳文は必ずしも完璧でないことに留意する必要があります。インターネット上の情報を鵜呑みにしないなど、メディアリテラシーの涵養にも配慮しましょう。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－行き方を調べてみよう(p. 146～147)

- ・「活動2 行き方を調べてみよう」(p.146～147)は、実際の生活場面にも応用可

能な,より実践的な利用練習です。ここでは宇都宮から NHK スタジオパークまでの行き方を調べるということを例題として掲げていますが,交通機関を利用してどこかに出かける教室活動がある場合など,そうした事前準備の一環としてインターネット検索を利用すれば,学習者の意欲向上にもつながるものと思われます。検索課題として,より現実味のある事例で試してみることをお勧めします。

- ・ 目的地があらかじめ決まっている場合の課題設定はさほど難しくないはずですが,目的地が決まっていない場合は課題の自由度が高くなり,その分情報量も増大してプロセスが複雑になるでしょう。インターネットにも日本語にもかなり習熟していないと,学習者は何を調べていいか分からなくなってしまう恐れもあります。学習者のスキルに応じた課題の設定に際しては,何を調べる課題なのかという目標を明確化することが重要です。
- ・ 路線検索／乗換案内にはさまざまなサイトがあります。一概にどれがいいということもありませんので,前もって指導者の側でいろいろと比べてみてください。なお,インターネットに慣れ親しんでいる学習者なら,さまざまな路線検索サイトで試した結果を見比べて,それらの良し悪しを判断することも可能かもしれません。

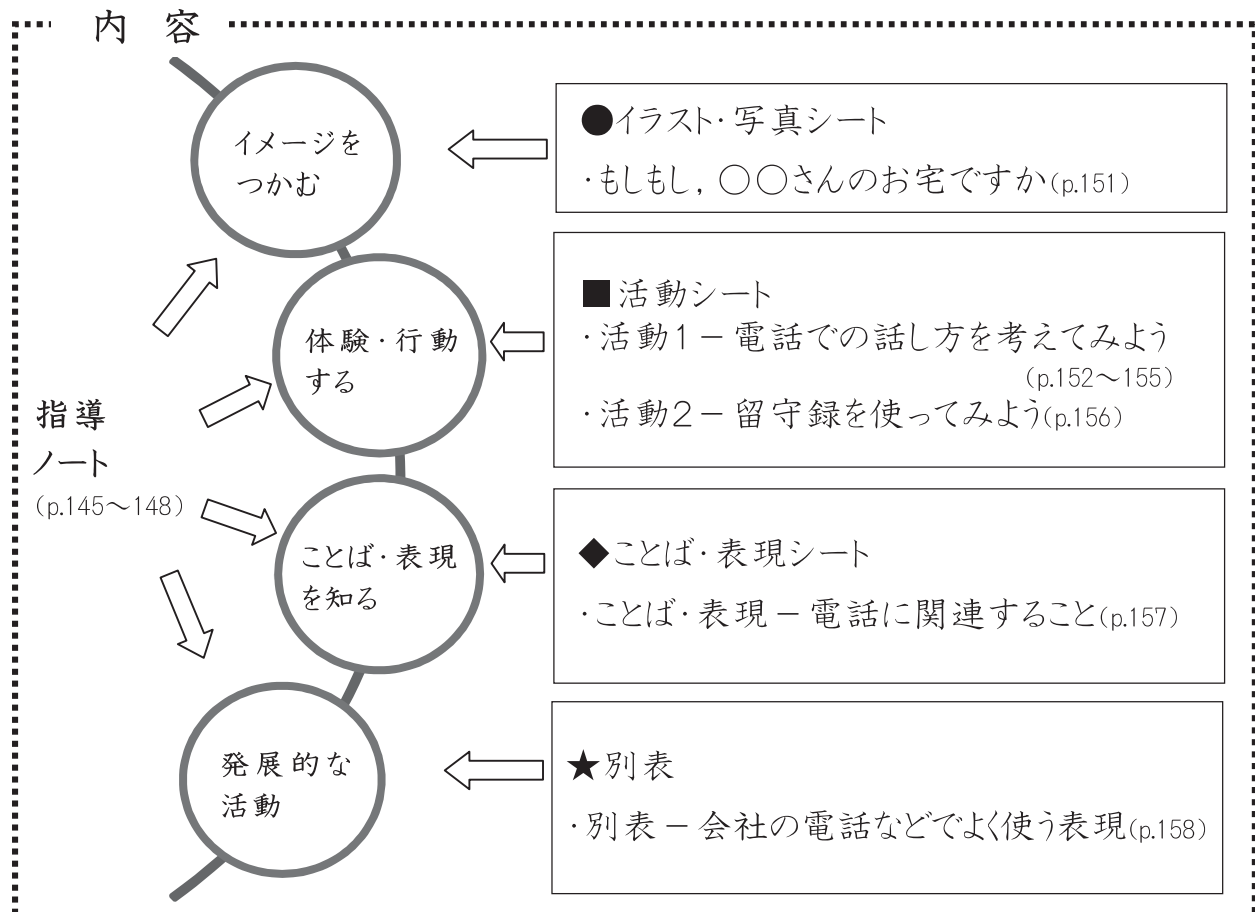
ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－パソコンとインターネットに関連することば(p. 148～149)

- ・ 「ことば・表現－パソコンとインターネットに関連することば」(p.148～149)は,インターネット検索やその前提となるパソコンの基本操作に関わる単語を並べてあります。学習者のパソコンスキルに応じて適宜確認してください。

でんわ ふぁくしみる りよう
(47) 電話・ファクシミリを 利用する



取り上げる生活上の行為の事例

(4701100)「電話を掛ける」

(4702070)「応答する」

教室活動の目標

・日本語の電話表現に慣れる

教室活動のねらい

- ・相手を呼び出してもらうことができる
- ・適切な電話の受け答えができる
- ・電話の取次ぎ、伝言の受け方に関する表現を知っている

指導ノート

取り上げる生活上の行為の事例

(4701100)「電話を掛ける」

(4702070)「応答する」

教室活動の目標

－日本語の電話表現に慣れる。

教室活動のねらい

- －相手を呼び出してもらうことができる。
 - －適切な電話の受け答えができる。
 - －電話の取次ぎ、伝言の受け方に関する表現を知っている。
- ・ 外国語で電話するのは、なかなか容易なことではありません。文字や(非言語的な)ジェスチャー・しぐさ・表情などの視覚的な情報が全く伝わらず、音声だけでやり取りしなければならないからです。したがって、学習者が電話しようとする相手は、母語が通じる人ばかりになってしまうかもしれません。しかし、そういう人に電話する場合でも、間違い電話を掛けてしまうこともあるでしょうし、相手の家族の中には母語が異なる人もいて、その人が電話に出ることもあるでしょう。そのような場面に遭遇しても困らないよう、適切に対応するための最低限の日本語表現を理解し、実際に聞いたり話したりできるように練習しておく必要があるはずです。ここでは、そうした表現を学びましょう。

イメージをつかむ

●イラスト・写真シート

- ・もしも、〇〇さんのお宅ですか(p.151)
- ・ 最初にイラスト・写真シート「もしも、〇〇さんのお宅ですか」(p.151)を学習者と

一緒に見ながら、日本語または学習者の母語などで、以下のようなやり取りを試みましょう。

＜やり取りの例＞

「これは何ですか。」

「よく電話をしますか。誰と話しますか。どんなことを話しますか。週に何回電話しますか。一回何分ぐらい話しますか。」

「電話するとき、日本語で話しますか。母語で話しますか。」

「電話で何か困った経験はありますか。」

- ・このようなやり取りを通じて、学習者が日常生活の中で電話をどのように使っているか、また、実際の場面で日本語をどの程度理解または使用しているかについて把握できるでしょう。
- ・学習者自身が持つ電話でのやり取りに関するイメージが整理され、さらに活性化されるだけでなく、指導者が今後の活動展開を考えていく上で、きっと役に立つはずです。

体験・行動する

■活動シート

・活動1－電話での話し方を考えてみよう(p.152～155)

- ・「活動1」の会話例(1)「間違い電話の場合」、会話例(2)「本人の場合」、会話例(3)「在宅の場合」、会話例(4)「留守の場合」を使ってキーフレーズを確認し、学習者の日本語レベルや地域の状況などに応じて適宜工夫を加えた上で、ロールプレイを行います。
- ・なお、これらの会話例のうち、(1)「間違い電話の場合」と(4)「留守の場合」については、続きの展開部分が空白になっています。この場面で何を言ったらいいかを学習者と一緒に考えることで、それぞれの個人の背景にある異文化の発見につながるかもしれません。

＜(1)の続きの例＞

Aさん:「あのう、そちらは××－××××－××××ですか。」

Bさん:「いいえ、××－××××－△×××です。」

Aさん:「ああ、すみません、間違えました。」

<(4)の続きの例①>

Aさん:「何時ごろお帰りですか。」

Bさん:「～ごろ帰ります。」

Aさん:「じゃ、また(その頃)電話します。」

Bさん:「よろしくお願いします。失礼します。」

<(4)の続きの例②>

Aさん:「何時ごろお帰りですか。」

Bさん:「すみません、ちょっと分かりません。」

Aさん:「じゃ、お帰りになったら、お電話いただけますか。」

Bさん:「すみません、お名前もう一度お願いします。」

Aさん:「△△です。」

Bさん:「△△さんですね。お電話番号お願いします。」

Aさん:「××-××××-××××です。」

Bさん:「××-××××-××××ですね。」

Aさん:「じゃ、よろしくお願いします。」

Bさん:「わかりました。失礼します。」

- ・ ロールプレイに際しては、(おもちゃまたは本物の)受話器を渡し、それを持ちながら練習すると、実際に電話で話している気分を醸し出すことができます。また、コードレス電話の親機と子機(あるいは携帯電話など)を用意し、壁を隔てた隣の教室から電話を掛けるなど、お互いの顔が見えない状況を作り出して練習すれば、より現実の場面に近いロールプレイになるはずです。
- ・ 教室で何度か練習した後、可能であれば実際の電話回線を利用して練習することを検討してください。特に公衆電話は、プッシュボタンが意外に硬くて押し間違いが少なくないことや、受話器の音量を調節できること、市外の場合は遠距離になるにつれて同じ料金で掛けられる時間が短くなること、さらに10円硬貨を複数枚入れたときはおつりが出るのに100円硬貨ではおつりが出ないことなど、実際に利用してみないと実感できないことがいくつかあります。屋外に出かける活動の機会があれば、公衆電話から教室のスタッフに現在地を報告するタスクを組み込んでみるのも一つの方法です。

体験・行動する

■活動シート

・活動2－留守録を使ってみよう(p.156)

- ・活動2「留守録を使ってみよう」(p.156)の「留守番電話にメッセージを残す(録音する)／聞く(再生する)」は、三つの意味で練習になります。

第一には、相手に伝えるべき情報を制限時間の中で要領よく話さなければならないため、話す内容を事前に整理しておくことです。内容は、学習者自身が考え出すとより深い練習になりますが、学習者の状況によっては(ロールプレイカードのような形で)母語または日本語である程度の方向性を示してもいいでしょう。

第二には、短い制限時間の中で実際に発話することです。相手が聞き取れるような声量・速度・明瞭さで話すことが必要になります。

そして第三には、(自分または他人が)残したメッセージを再生し、聞いて内容を理解できるか試すことです。学習者自身がメッセージを残した場合はフィードバック(振り返り)に使うことができますし、あるいは日本語母語話者が残したメッセージを聞き取る練習としても応用できるでしょう。

ことば・表現を知る

◆ことば・表現シート

・ことば・表現－電話に関連することば(p.157)

- ・「ことば・表現－電話に関することば」(p.157)は、電話を掛ける／受けるという行為の中でよく目にする基礎的な単語を並べてあります。必要に応じて適宜確認してください。
- ・すでに会社の中で働いていた、近い将来に働く予定があったりして、電話利用場面が家庭内に限らない学習者もいるかもしれません。そうした場合を想定して、別表「会社の電話などでよく使う表現」(p.158)を用意しました。初級程度の学習者にはハードルの高い表現ばかりですから、学習者にとって今すぐ必要性がないときは無理に導入しない方がよいですが、①耳で聞いたときに意味が分かる、②電話会話の中で実際に言える、の二段階で練習を進めるとよいです。

3.1 教材例集を作成する際に活用及び参考にした資料・ホームページ等

I 健康・安全に暮らす(1～65ページ)			
O1 健康を保つ(1～38ページ)			
(01)医療機関で治療を受ける(1～15ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
3～4ページ	多言語医療問診票(NPO法人国際交流ハーティ港南台/(財)かながわ国際交流財団)	http://www.mmjp.or.jp/konan-international-lounge/jmonshin/top.htm http://www.k-i-a.or.jp/medical	多言語医療問診票を掲載。
15ページ	『日本語学習・生活ハンドブック』(文化庁)	http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kyouiku/handbook/index.html	医療機関, 受診の流れ, 医療保険に関する情報を掲載。
(02)薬を利用する(16～33ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
17ページ	みんなの教材サイト(独立行政法人国際交流基金)	http://minnanokyoza.jp/kyozai/home/ja/render.do;jsessionid=1B04D13F1CF223E2F57CF8A47712FD42	イラスト掲載
23ページ	保健センター(府中市)	http://www.city.fuchu.tokyo.jp/shisetu/fukushi/iryo/kyushiminiryo/index.html	保健センターの概観を掲載。
27ページ	『外国籍県民向け支援ツール』((社)神奈川県薬剤師会)	http://member.kpa.or.jp/download/gaikokuseki/	症状, 希望の薬に関する図を掲載。
(03)健康に気を付ける(34～38ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
36ページ	農林水産省ホームページ	http://www.maff.go.jp/j/jas/hyoji/kigen.html	画像(図)を転載。
O2 安全を守る(39～76ページ)			
(04)事故に備え, 対応する(39～48ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
44ページ	横浜市南区	http://www.city.yokohama.lg.jp/minami/00seikatsu/11tiiki-bouhan/110006.html	画像(写真)を転載。
(05)災害に備え, 対応する(地震)(49～65ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
50ページ	水戸第一高校同窓会 知道会	http://www.chidokai.jp/index.html	画像(写真)を転載。
50ページ	看板屋さんのブログ■ヤマシタ巧房■	http://blogs.yahoo.co.jp/fpbsm476/24332293.html	画像(写真)を転載。
50ページ	財団法人消防科学総合センター	http://www.saigaichousa-db-isad.jp/drsdb_photo/photoSearchResult.do	画像(写真)を転載。
52～54ページ	栃木県産業労働観光部国際課	http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/life/kokusai/tabunka/documents/1235973842433.pdf http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/life/kokusai/tabunka/1235977471478.html	図を掲載。
57ページ	高知県労連青年部	http://fun.ap.teacup.com/seinenbu/	画像(写真)を転載。
57ページ	南足柄市	http://www.city.minamiashihara.kanagawa.jp/kurashi/bouan/boutai/bousai_kunren.html	画像(写真)を転載。

(05)災害に備え,対応する(火事)(66～76ページ)			
該当する教材 例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の 方法
67ページ	佐野いくお市議のブログ	http://snipesano.exblog.jp/9610688/	画像(写真)を転載。
70ページ	くまぶろ	http://blog.kumapapa.jp/2005/09/post_7613.html	画像(写真)を転載。
II 住居を確保・維持する(77～85ページ)			
04 住環境を整える(77～85ページ)			
(07)住居を管理する(77～85ページ)			
該当する教材 例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の 方法
78ページ	パソコン大好きママの子育て奮闘記	http://tyakityaki.seesaa.net/article/114035447.html	画像(写真)を転載。
III 消費活動を行う(86～109ページ)			
05 物品購入・サービスを利用する(86～99ページ)			
(08)物品購入・サービスを利用する(86～99ページ)			
該当する教材 例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の 方法
87ページ	Supermarket Sales Flickr - Photo Sharing!	http://www.flickr.com/photos/bycolley/1786473070/	画像(写真)を転載。
87ページ	Supermarket in Japan Flickr - Photo Sharing!	http://www.flickr.com/photos/tamaiyuya/5694616767/	画像(写真)を転載。
87ページ	Nagano supermarket Flickr - Photo Sharing!	http://www.flickr.com/photos/frozenjames/511976065/	画像(写真)を転載。
91ページ	いろいろなフルーツ(果物) - 著作権フリーの画像 & 写真集	http://royaltyfreeimages.sblo.jp/article/45193052.html	画像(写真)を転載。
91ページ	無料DTP素材【素材ページ】食材・料理の著作権フリー写真	http://www.so-zai-page.com/index.html	画像(写真)を転載。
91ページ	有楽町の居酒屋#2 生ビール - 著作権フリー商用可! 無料画像の写真素材 ♪ラブフリーフォト	http://lovefreephoto.blog110.fc2.com/blog-entry-1478.html	画像(写真)を転載。
全般	『新・日本の生活とことば - 1「消費生活」上・下』	公益財団法人中国残留孤児援護基金く出版教材>	教室活動の方法や生活場面での語彙・表現などを参照。
06 お金を管理する(100～109ページ)			
(09)金融機関を利用する(100～109ページ)			
該当する教材 例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の 方法
-	-	-	-

IV 目的地に移動する(110～147ページ)

07 公共交通機関を利用する(110～136ページ)

(10) 電車、バス、飛行機、船等を利用する(110～125ページ)

該当する教材 例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の 方法
117ページ	著作権フリー商用可！無 料画像の写真素材♪ラブ フリーフォト	http://lovefreephoto.blog110.fc2.com/	画像(写真)を転載。
117ページ	東京写真素材	http://hk1.jp/t/eki/	画像(写真)を転載。
117ページ	TOKYU SECURITY	http://www.tokyu-security.co.jp/kids/anobject/	画像(写真)を転載。

(11) タクシーを利用する(126～136ページ)

該当する教材 例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の 方法
128、132ペー ジ	みんなの教材サイト(独立 行政法人国際交流基金)	http://minnanokyozai.jp/kyozai/home/ja/render.do;jsessionid=1B04D13F1CF223E2F57CF8A47712FD42	イラスト掲載

08 自力で移動する(137～147ページ)

(12) 徒歩で移動する(137～147ページ)

該当する教材 例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の 方法
142ページ	みんなの教材サイト(独立 行政法人国際交流基金)	https://minnanokyozai.jp/kyozai/illustration/list/ja/render.do	イラストの掲載。

VII 人とかかわる(148～160ページ)

14 他者との関係を円滑にする(148～160ページ)

(31) 人と付き合う(148～160ページ)

該当する教材 例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の 方法
-	-	-	-

VIII 社会の一員となる(161～196ページ)

15 地域・社会のルール・マナーを守る(161～181ページ)

(33) 住民としての手続をする(161～171ページ)

該当する教材 例のページ数	参考とした情報の名称 (ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の 方法
162ページ	財団法人地方自治情報 センター(LASDEC)「全国 自治体マップ検索」,「東 京都」	https://www.lasdec.or.jp/cms/1,0,69.html https://www.lasdec.or.jp/cms/1,634,69,150.htm	画像(イラスト)を転載。
164ページ	国立市公式ホームページ 「市役所庁内案内図」	http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/shisetsu/s_cit/y/001226.html	画像(イラスト)を転載。
165ページ	市報「にたち 平成23年11 月5日号(第1001号) 1 面・4面	国立市役所企画部<紙媒体広報紙>	画像(記事)を転載。
全般	麻生晴一郎・郭雅坤『暮 らしの日本語 指さし会話 帳 ③中国語版』	情報センター出版局<書籍>	生活場面での語彙・表現など を参照。

(34)住民としてのマナーを守る(172～181ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
173ページ	横浜市	http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-data/pamph/wakedashi/pdf/leaflet.pdf	画像(イラスト)を転載。
175, 176ページ	経済産業省 3R政策ホームページ	http://www.meti.go.jp/policy/recycle/main/data/illust/index.html	画像(イラスト)を転載。
16 地域社会に参加する(182～196ページ)			
(35)地域社会に参加する(182～196ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
183ページ	門前自治会	http://genki365.net/gnkh03/mypage/mypage_sheet.php?id=74720	画像(写真)を転載。
183ページ	北馬込1丁目町会	http://www.geocities.jp/kitamagome1/	画像(写真)を転載。
IX 自身を豊かにする(197～209ページ)			
20 余暇を楽しむ(197～209ページ)			
(44)余暇を楽しむ(197～209ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
198ページ	つづき交流ステーション地域活動・サークル紹介	http://www.city-yokohama-tsuzuki.net/station/marblestar/chilki/topindex.html	画像(写真)を転載。
X 情報を収集・発信する(210～244ページ)			
21 通信する(210～244ページ)			
(45)郵便・宅配便を利用する(210～220ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
216ページ	著作権フリーのイラスト集	http://my.reset.jp/~comcom/sozai/kisou/link218.htm	画像(イラスト)を転載。
全般	ゆうびんホームページ - 日本郵便	http://www.post.japanpost.jp/index.html	郵便局の商品・サービスについて参照。
(46)インターネットを利用する(221～231ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
222ページ	Google	http://www.google.co.jp/	画像(スクリーンショット)を転載。
222ページ	Yahoo! JAPAN	http://www.yahoo.co.jp/	画像(スクリーンショット)を転載。
224ページ	小田原市公式ホームページ～市民の力で未来を拓く希望のまち～	http://www.city.odawara.kanagawa.jp/	画像(スクリーンショット)を転載。
全般	深澤のぞみ・濱田美和・後藤寛樹・深川美帆『日本語でできる! 外国人のためのパソコンのきほん』	スリーエーネットワーク<書籍>	生活場面での語彙・表現などを参照。
(47)電話・ファクシミリを利用する(232～244ページ)			
該当する教材例のページ数	参考とした情報の名称(ホームページの名称等)	情報の所在等	教材例での活用及び参考の方法
-	-	-	-